

3. クロス集計および分析結果

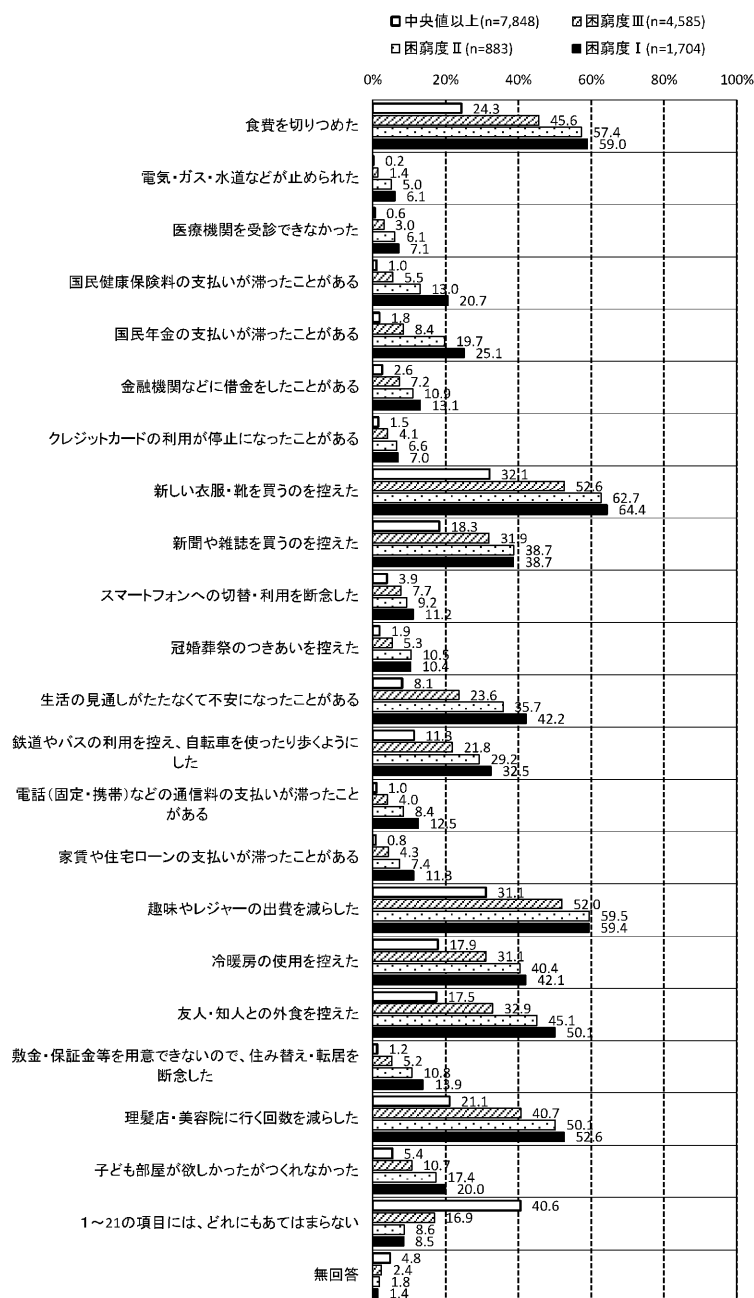
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。5歳児全体（4市町合計）の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（5歳児保護者票問6）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

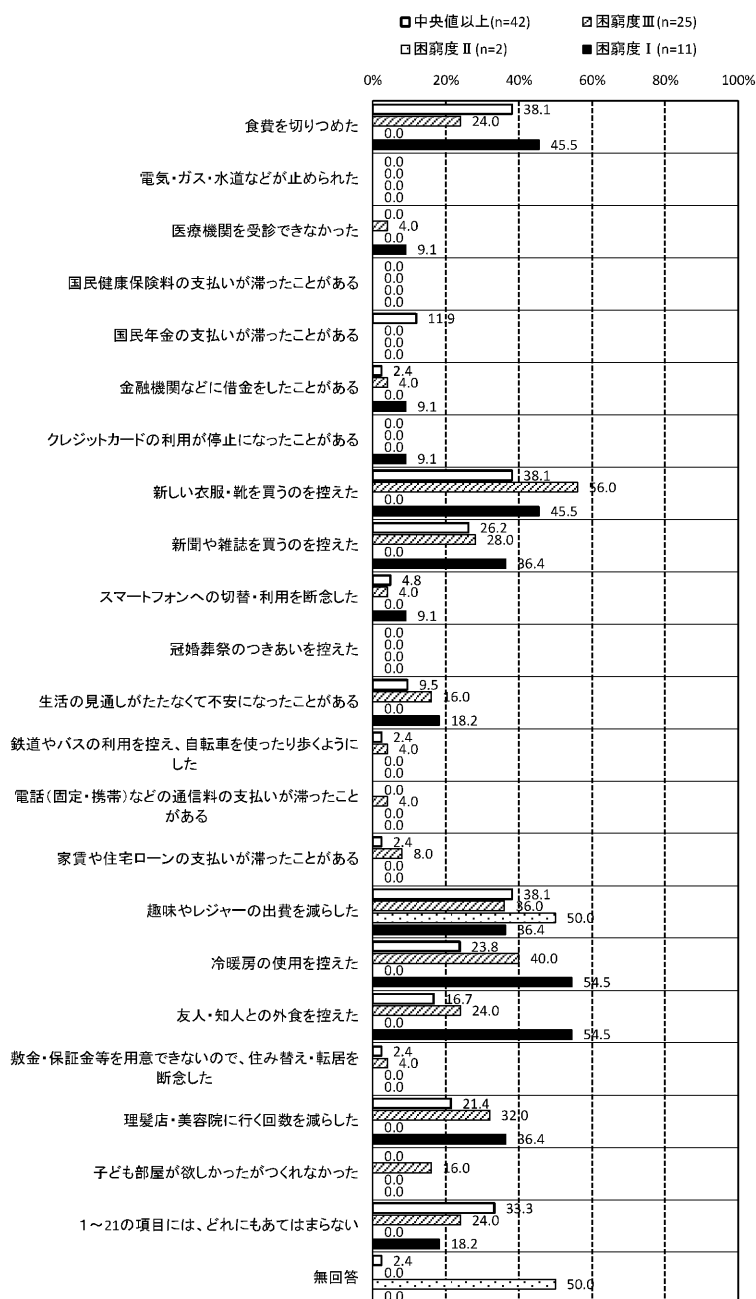


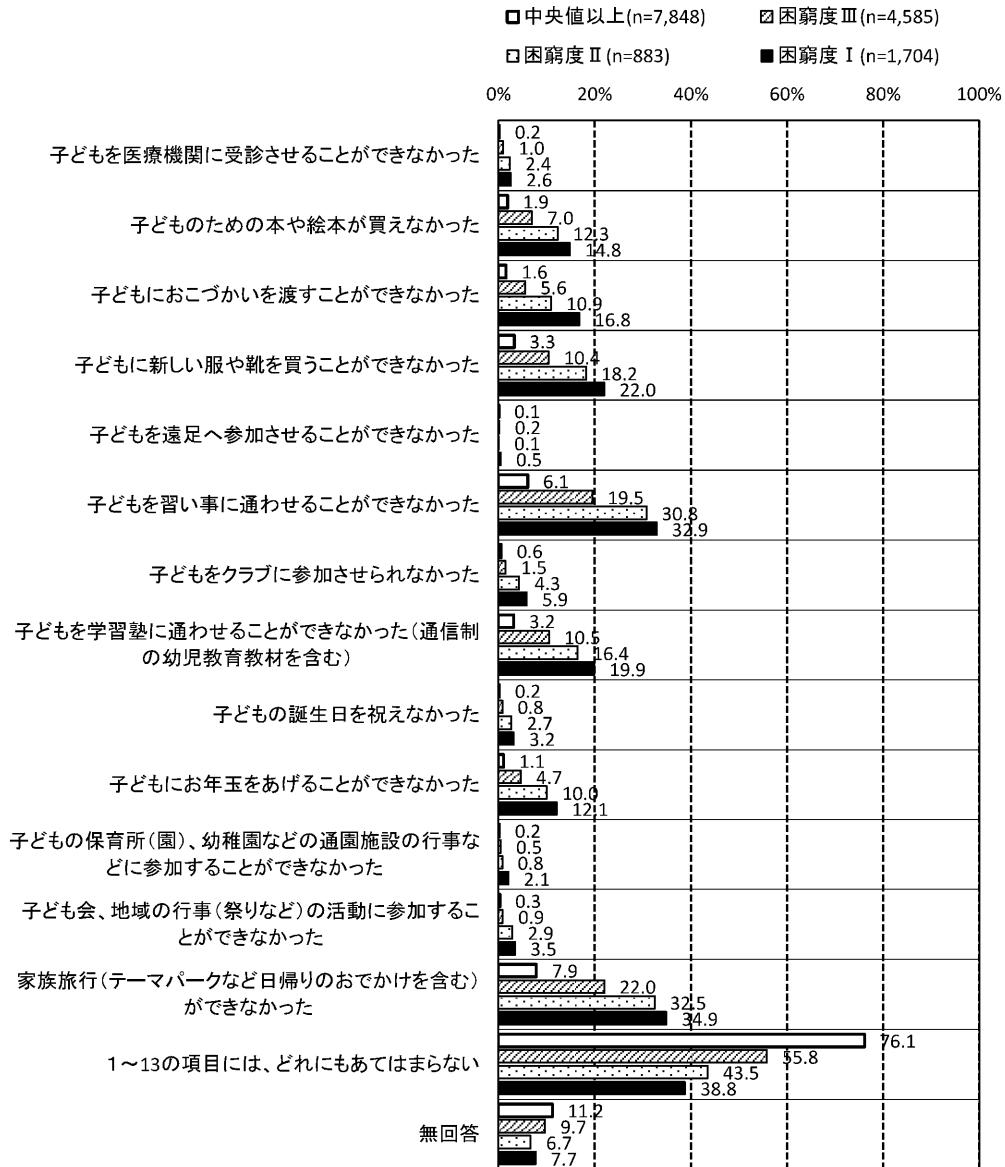
図 311. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※「困窮度」については、図5参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「金融機関などに借金をしたことがある」9.1%（中央値以上群に対して、3.8倍）、「友人・知人との外食を控えた」54.5%（同じく3.3倍）、「冷暖房の使用を控えた」54.5%（同じく2.3倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（5歳児保護者票問29）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

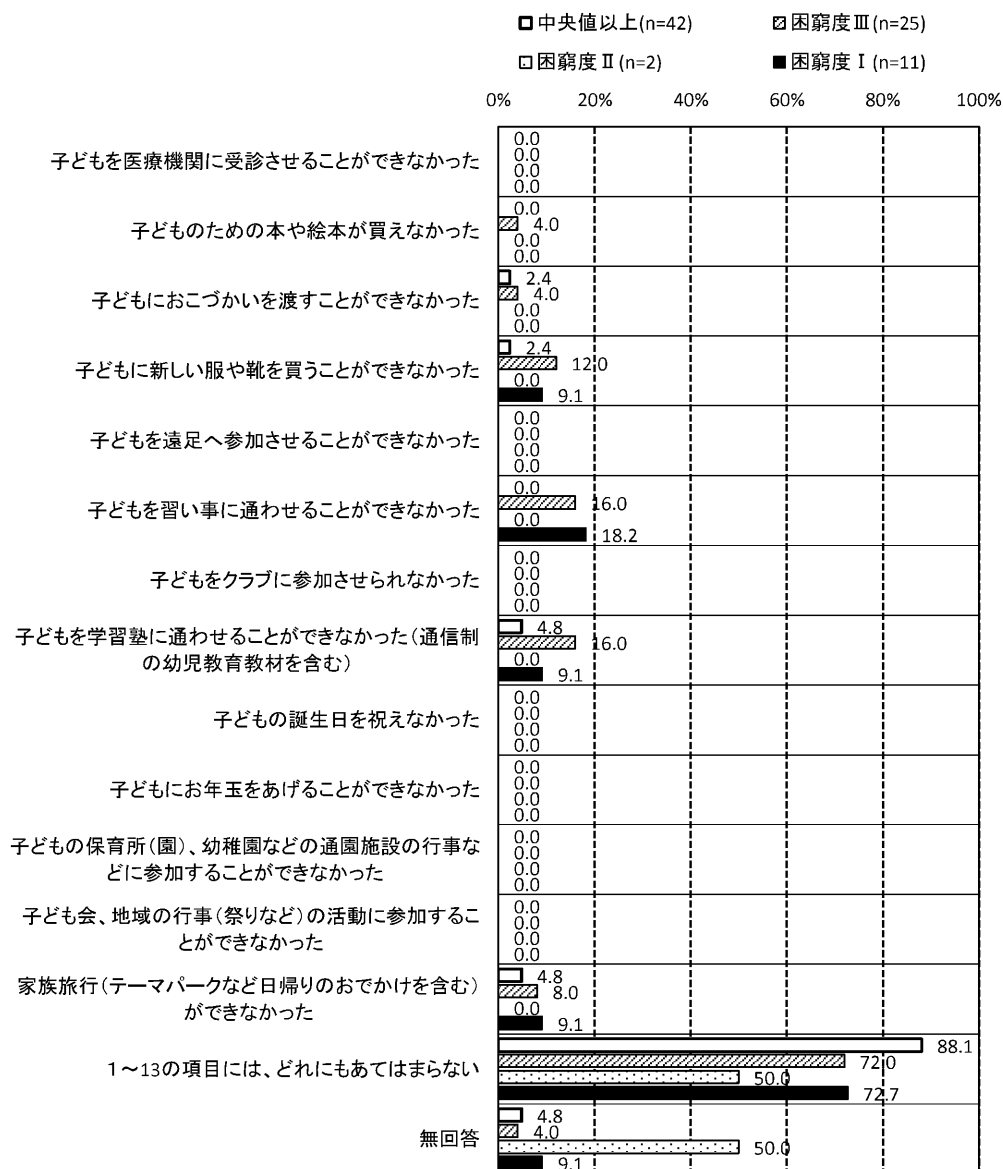
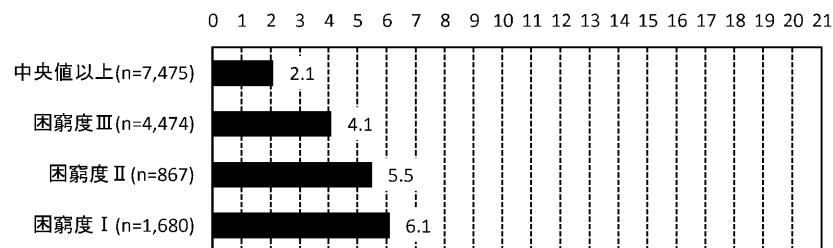


図 312. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」9.1%（中央値以上群に対して、3.8倍）、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」9.1%（同じく1.9倍）、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」9.1%（同じく1.9倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数（5歳児保護者票問6）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

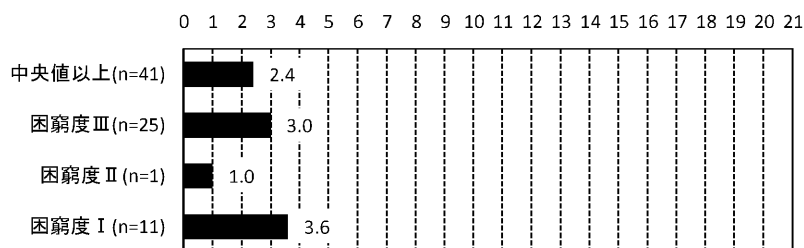


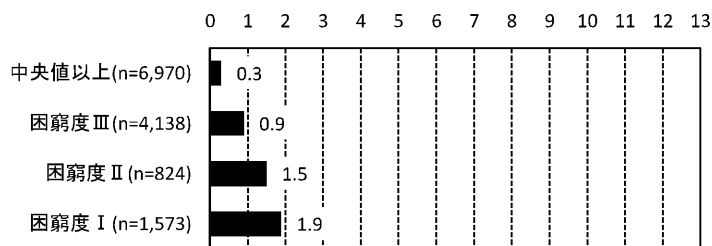
図 313. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数

経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 2.4 個なのに対して、困窮度Ⅰ群では 3.6 個となっており高くなっている。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数（5歳児保護者票問29）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

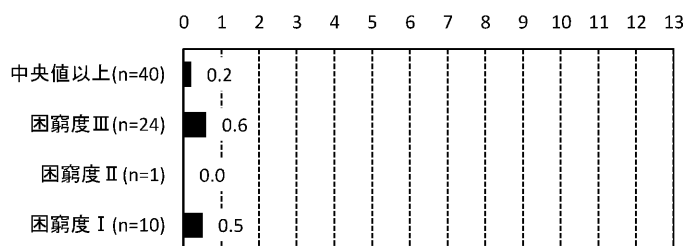
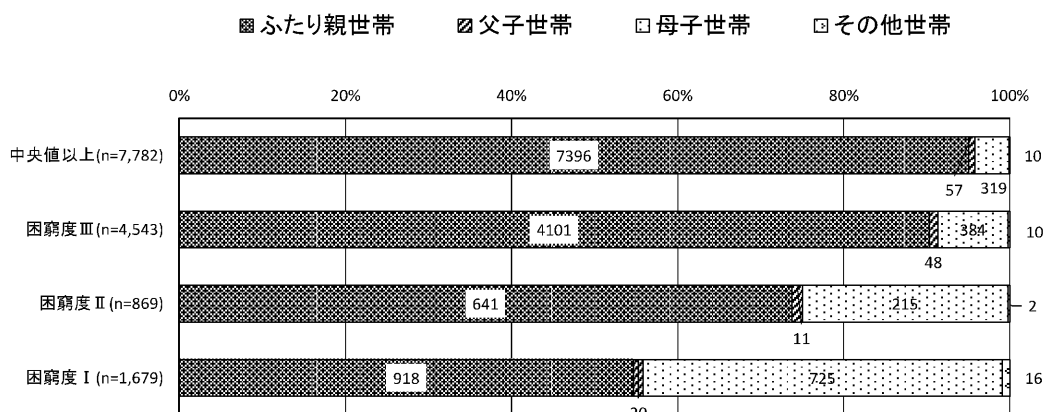


図 314. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 13 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。困窮度による大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（5歳児保護者票問 3-2 より）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

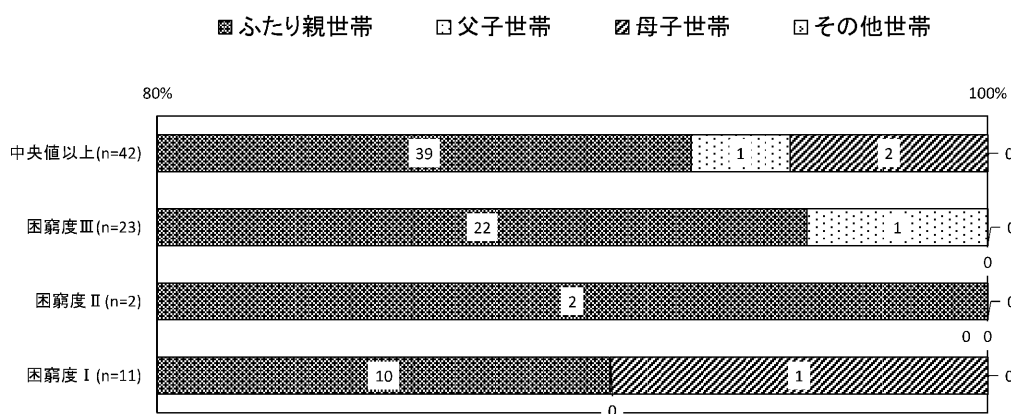
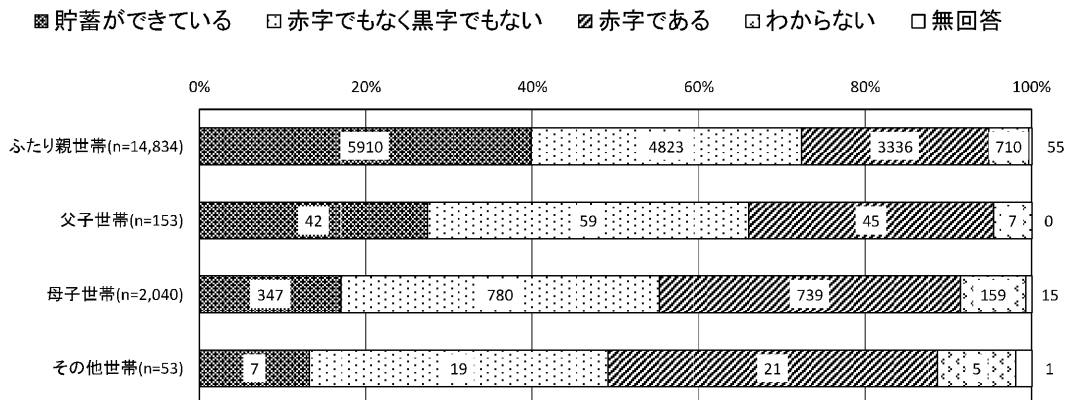


図 315. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 92.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 90.9%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 4.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 9.1%だった。

世帯構成別に見た家計状況（5歳児保護者票問5-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

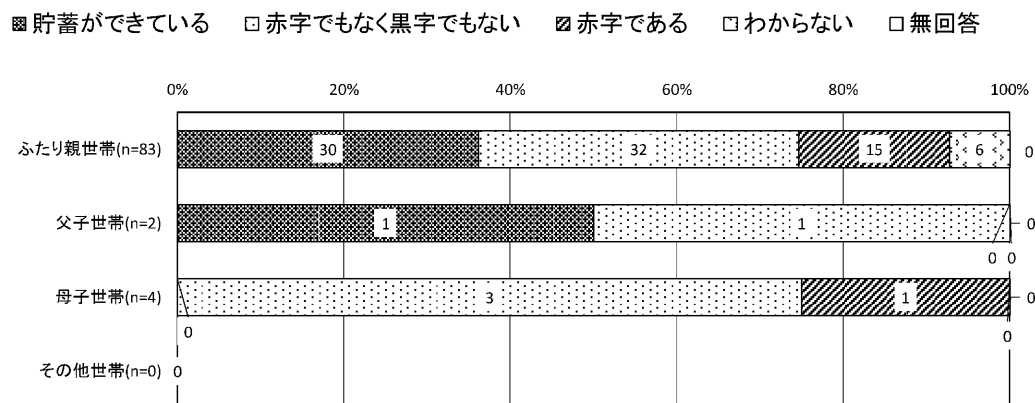
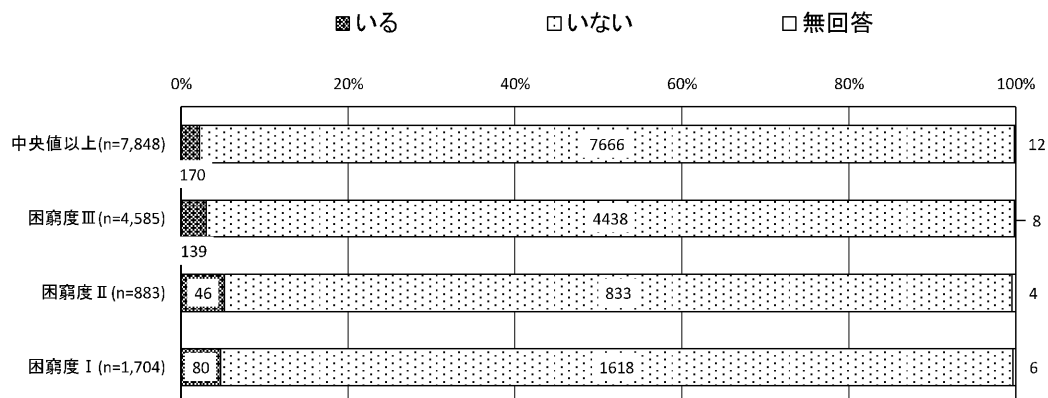


図 316. 世帯構成別に見た家計状況

世帯構成別に見た家計状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答したのは、ふたり親世帯が36.1%であるのに対して、母子世帯ではなかった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が18.1%であるのに対して、母子世帯では25.0%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（5歳児保護者票問 3-1-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

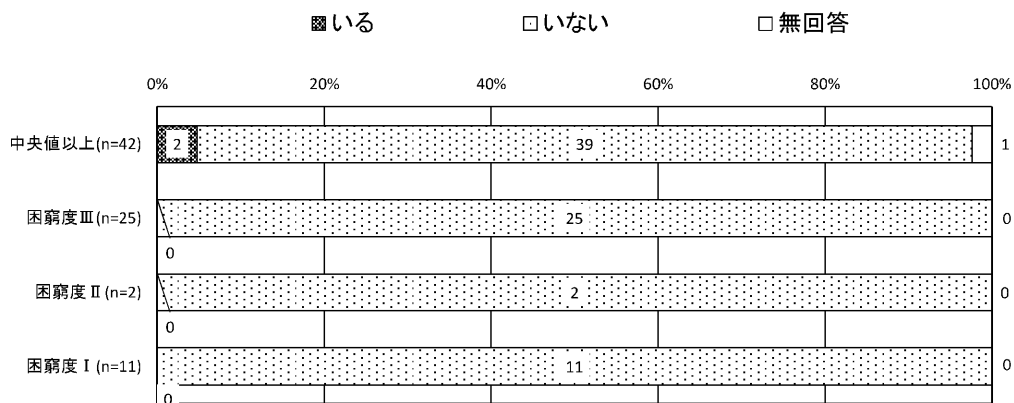
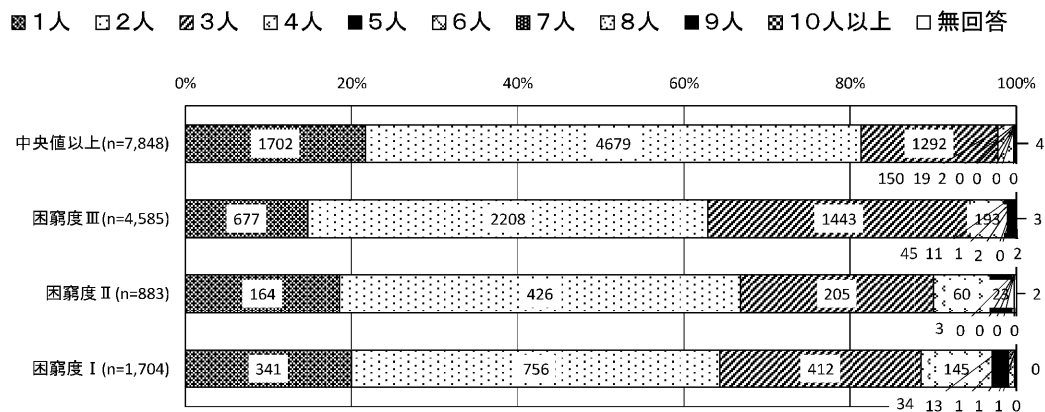


図 317. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、「いる」と回答したのは、中央値以上群の 4.8% いたのみであった。

困窮度別に見た、子どもの人数（5歳児保護者票問 3-1-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

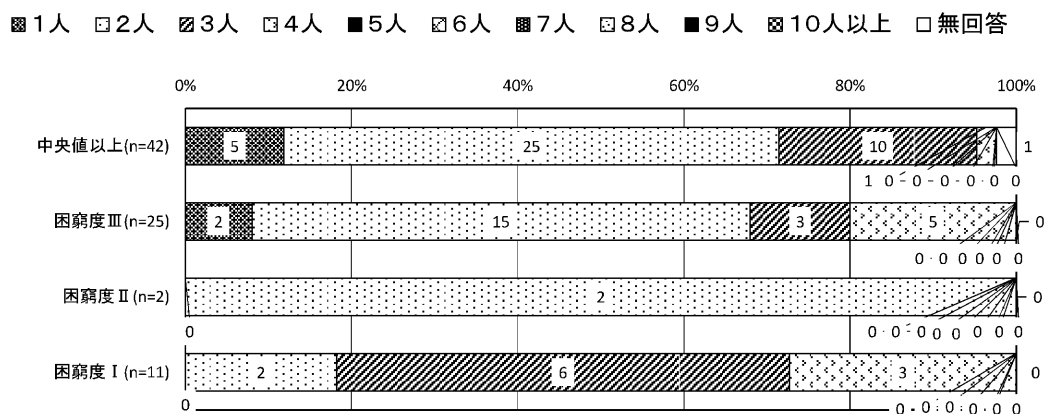
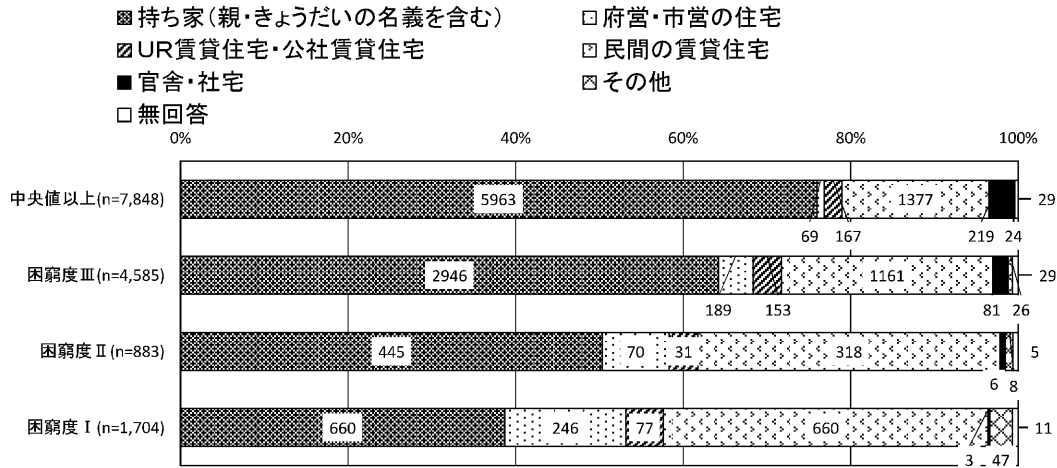


図 318. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が26.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、81.8%と高くなっている。

困窮度別に見た住居（5歳児保護者票問4）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

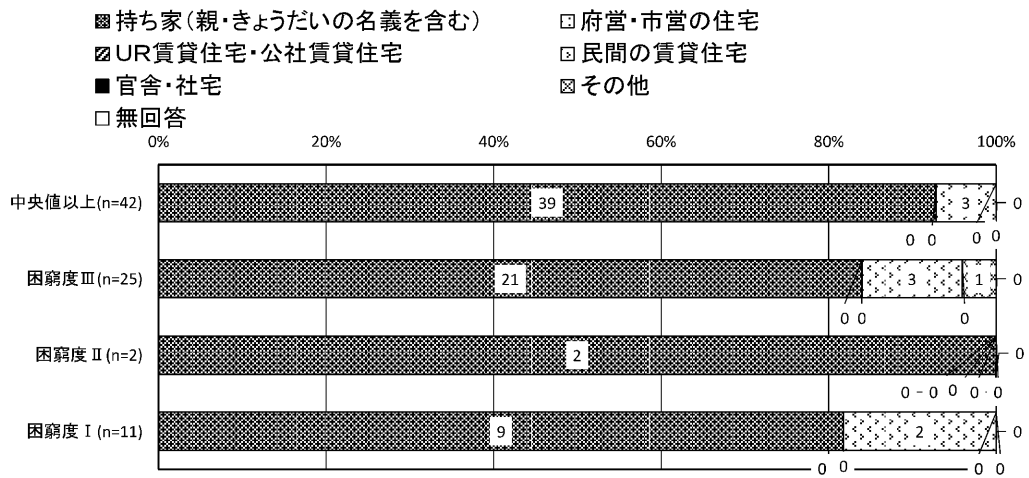
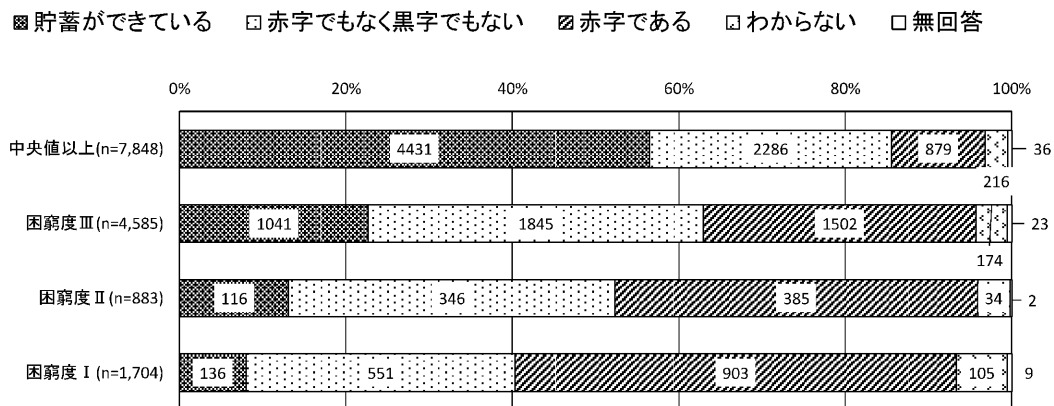


図 319. 困窮度別に見た住居

困窮度別に住居を見ると、「持ち家（親・きょうだい名義を含む）」と回答したのは、中央値以上群が92.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は81.8%だった。また、また、「民間の賃貸住宅」と回答したのは、中央値以上群が7.1%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は18.2%だった。

困窮度別に見た家計状況（5歳児保護者票問5-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

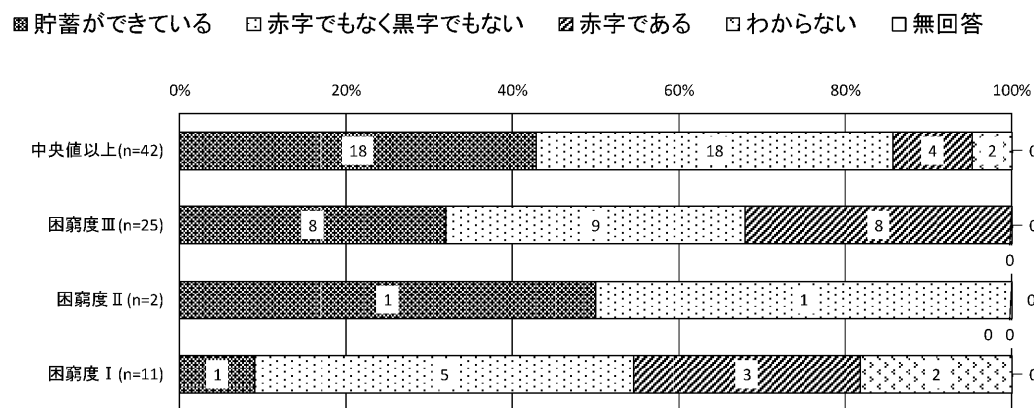
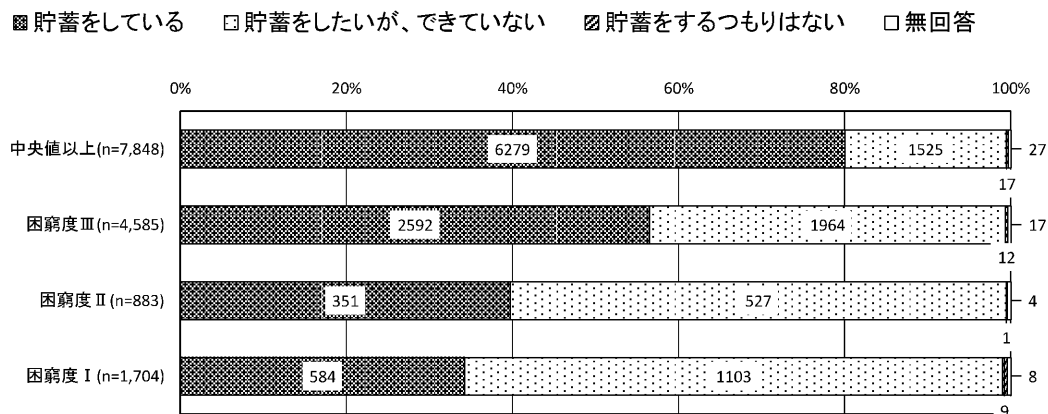


図 320. 困窮度別に見た家計状況

困窮度別に見た家計状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答したのは、中央値以上群が42.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は9.1%だった。また、「赤字である」と回答したのは、中央値以上群が9.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は27.3%だった。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（5歳児保護者票問5-3）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

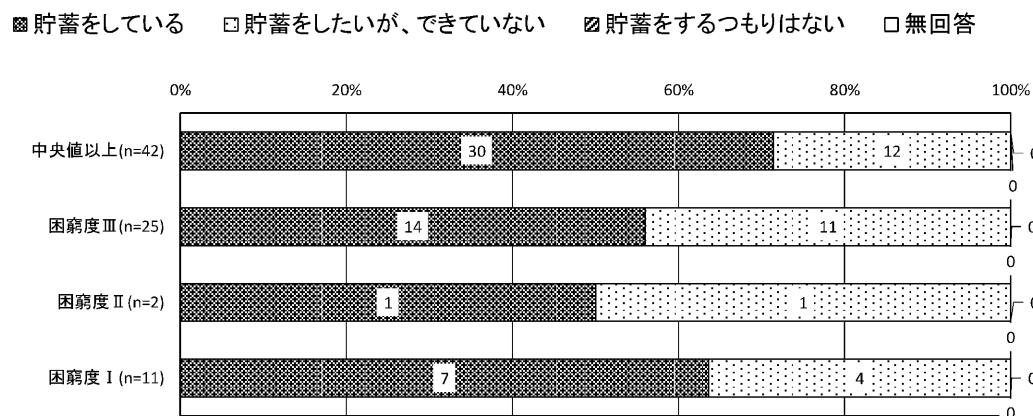


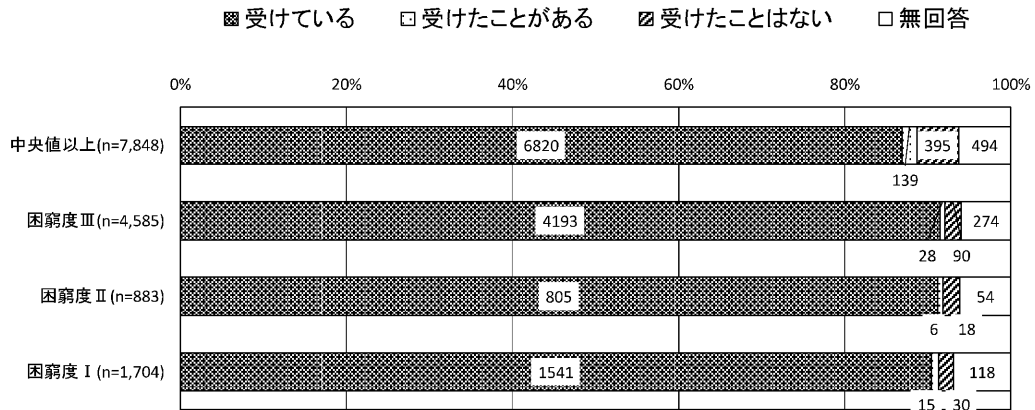
図 321. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度別に子どものための貯蓄を見ると、「貯蓄をしている」と回答したのは、中央値以上群が71.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は63.6%だった。また、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答したのは、中央値以上群が28.6%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は36.4%だった。

(2) 家庭状況 (制度等)

困窮度別に見た児童手当 (5歳児保護者票問 41-3-1)

< 5歳児全体 (4市町合計) >



< 能勢町 >

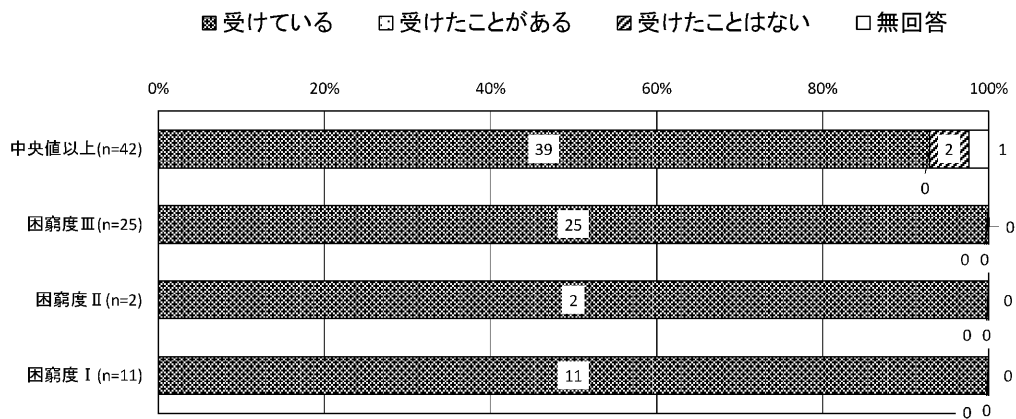
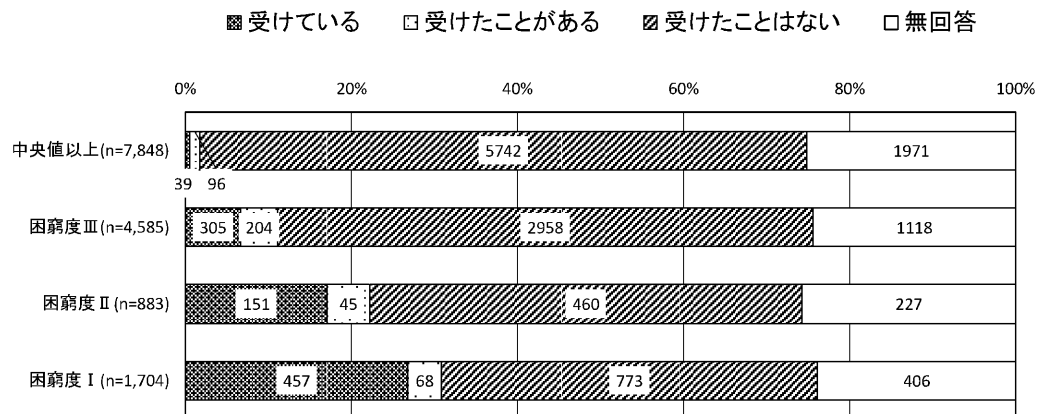


図 322. 困窮度別に見た児童手当

困窮度別に児童手当の受給率を見ると、「受けたことはない」と回答したのは、中央値以上群で 4.8% のみであり、困窮度Ⅰ群～Ⅲ群ではすべての世帯で受けていた。

困窮度別に見た就学援助費（5歳児保護者票問 41-3-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

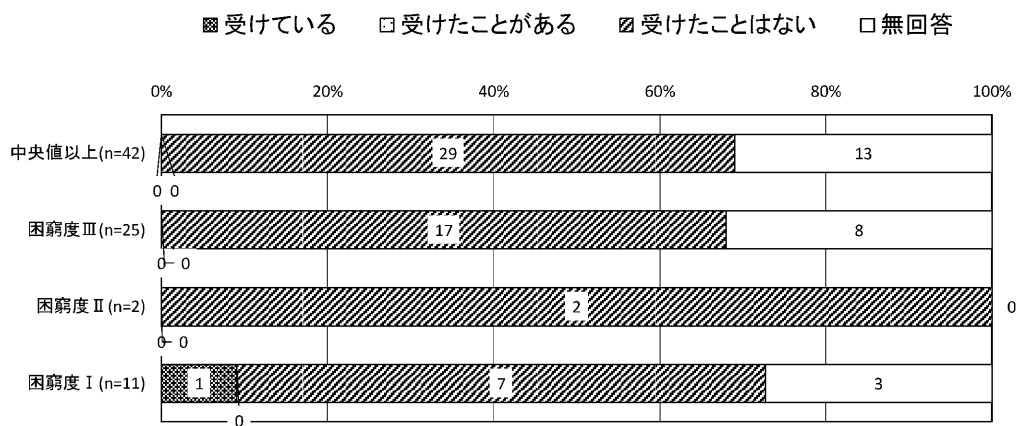
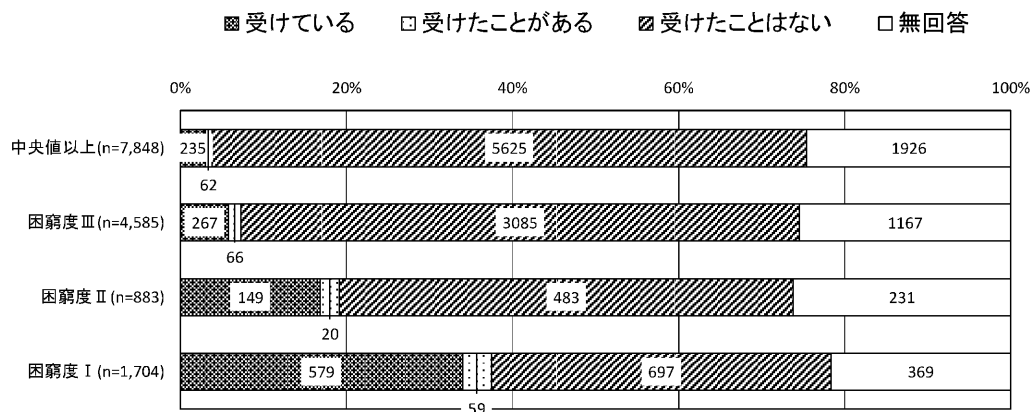


図 323. 困窮度別に見た就学援助費

困窮度別に就学援助費の受給率を見ると、「受けている」と回答したのは、困窮度Ⅰ群で9.1%のみだった。

困窮度別に見た児童扶養手当（5歳児保護者票問41-3-3）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

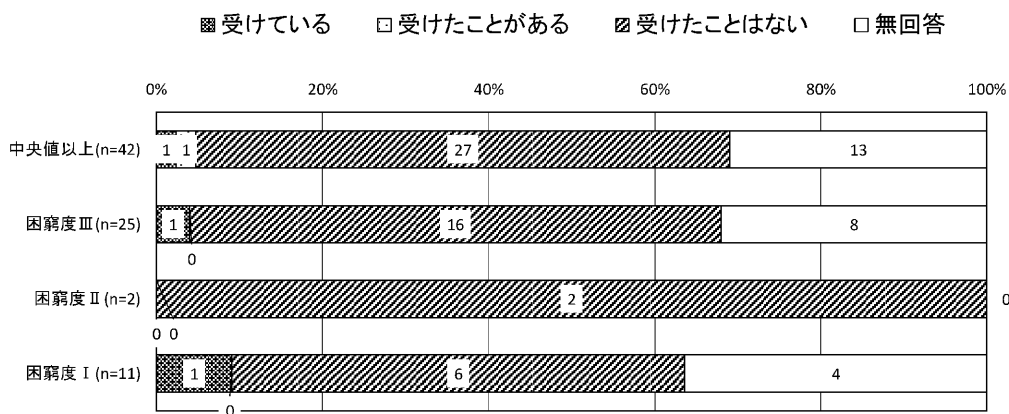
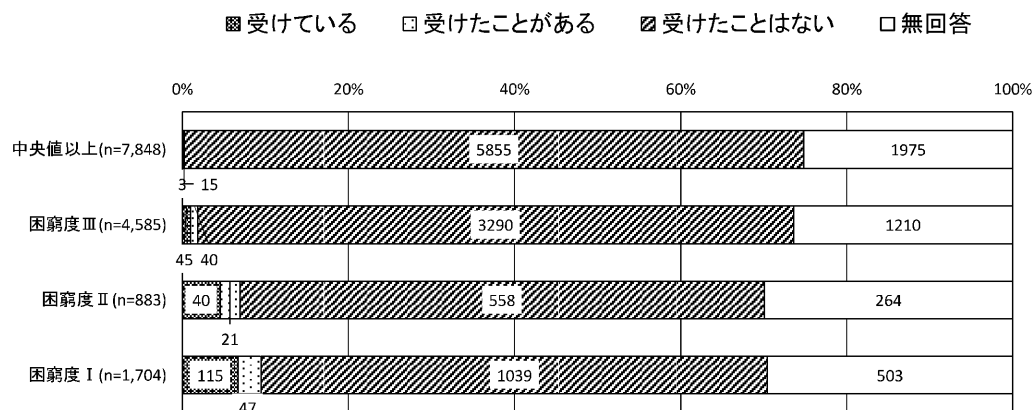


図 324. 困窮度別に見た児童扶養手当

困窮度別に児童扶養手当の受給率を見ると、「受けている」と回答したのは、中央値以上群が 2.4% であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 9.1% だった。また、「受けたことはない」と回答したのは、中央値以上群が 64.3% であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 54.5% だった。

困窮度別に見た生活保護（5歳児保護者票問 41-3-5）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

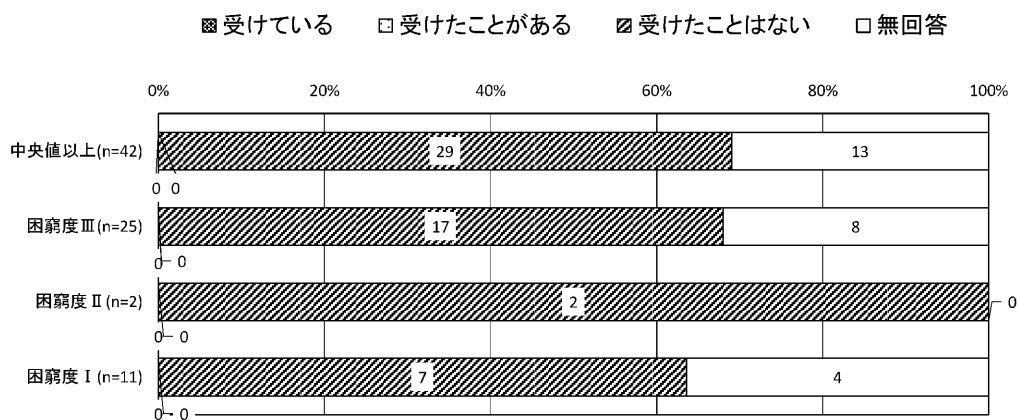
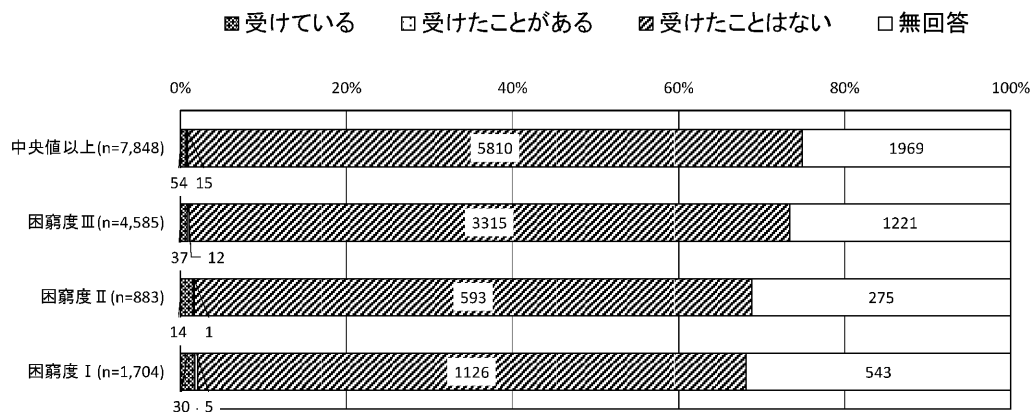


図 325. 困窮度別に見た生活保護

困窮度別に生活保護の受給率を見ると、「受けたことはない」と回答したのは、中央値以上群が 69.0% であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 63.6% だった。

困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）（5歳児保護者票問 41-3-7）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

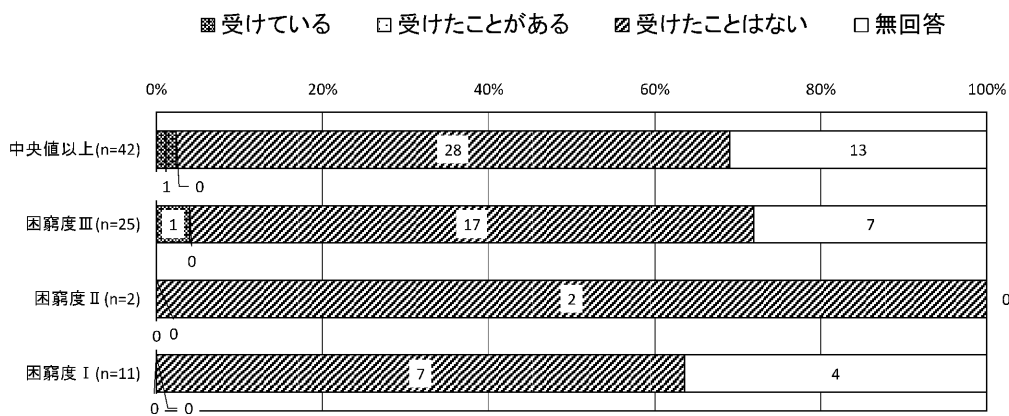
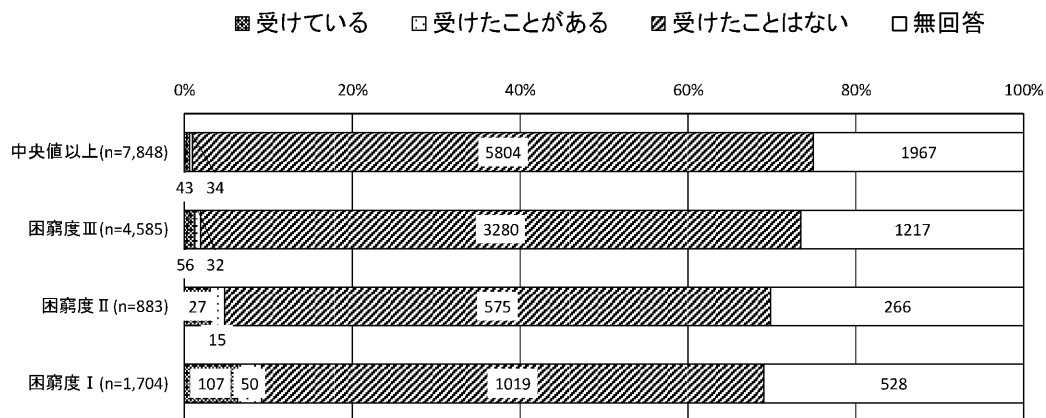


図 326. 困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度別に遺族年金や障がい年金といった公的年金の受給率を見ると、「受けたことはない」と回答したのは、中央値以上群が 66.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 63.6%だった。

困窮度別に見た養育費（5歳児保護者票問41-3-9）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

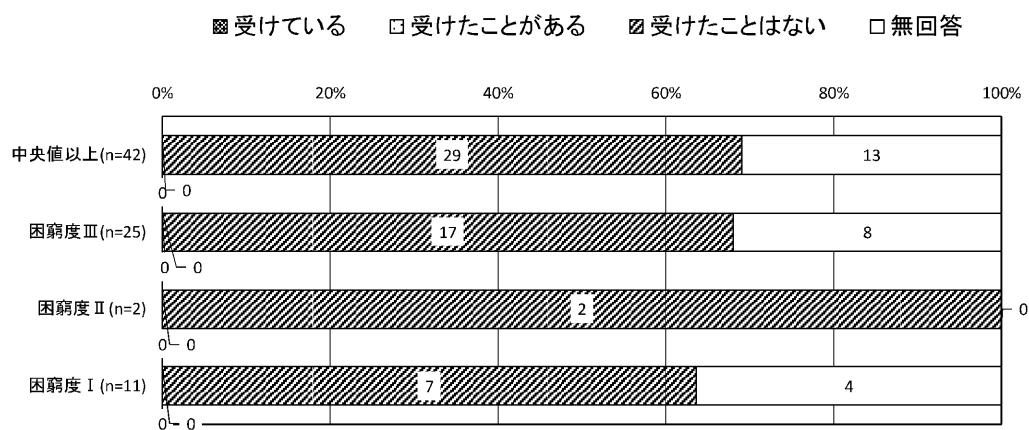
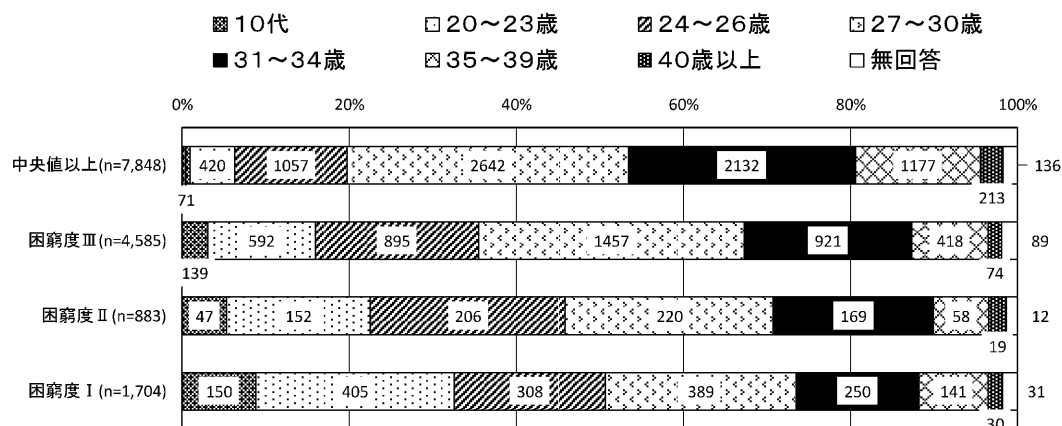


図 327. 困窮度別に見た養育費

困窮度別に養育費の受給率を見ると、「受けたことはない」と回答したのは、中央値以上群が69.0%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は63.6%だった。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（5歳児保護者票問33）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

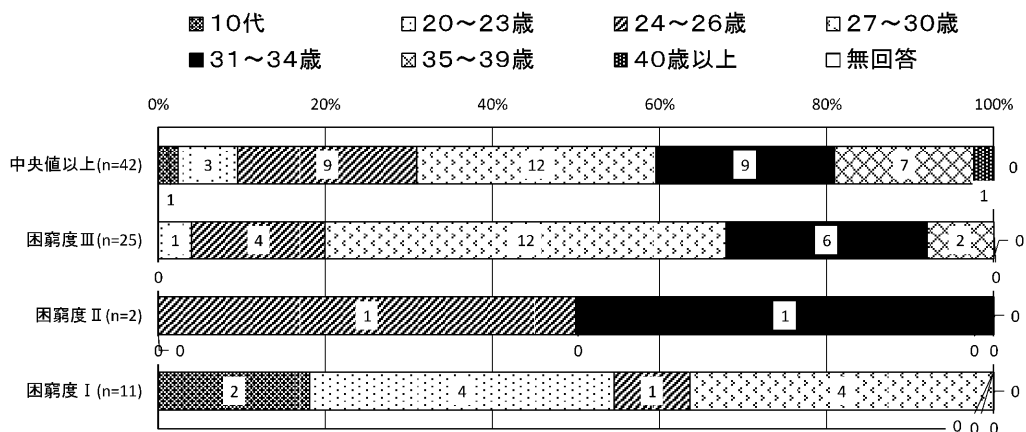
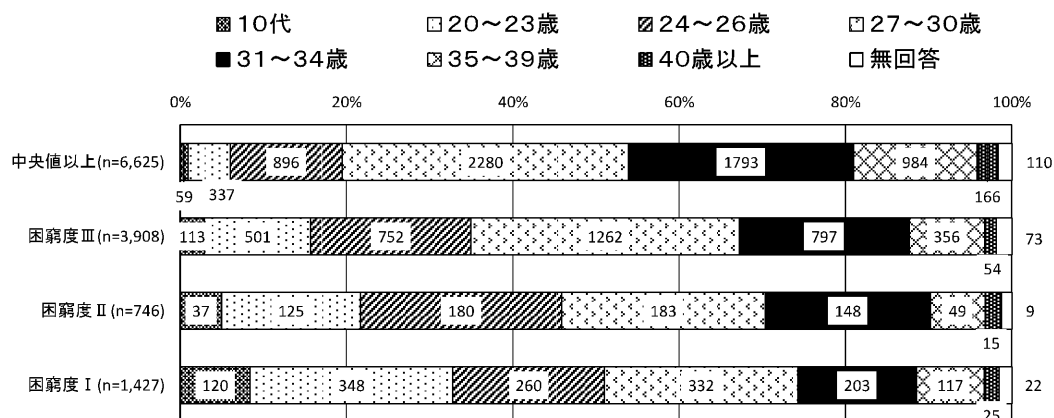


図 328. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、「10代」と回答したのは、中央値以上群が2.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は18.2%だった。また、23歳までに初めて親となったと回答したのは、中央値以上群が9.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は54.6%だった。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（5歳児保護者票問33）※母親が回答者の場合に限定

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

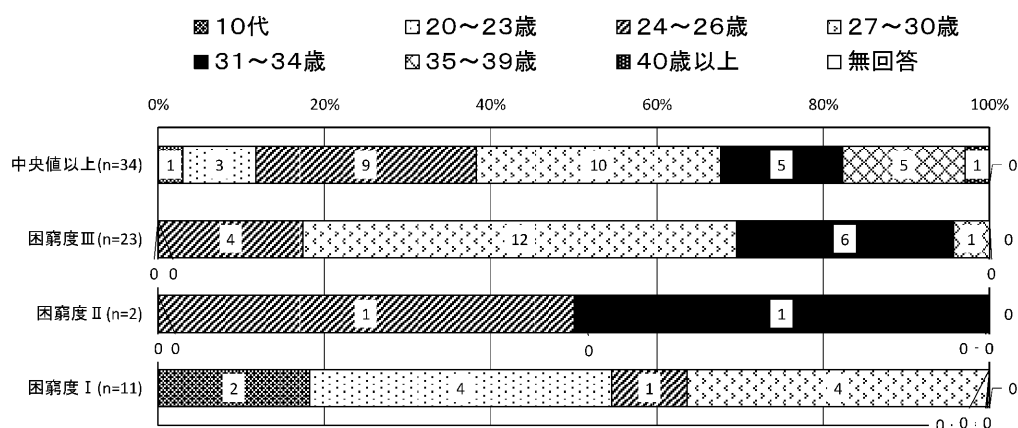


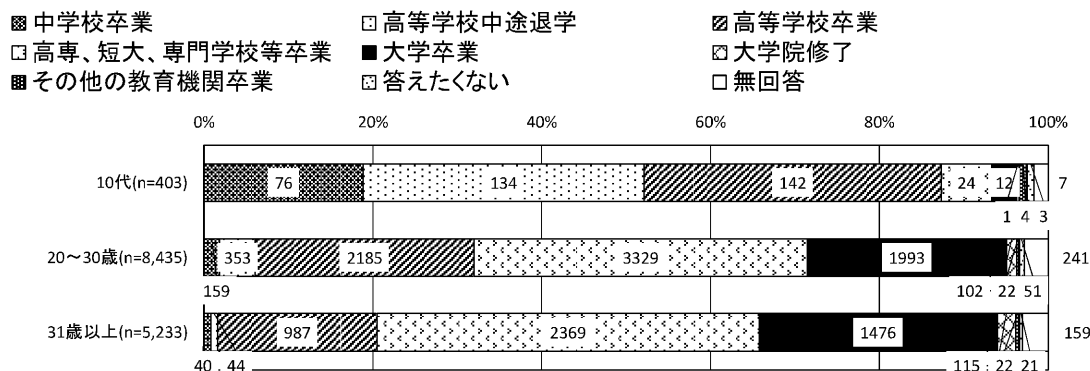
図 329. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、「10代」と回答したのは、中央値以上群が2.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は18.2%だった。また、23歳までに初めて親となったと回答したのは、中央値以上群が11.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は54.6%だった。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（5歳児保護者票問33×問7）

※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

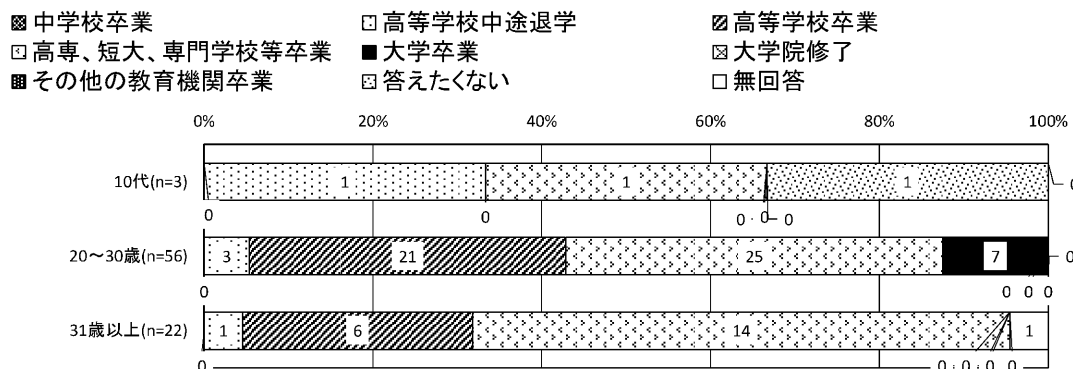


図 330. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢ではじめて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢ではじめて親となった平均以上群（30歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、母親の最終学歴について傾向を述べることはできない。

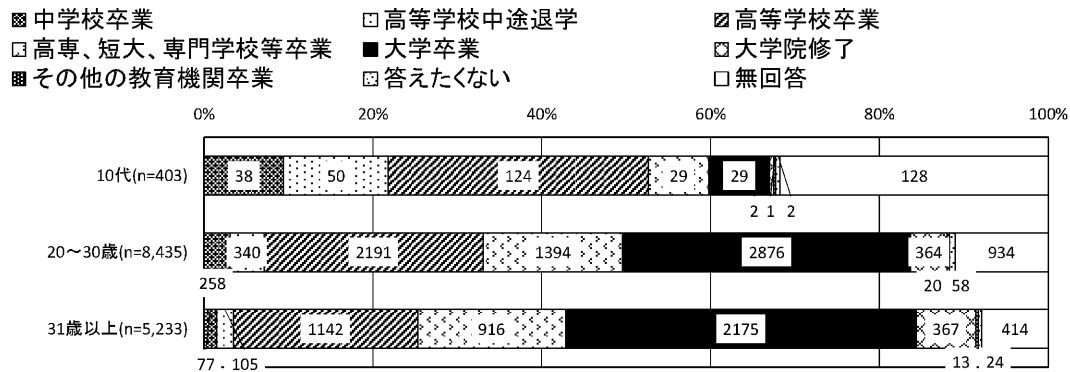
平均出産年齢：

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（5歳児保護者票問33×問7）

※母親が回答者の場合に限定

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

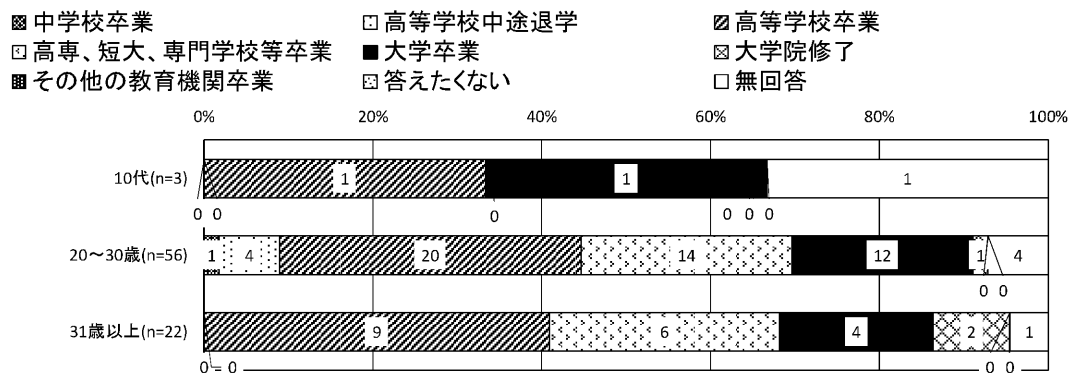
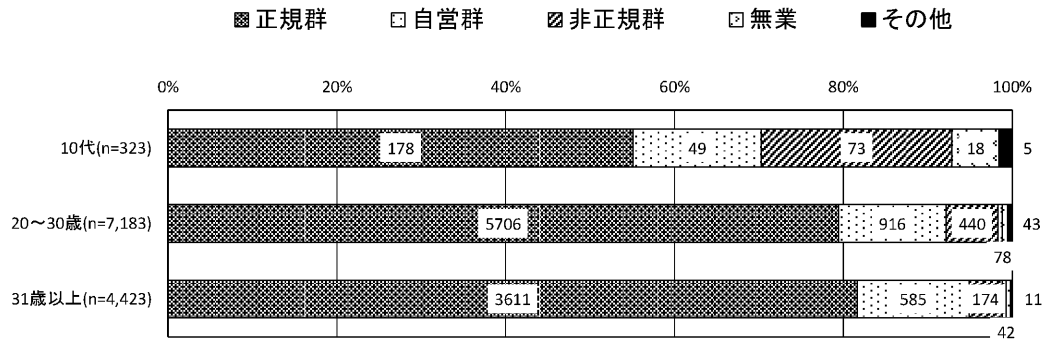


図 331. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、父親の最終学歴について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た就労状況（5歳児保護者票問33×問8より）
 ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

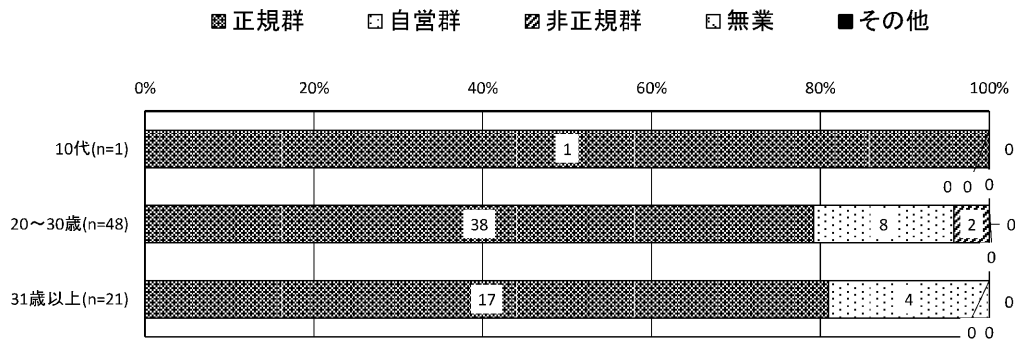


図 332. 初めて親となった年齢別に見た就労状況

母親回答者を対象とした際、10代群は1名にとどまった。10代群との比較で、就労状況について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数
 (5歳児保護者票問 33×問 37) ※母親が回答者の場合に限定

<5歳児全体(4市町合計)>



<能勢町>

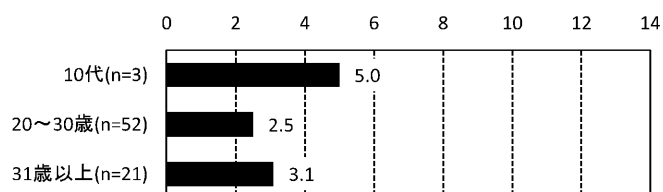
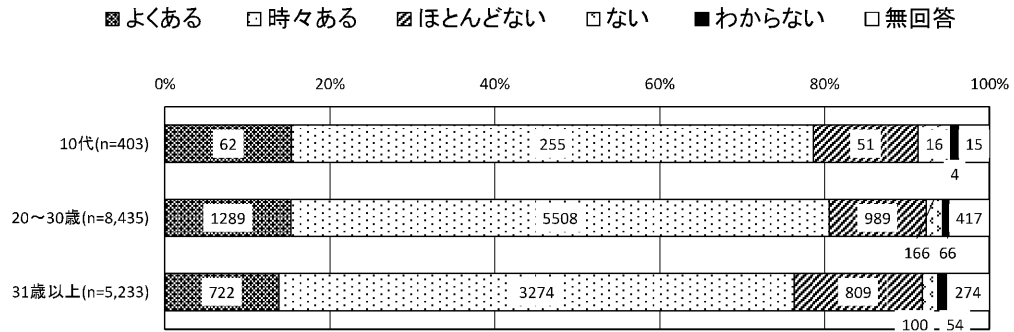


図 333. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、自分の体や気持ちで気になることの該当数について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと
 (5歳児保護者票問 33×問 38) ※母親が回答者の場合に限定

<5歳児全体(4市町合計)>



<能勢町>

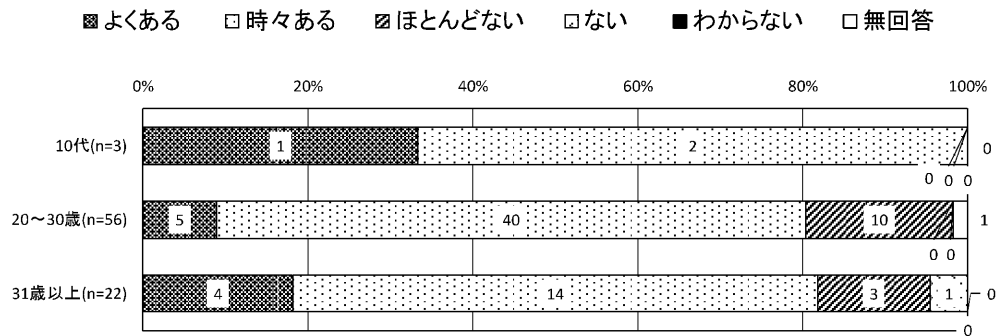
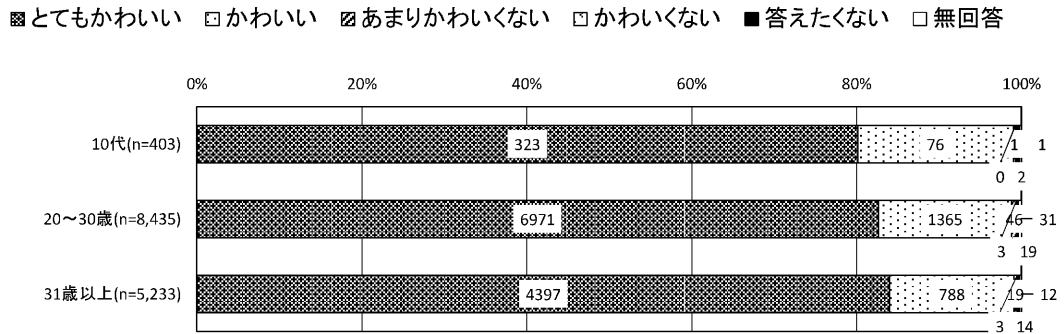


図 334. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことについて傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもをかわいいと思うか（5歳児保護者票問 33×問 31-1）
 ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

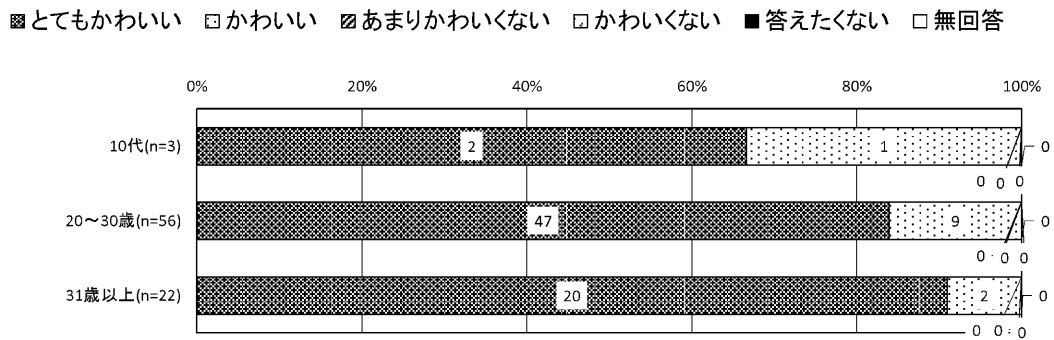


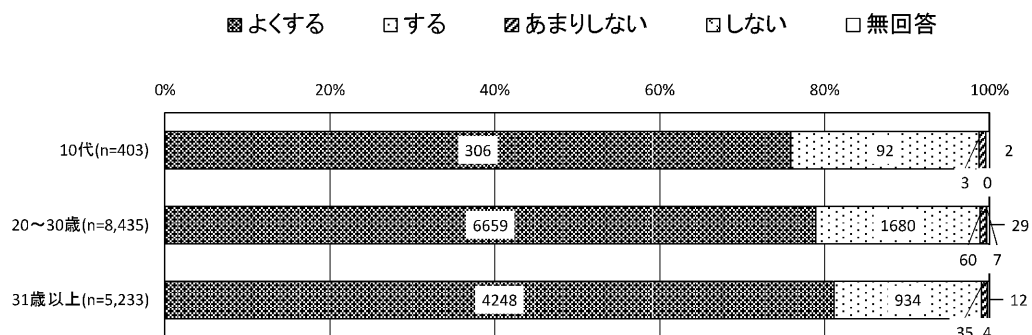
図 335. 初めて親となった年齢別に見た、子どもをかわいいと思うか

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、子どもをかわいいと思うかについて傾向を述べることはできない。いずれも、「とてもかわいい」という回答が60%を超えている。

初めて親となった年齢別に見た、子どもと会話（5歳児保護者票問 33×問 31-2）

※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

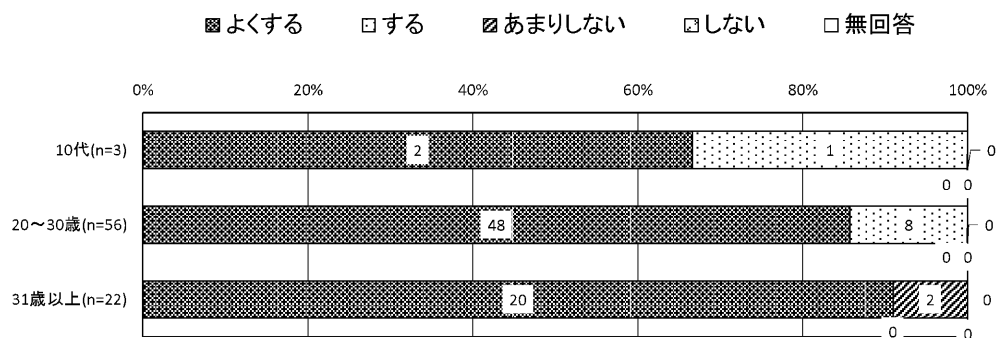
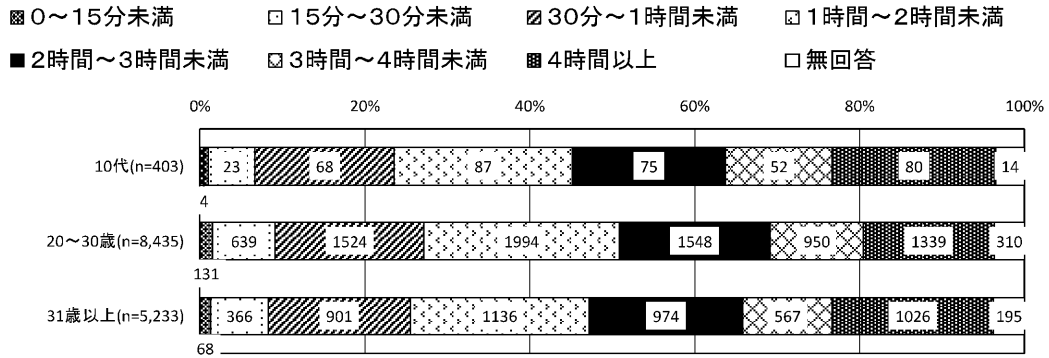


図 336. 初めて親となった年齢別に見た、子どもと会話

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、子どもと会話について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）（5歳児保護者票問 33×問 31-3）
 ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

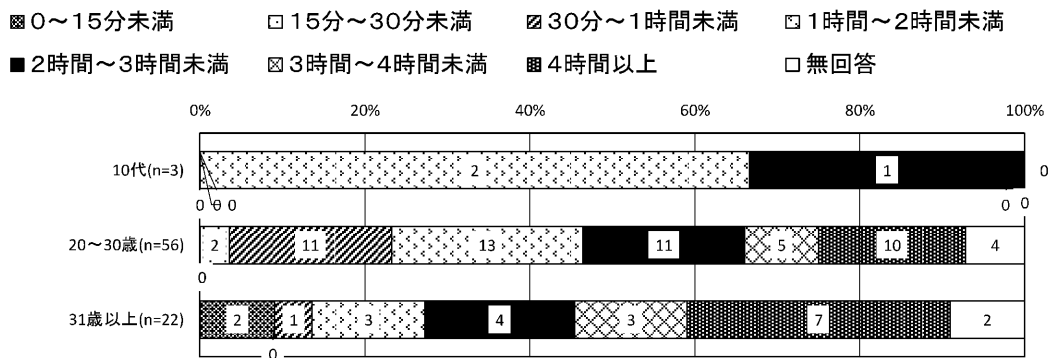
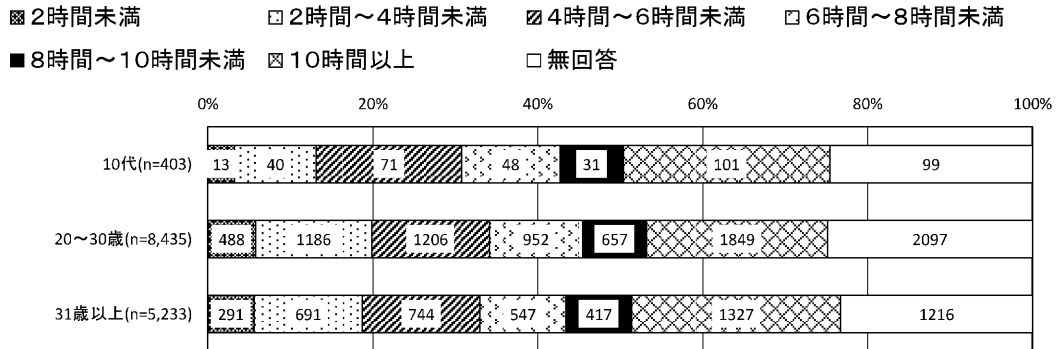


図 337. 初めて親となった年齢別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、子どもと一緒にいる時間（平日）について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）（5歳児保護者票問 33×問 31-3）
 ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

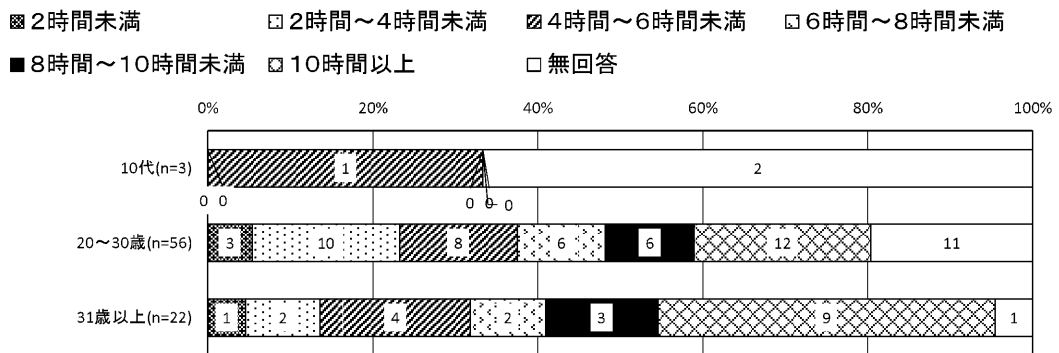


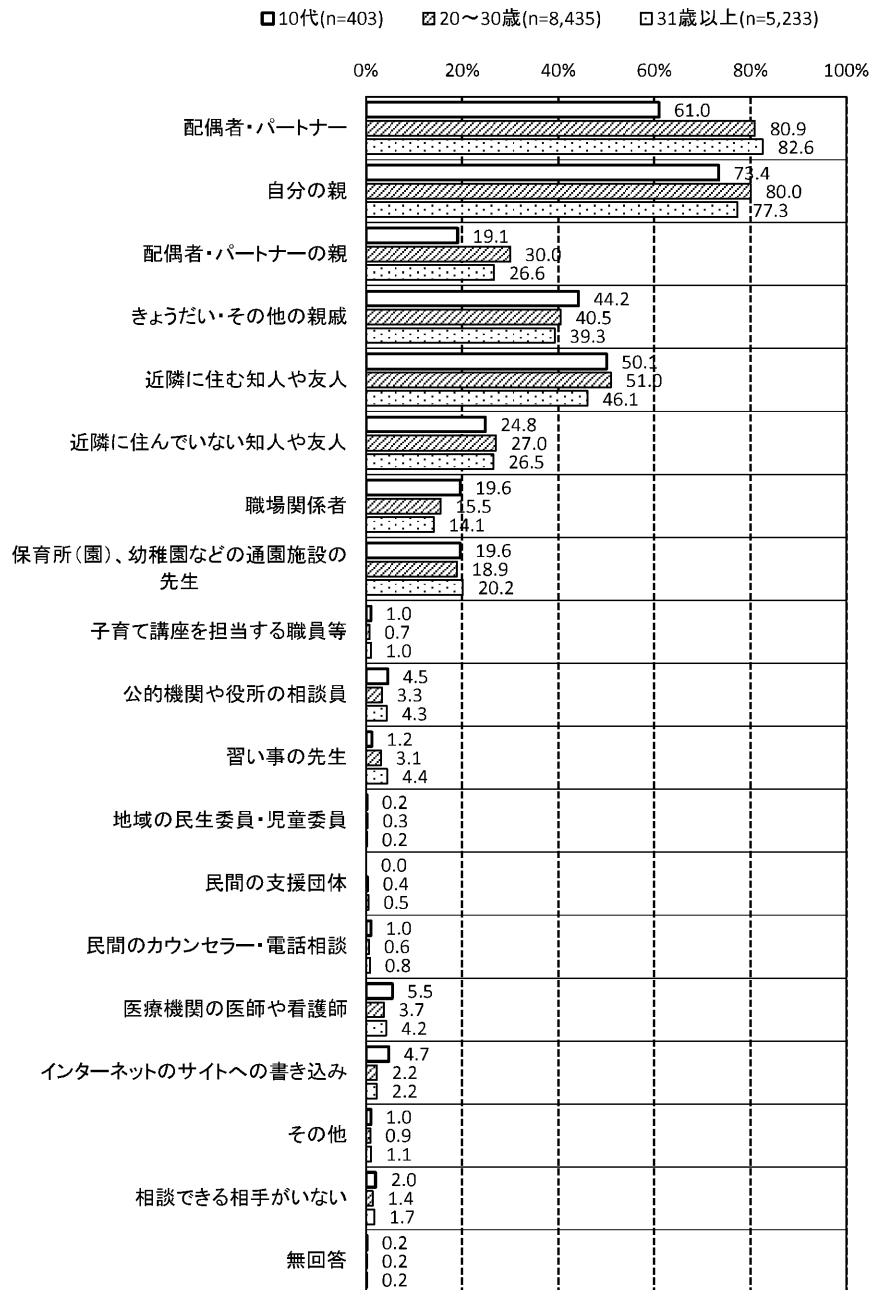
図 338. 初めて親となった年齢別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、子どもと一緒にいる時間（休日）について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、困ったときの相談先（5歳児保護者票問 33×問 35）

※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

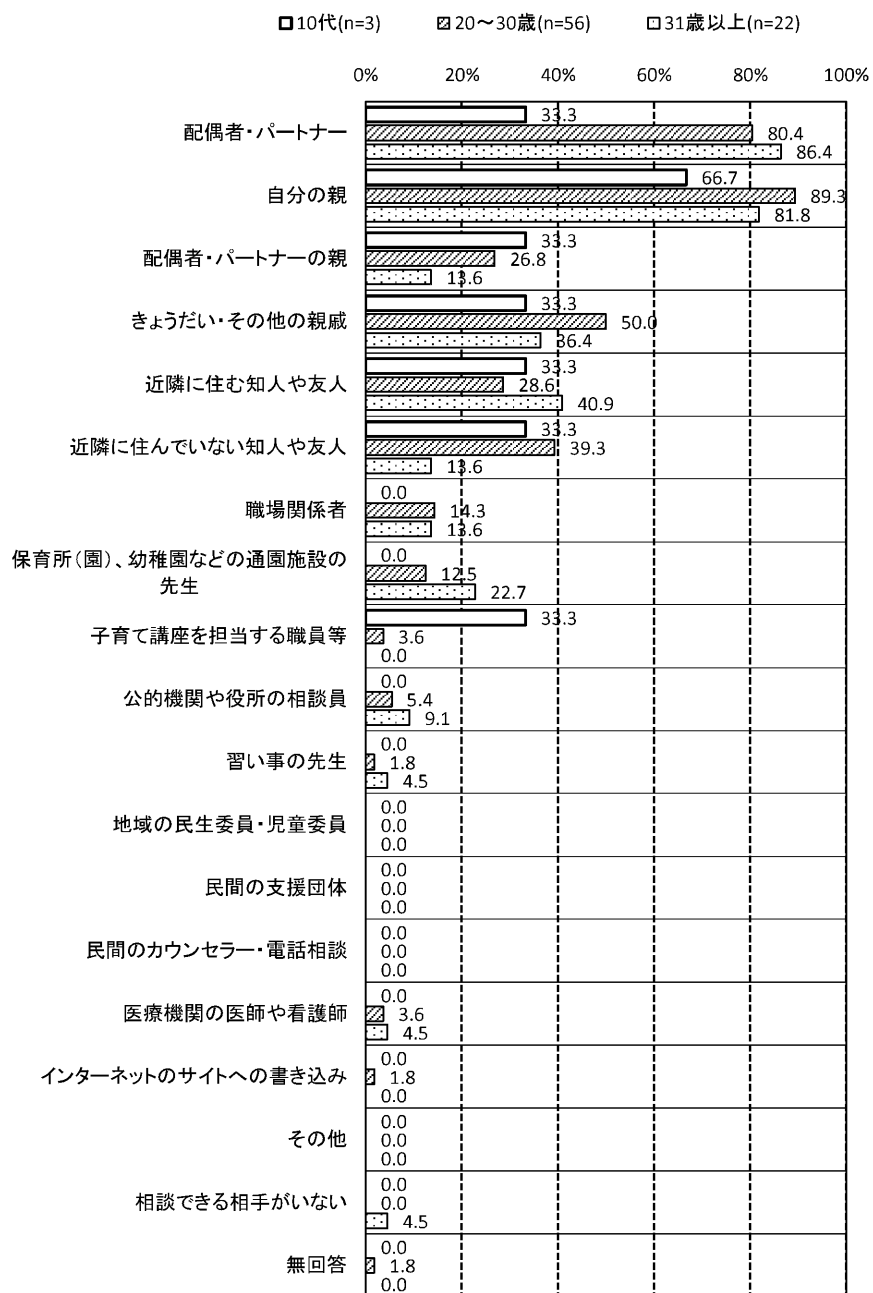


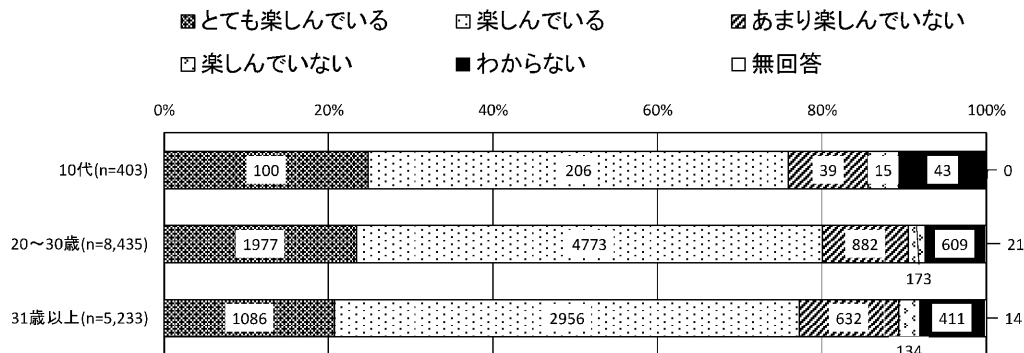
図 339. 初めて親となった年齢別に見た、困ったときの相談先

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、困ったときの相談先について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

（5歳児保護者票問 33×問 36-1） ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

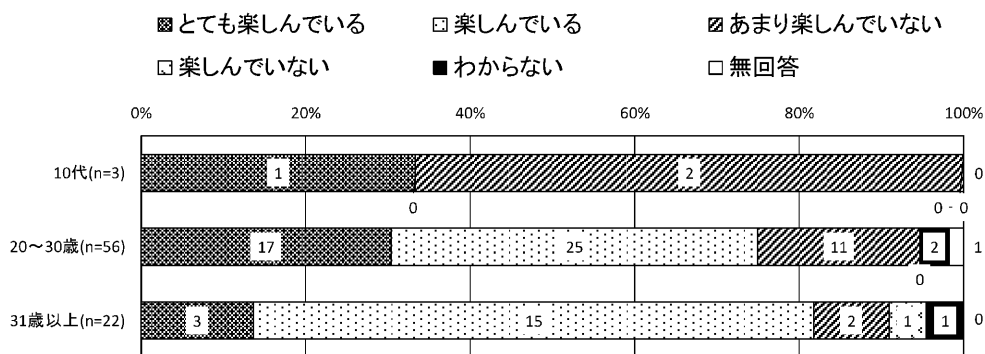


図 340. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

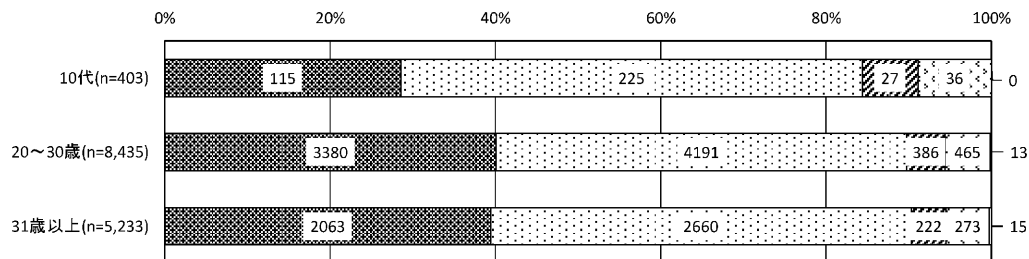
母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、心の状態（生活を楽しんでいるか）について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（将来への希望）

（5歳児保護者票問 33×問 36-2） ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >

- 希望が持てる
- ▨ 希望が持てない
- 無回答
- ▤ 希望が持てるときもあれば、持てないときもある
- ▧ わからない



< 能勢町 >

- 希望が持てる
- ▨ 希望が持てない
- 無回答
- ▤ 希望が持てるときもあれば、持てないときもある
- ▧ わからない

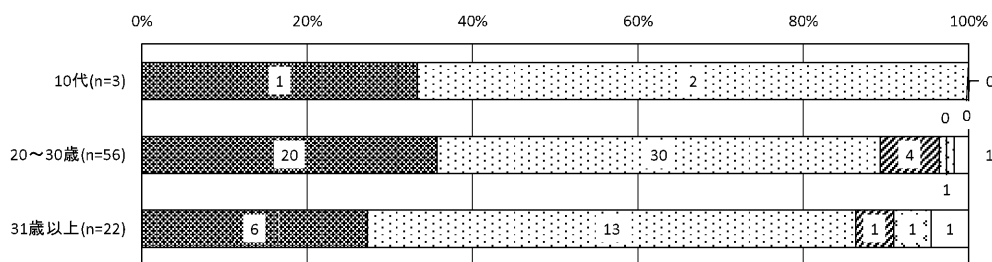


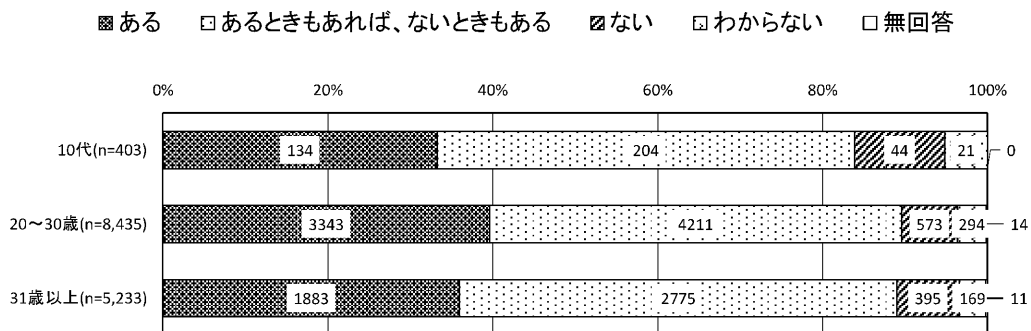
図 341. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（将来への希望）

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、心の状態（将来への希望）について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

（5歳児保護者票問 33×問 36-3） ※母親が回答者の場合に限定

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

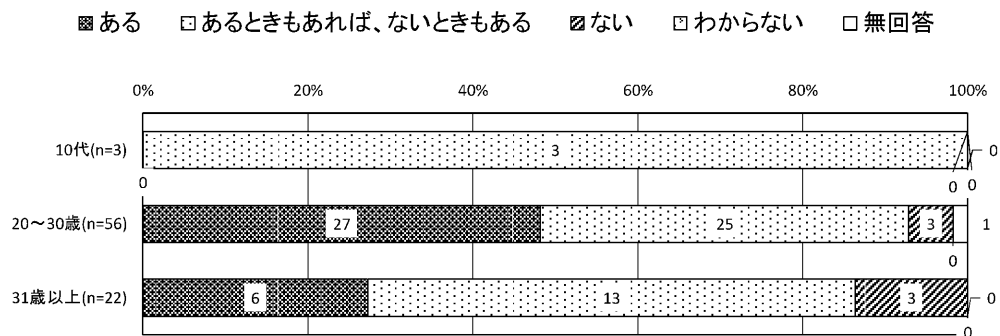
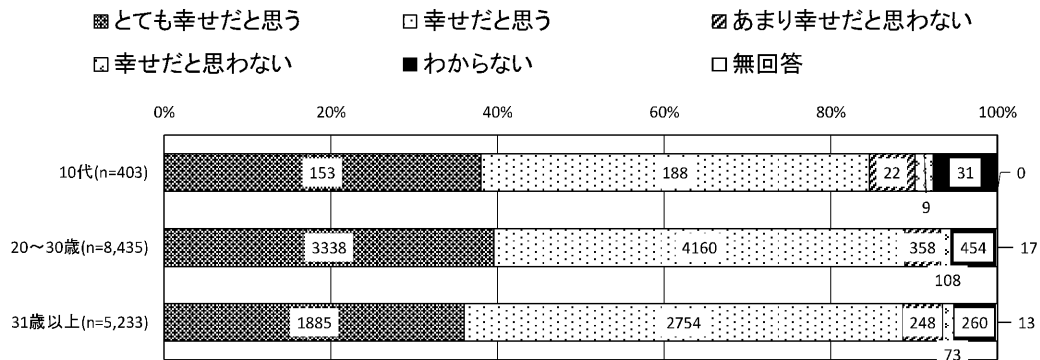


図 342. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、心の状態（ストレス発散できるもの）について傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（幸せだと思うか）
 （5歳児保護者票問 33×問 36-4） ※母親が回答者の場合に限定

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

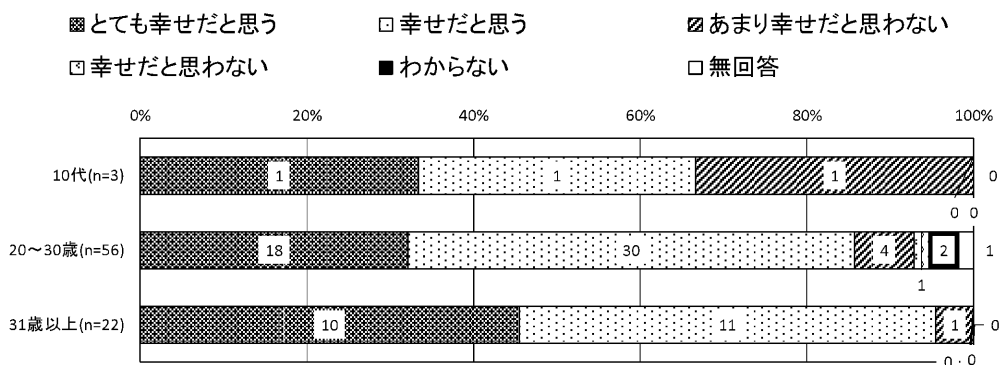


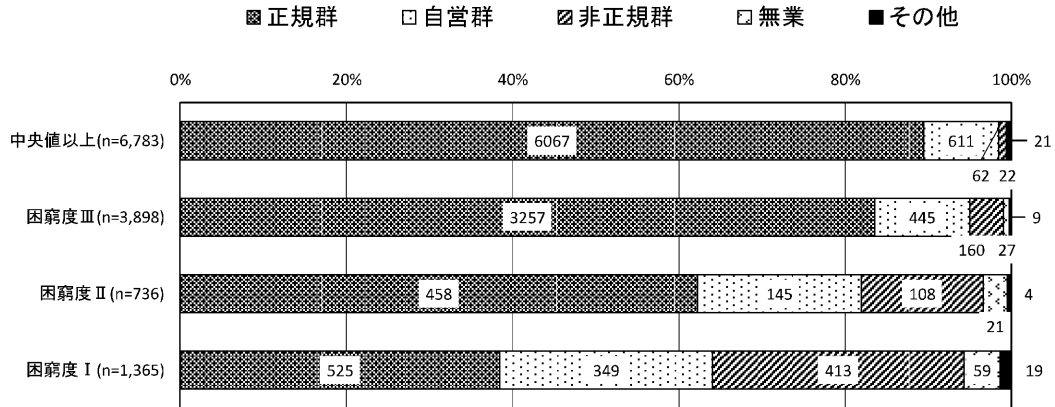
図 343. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

母親回答者を対象とした際、10代群は3名にとどまった。10代群との比較で、心の状態（幸せだと思うか）について傾向を述べることはできない。

3-2. 雇用

困窮度別に見た就労状況（5歳児保護者票問8より）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

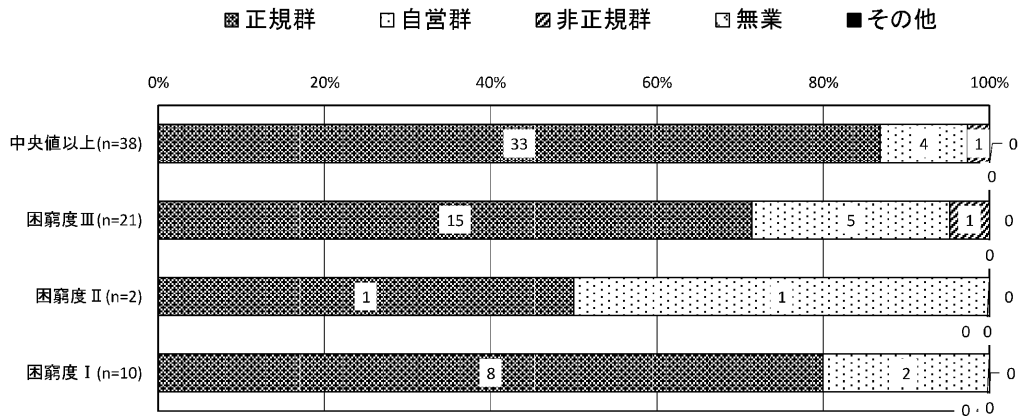
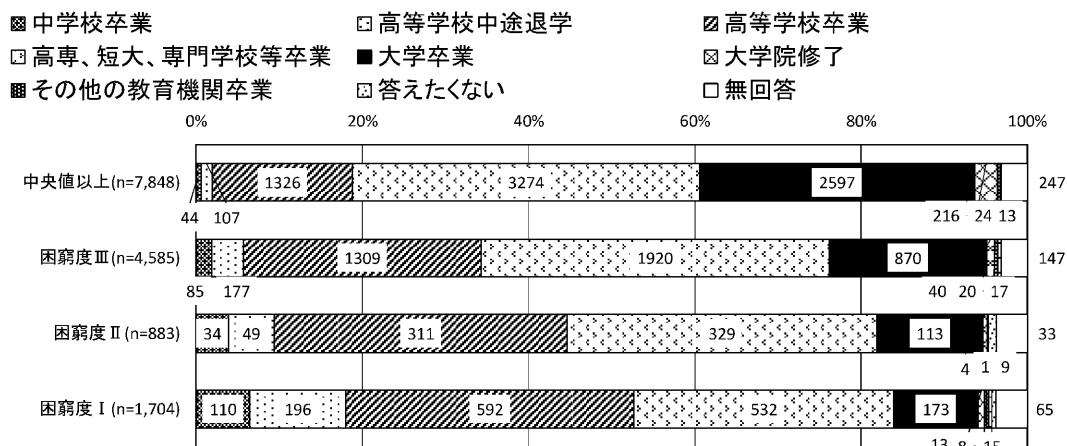


図 344. 困窮度別に見た就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、「正規群」と回答したのは、中央値以上群では86.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は80.0%だった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（5歳児保護者票問7）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

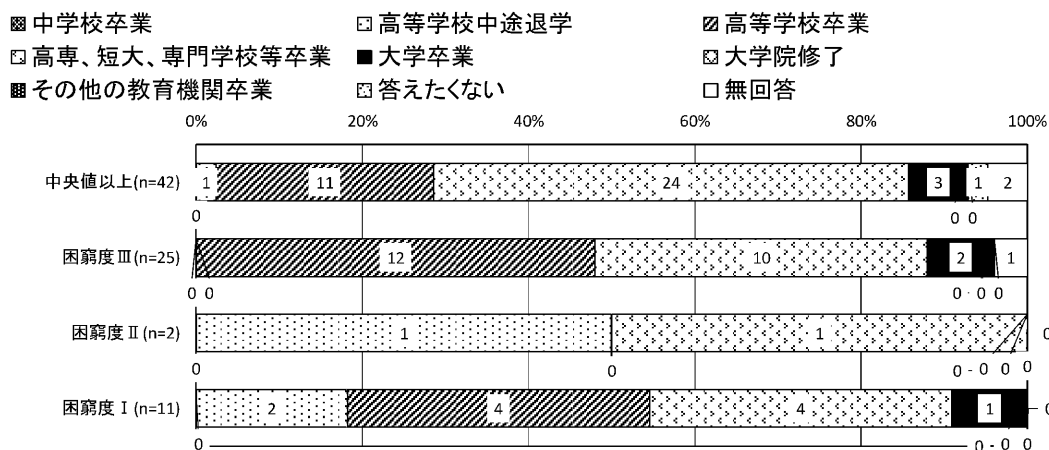
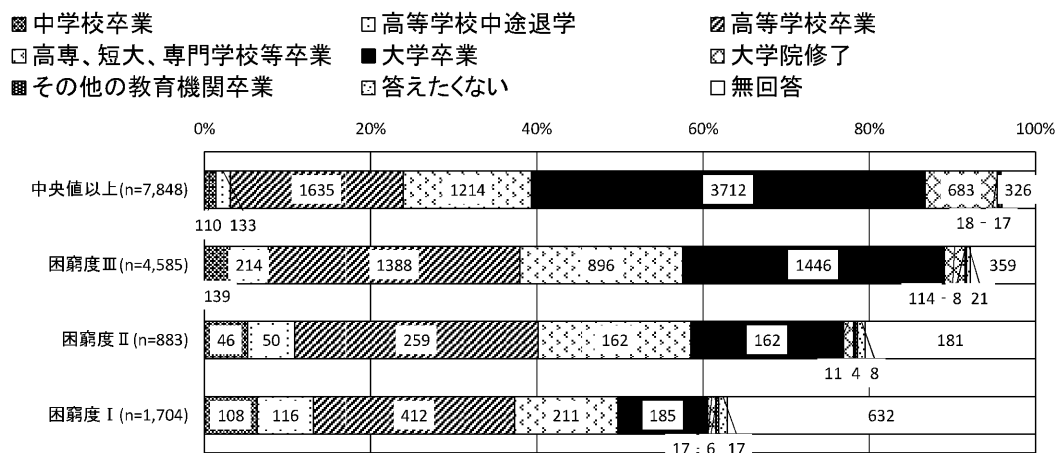


図 345. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、高卒までの割合は、中央値以上群では 28.6%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 54.6%だった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（5歳児保護者票問7）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

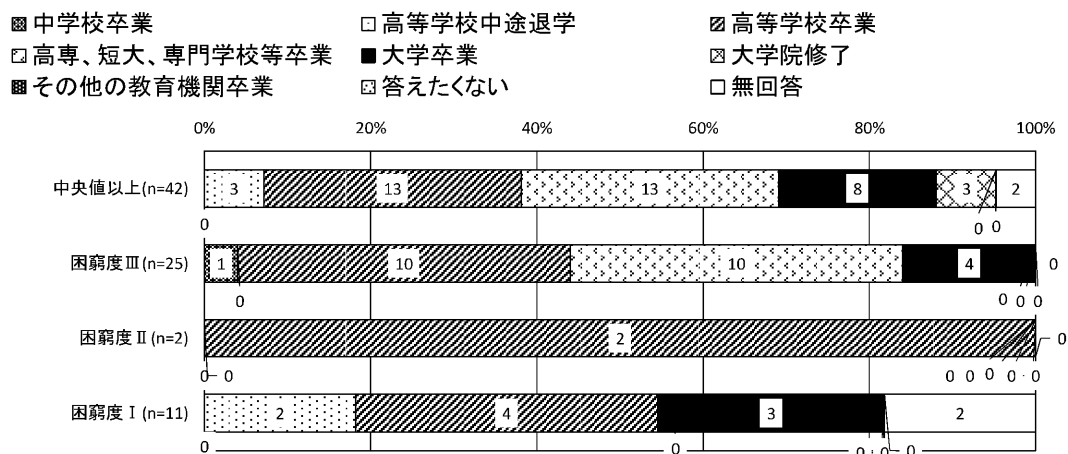
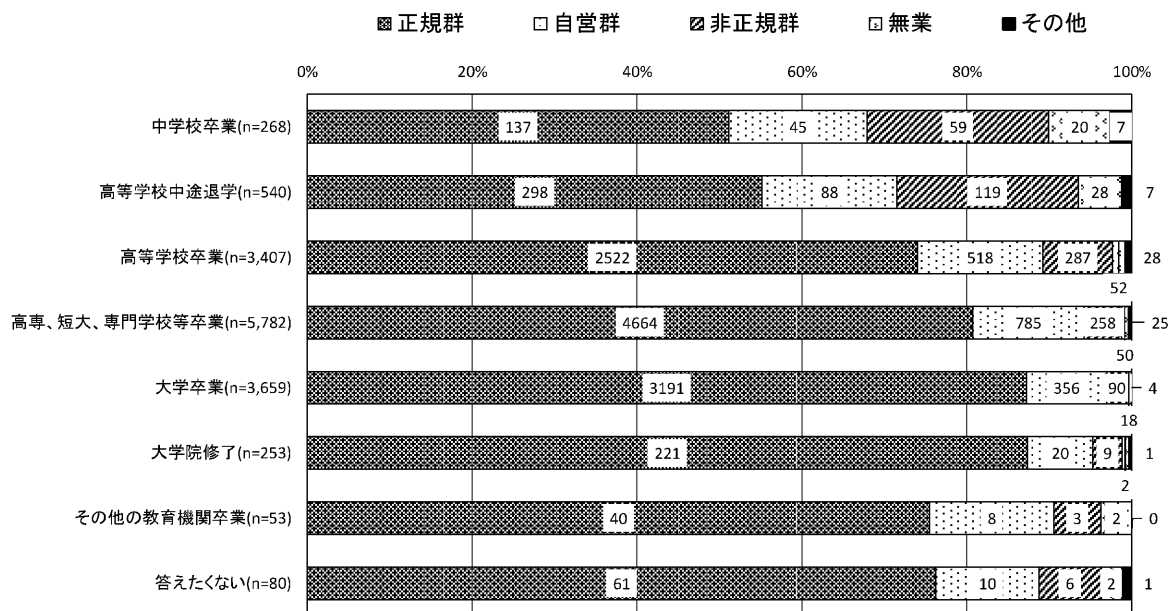


図 346. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、高卒までの割合は、中央値以上群では 38.1%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 54.6%だった。

母親の最終学歴別に見た就労状況（5歳児保護者票問7×問8より）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

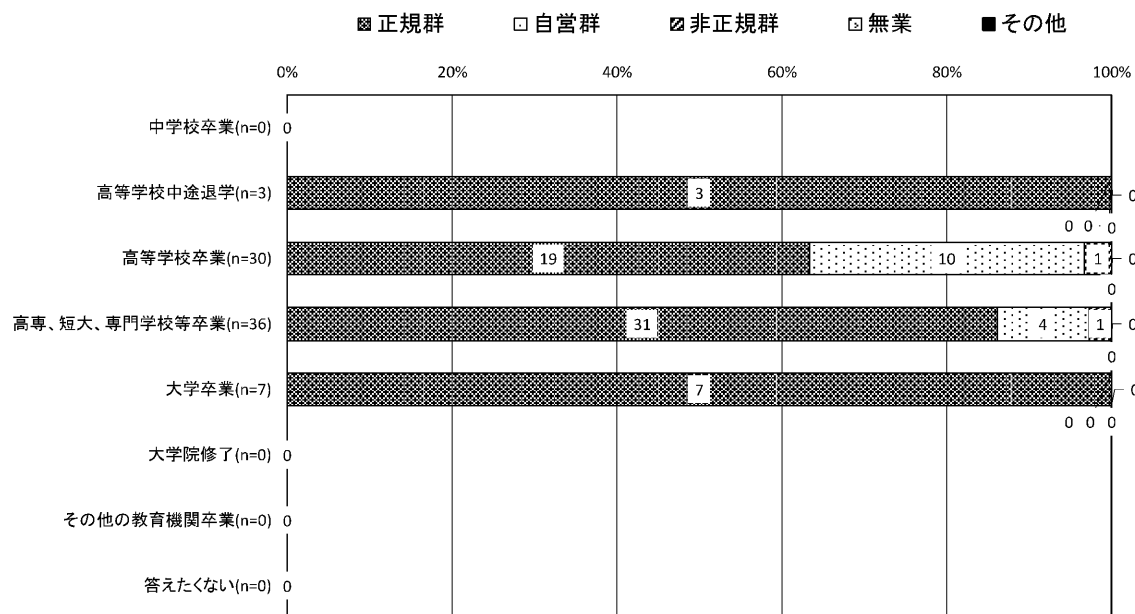
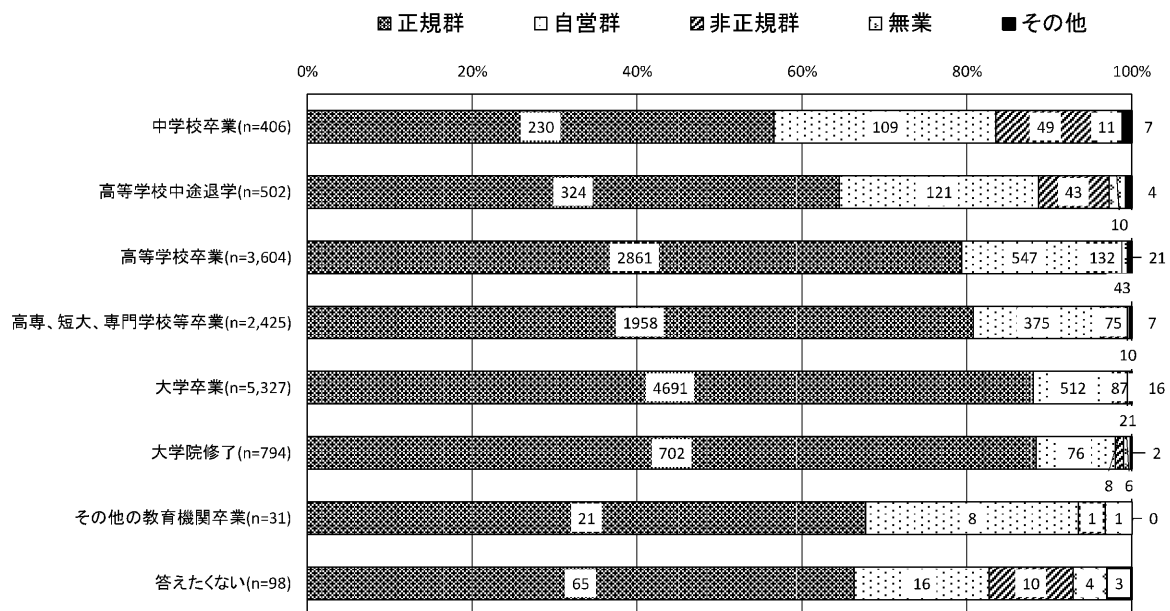


図 347. 母親の最終学歴別に見た就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、高等学校卒業群から大学卒業群にかけて「正規群」の割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た就労状況（5歳児保護者票問7×問8より）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

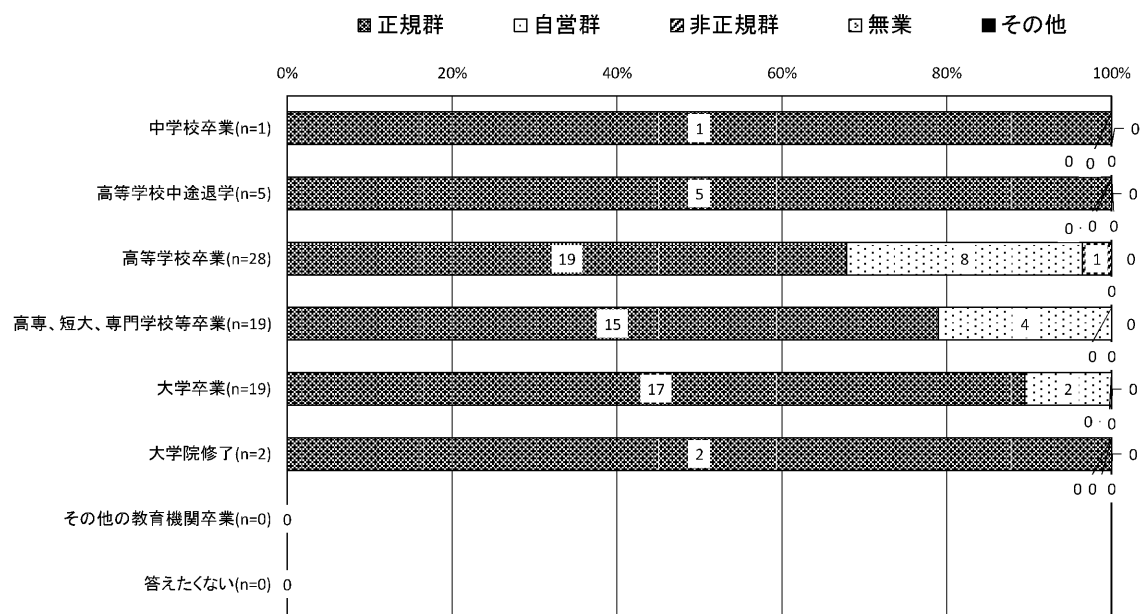
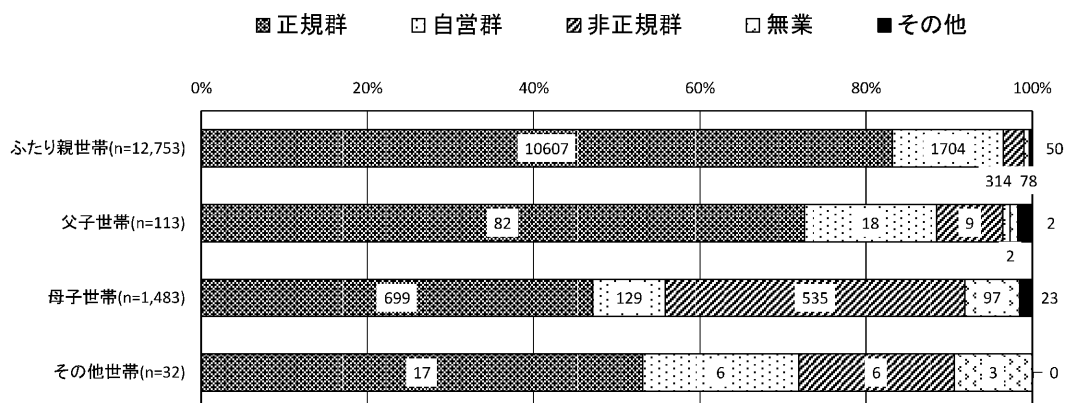


図 348. 父親の最終学歴別に見た就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、高等学校卒業群から大学卒業群にかけて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た就労状況（5歳児保護者票問8より）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

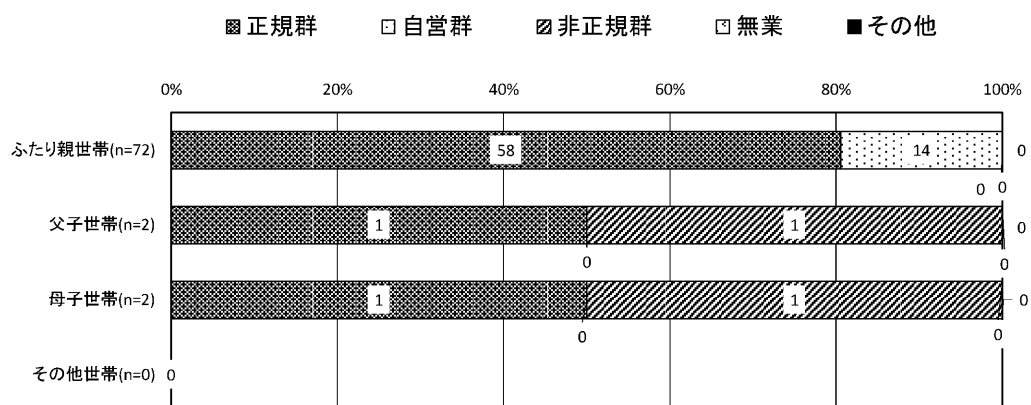


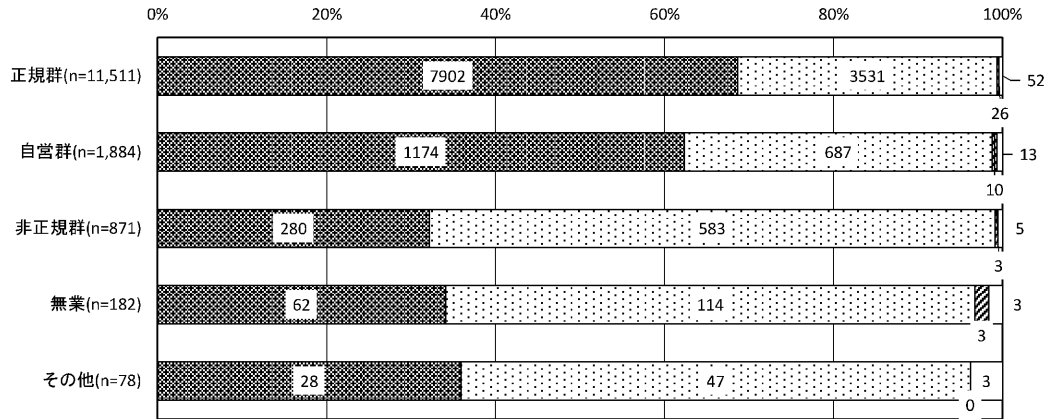
図 349. 世帯構成別に見た就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、父子世帯と母子世帯はそれぞれ2名にとどまった。世帯構成別に就労状況について傾向を述べることはできない。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（5歳児保護者票問 5-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >

■ 貯蓄をしている □ 貯蓄をしたいが、できていない ▨ 貯蓄をするつもりはない □ 無回答



< 能勢町 >

■ 貯蓄をしている □ 貯蓄をしたいが、できていない ▨ 貯蓄をするつもりはない □ 無回答

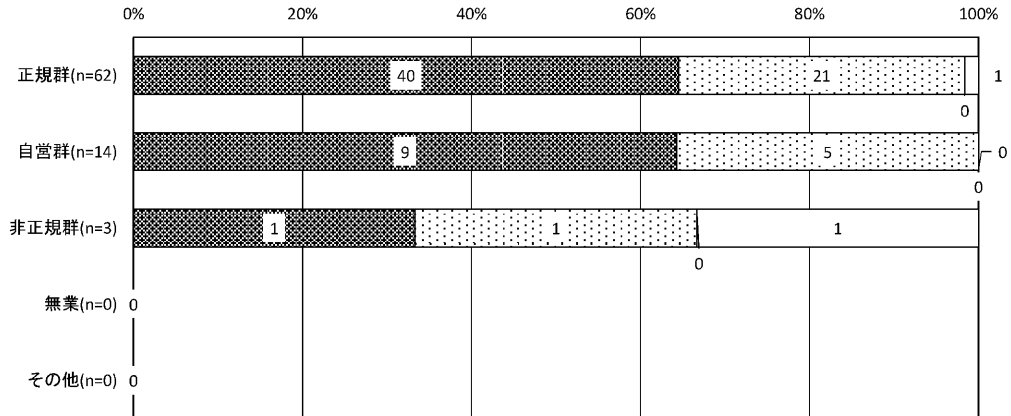
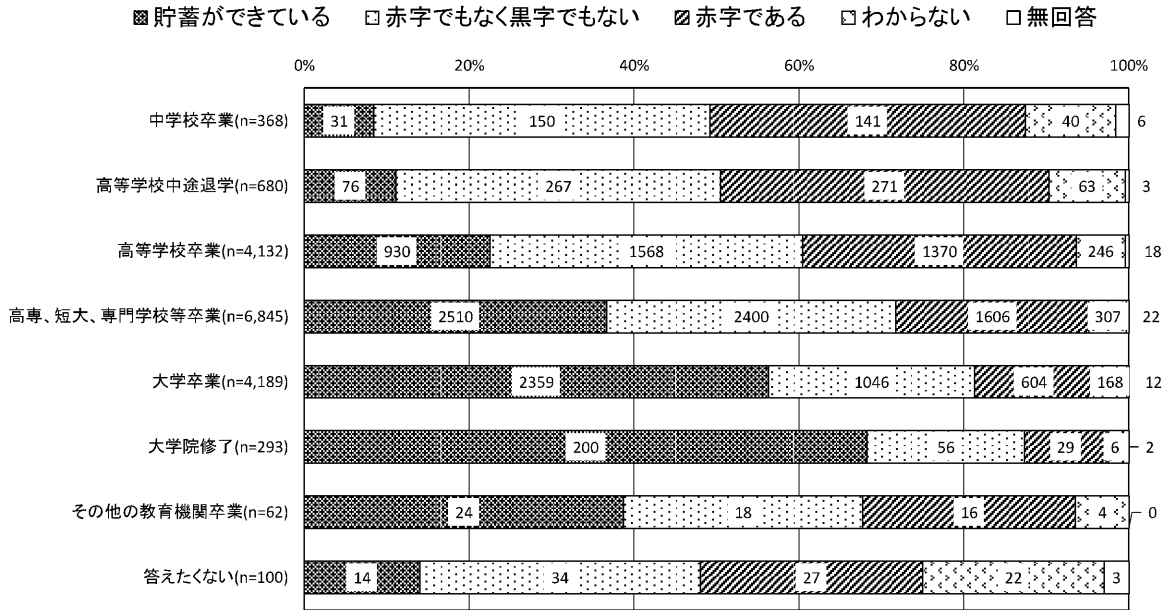


図 350. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

就労状況を「無業」と答えた人および「その他」と答えた人は見られず、「非正規群」と答えた人も3人にとどまった。そのため、これらの群によって子どものための貯蓄について傾向を述べることはできない。また、正規群と自営群間で子どものための貯蓄について大きな差は見られない。

母親の最終学歴別に見た家計状況（5歳児保護者票問7×問5-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

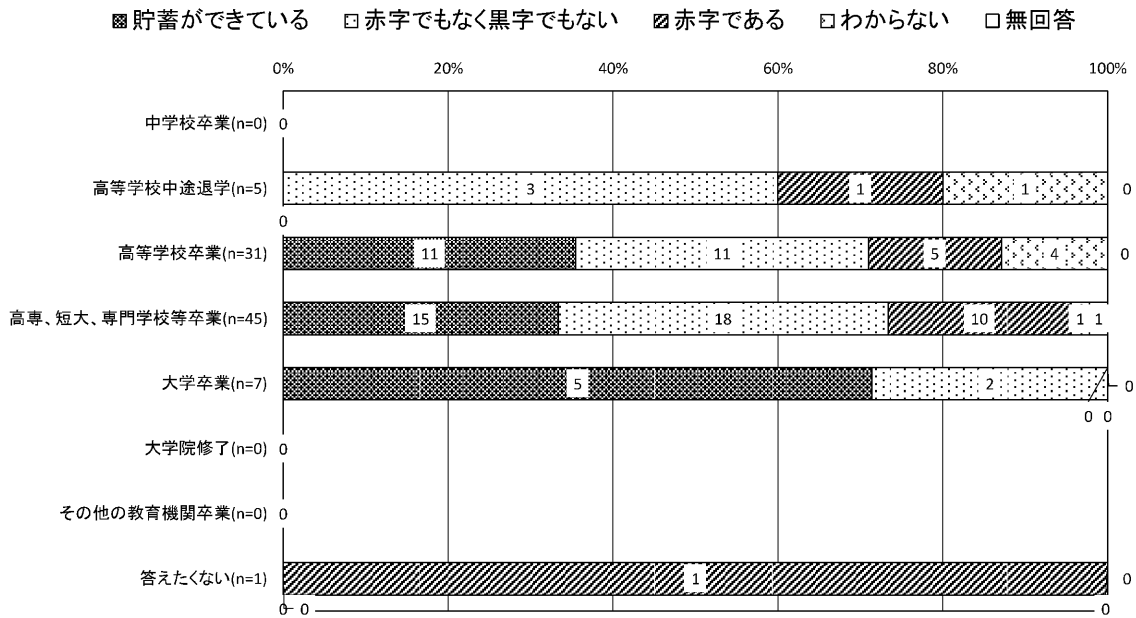
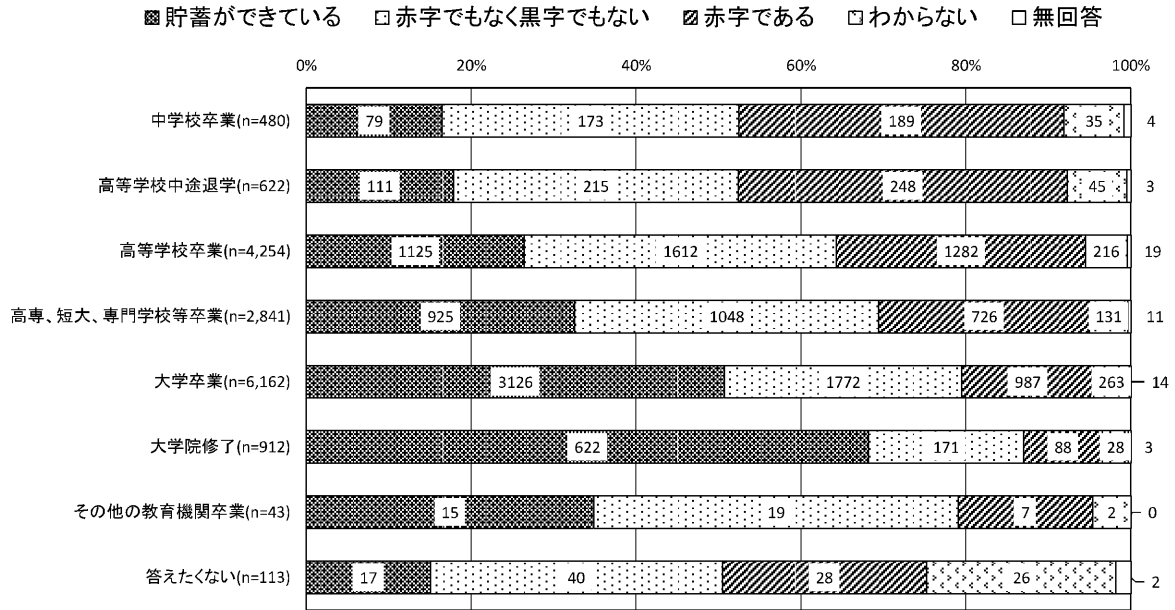


図 351. 母親の最終学歴別に見た家計状況

母親の最終学歴別に家計状況を見ると、「貯蓄ができています」と回答したのは、高等学校卒業群では35.5%であるのに対して、大学卒業群は71.4%だった。また、「赤字である」と回答したのは、高等学校卒業群では12.9%であるのに対して、大学卒業群はいなかった。

父親の最終学歴別に見た家計状況（5歳児保護者票問7×問5-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

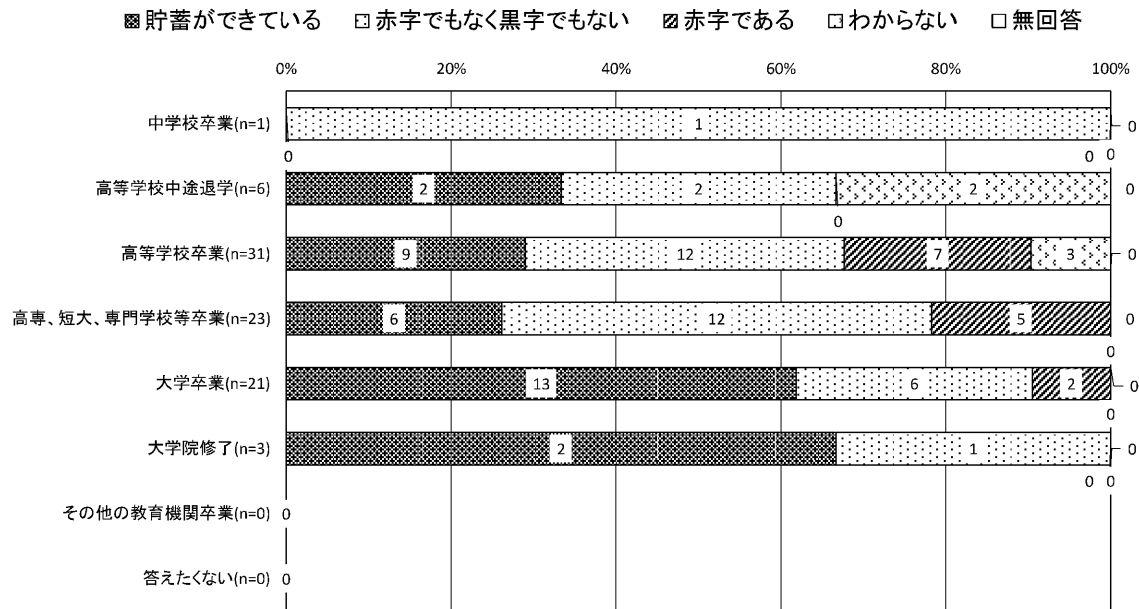
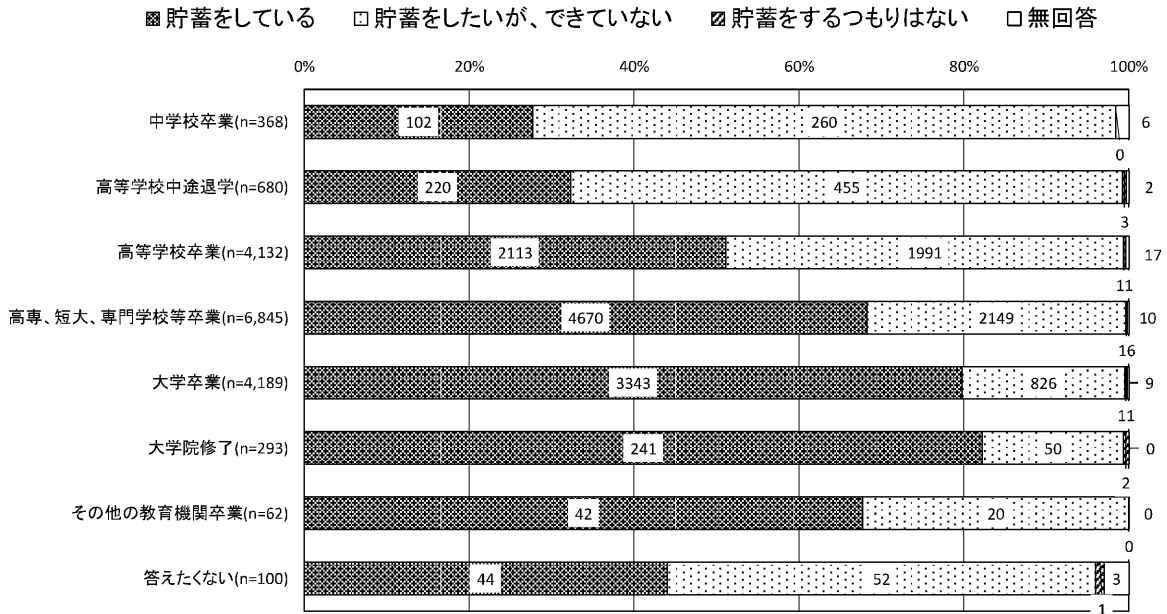


図 352. 父親の最終学歴別に見た家計状況

父親の最終学歴別に家計状況を見ると、「貯蓄ができています」と回答したのは、高等学校卒業群では29.0%であるのに対して、大学卒業群は61.9%だった。また、「赤字である」と回答したのは、高等学校卒業群では22.6%であるのに対して、大学卒業群は9.5%だった。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（5歳児保護者票問7×問5-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

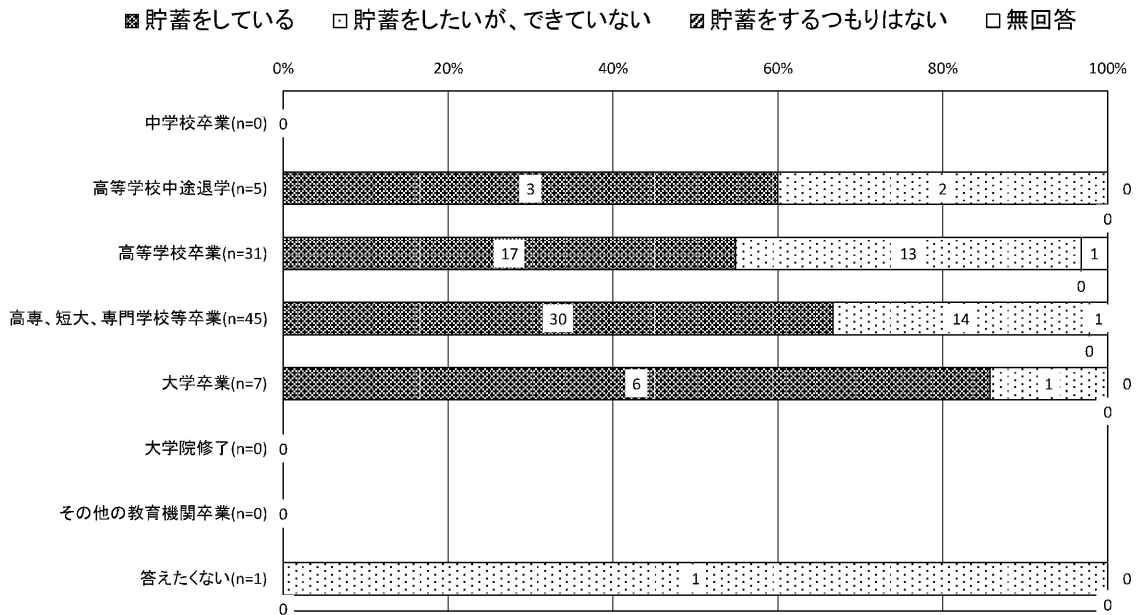
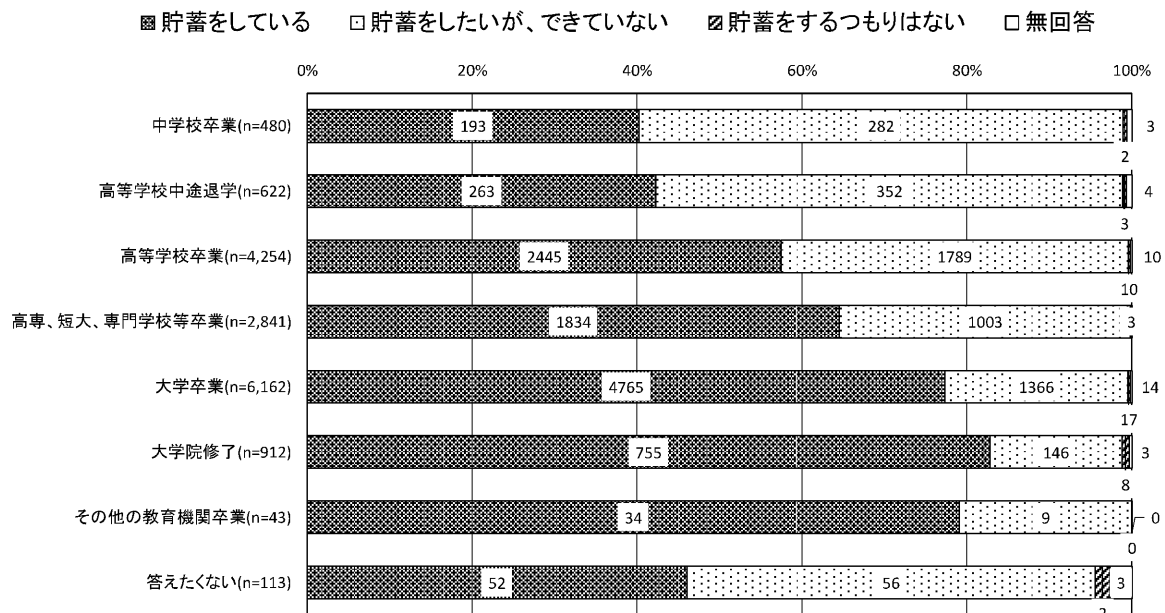


図 353. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

母親の最終学歴別に子どものための貯蓄を見ると、「貯蓄をしている」と回答したのは、高等学校卒業群では 54.8%であるのに対して、大学卒業群は 85.7%だった。また、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答したのは、高等学校卒業群では 41.9%であるのに対して、大学卒業群は 14.3%だった。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（5歳児保護者票問7×問5-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

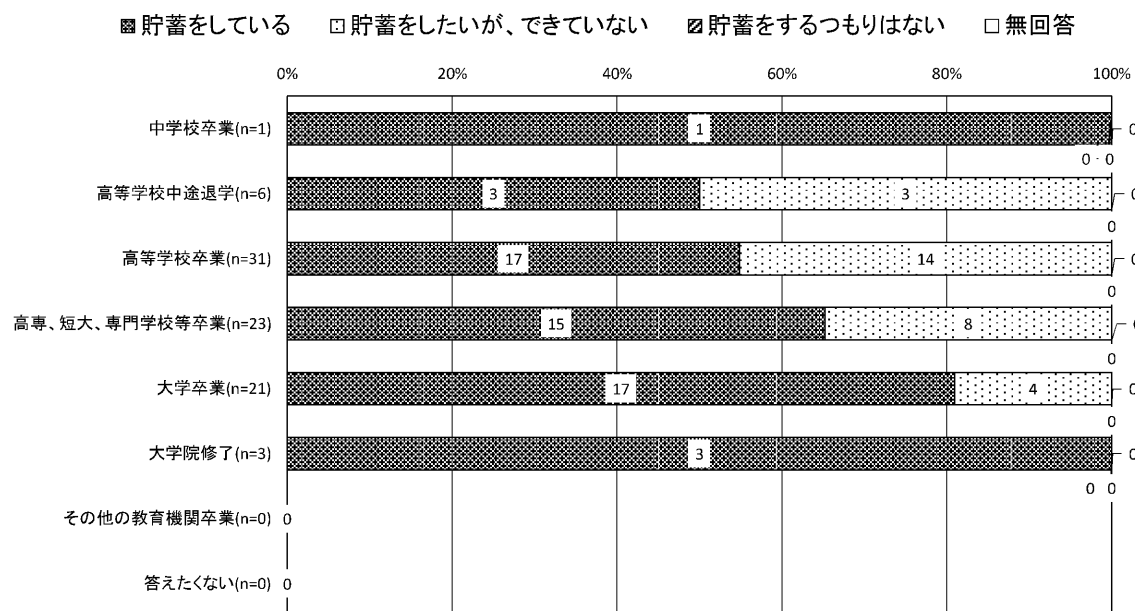


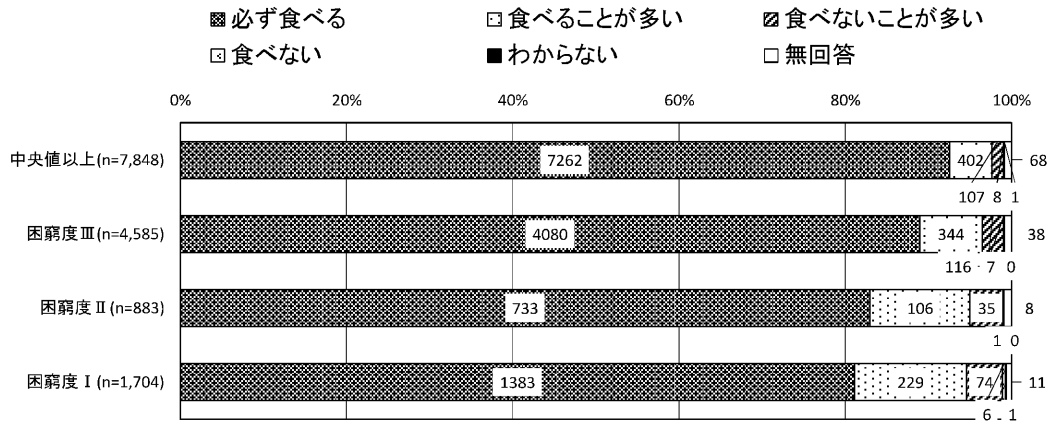
図 354. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

父親の最終学歴別に子どものための貯蓄を見ると、「貯蓄をしている」と回答したのは、高等学校卒業群では 54.8%であるのに対して、大学卒業群は 81.0%だった。また、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答したのは、高等学校卒業群では 45.2%であるのに対して、大学卒業群は 19.0%だった。

3-3. 健康

困窮度別に見た朝食の摂取（5歳児保護者票問17）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

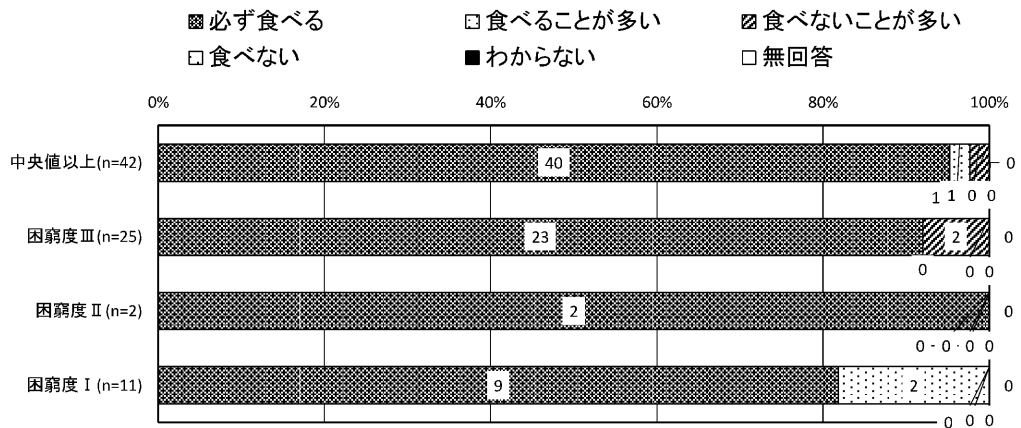
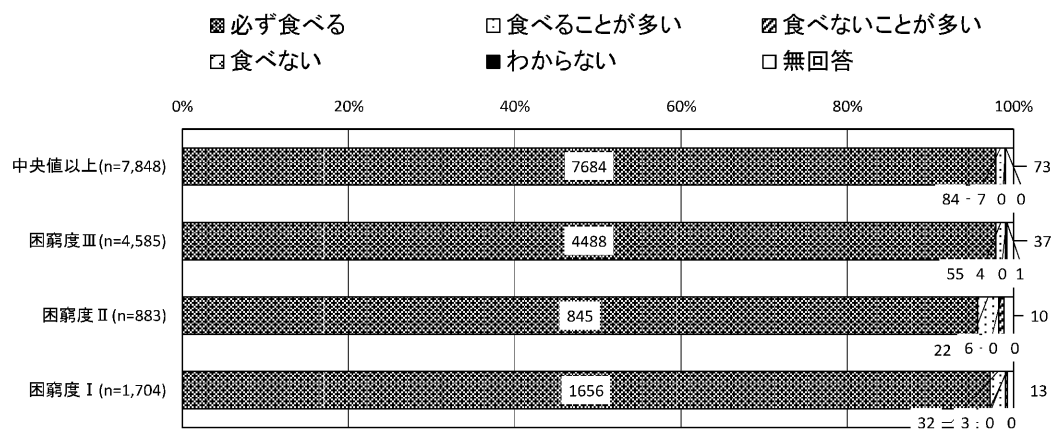


図 355. 困窮度別に見た朝食の摂取

困窮度別に朝食の摂取を見ると、「必ず食べる」と回答したのは、中央値以上群では95.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は81.8%だった。

困窮度別に見た夕食の摂取（5歳児保護者票問20）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

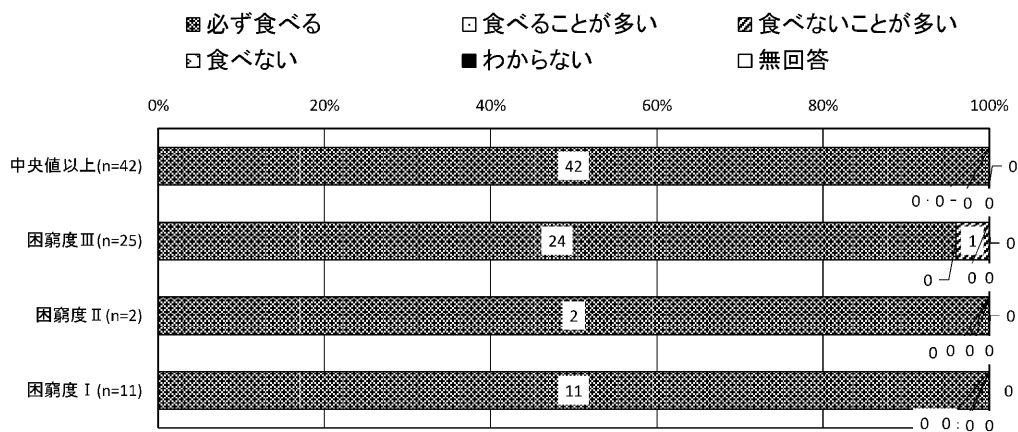
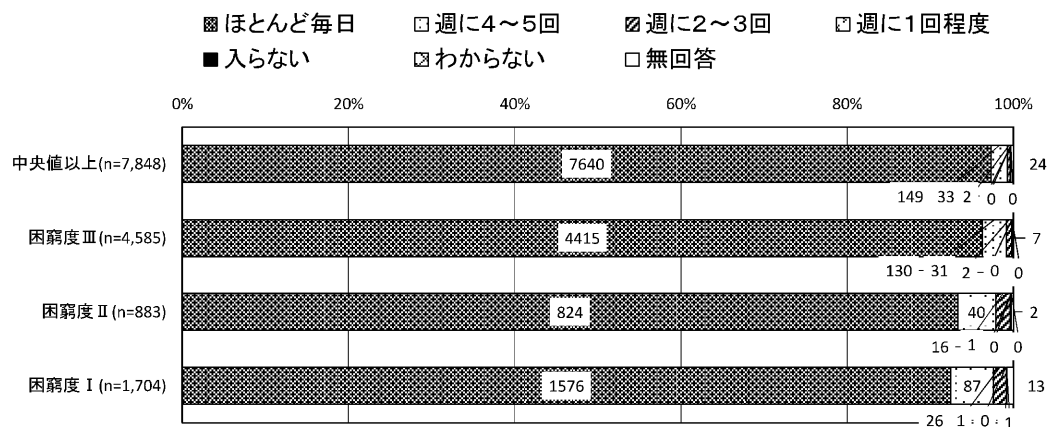


図 356. 困窮度別に見た夕食の摂取

夕食の摂取を「必ず食べる」と回答したのが98.9%を占め、困窮度によって大きな差は見られない。

困窮度別に見た入浴の頻度（5歳児保護者票問 23）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

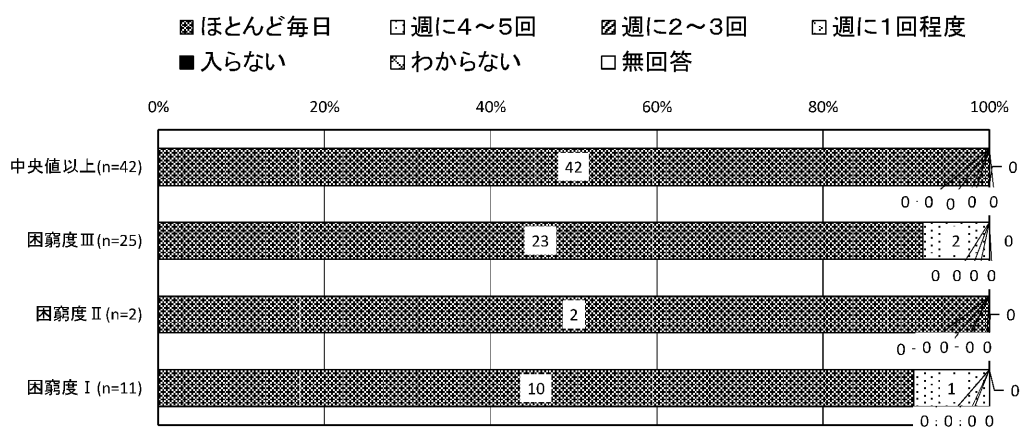
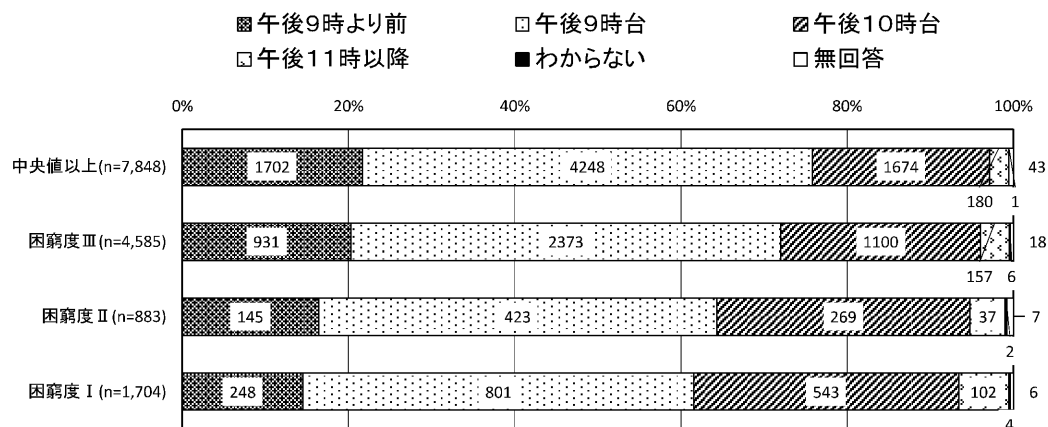


図 357. 困窮度別に見た入浴の頻度

入浴の頻度を「ほとんど毎日」と回答したのが全体で 95.7%を占め、困窮度によって大きな差は見られない。

困窮度別に見た就寝時間（5歳児保護者票問16）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

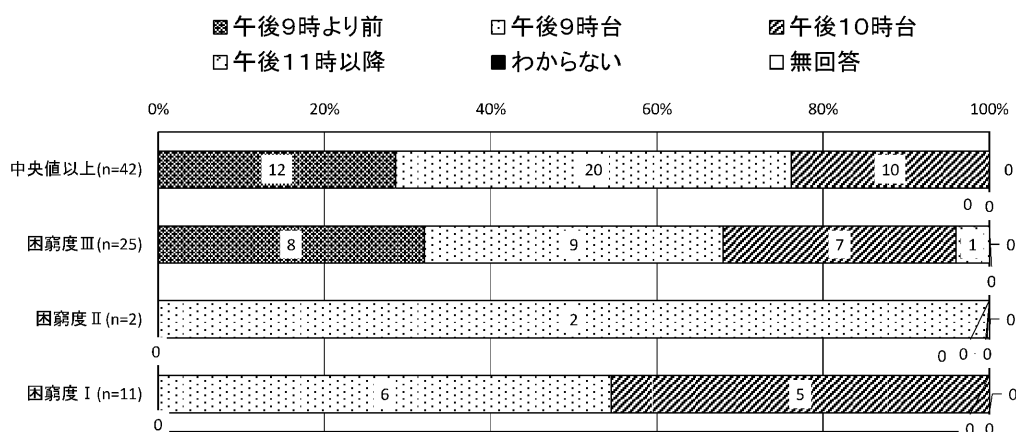
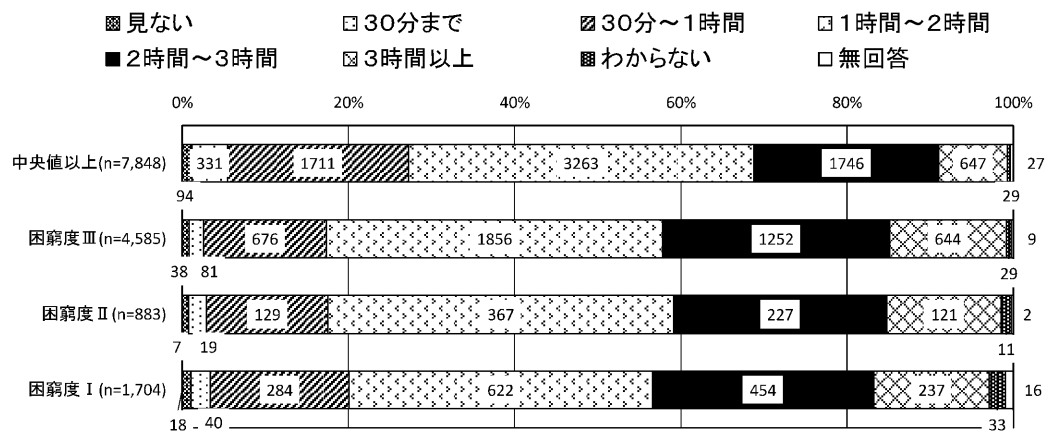


図 358. 困窮度別に見た就寝時間

困窮度別に就寝時間を見ると、「午後9時より前」と回答したのは、中央値以上群では28.6%であるのに対して、困窮度Ⅰ群はいなかった。また、午後10時以降と回答したのは、中央値以上群では23.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は45.5%だった。

困窮度別に見たテレビやDVDの視聴時間（5歳児保護者票問24）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

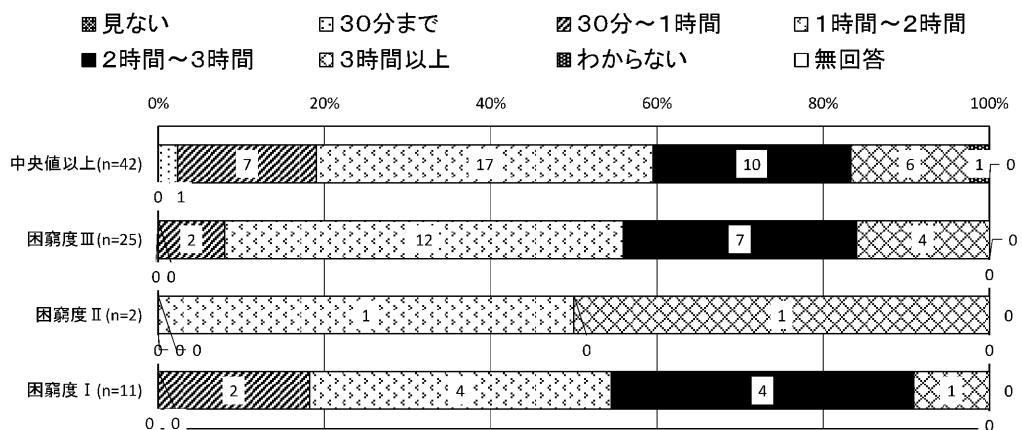
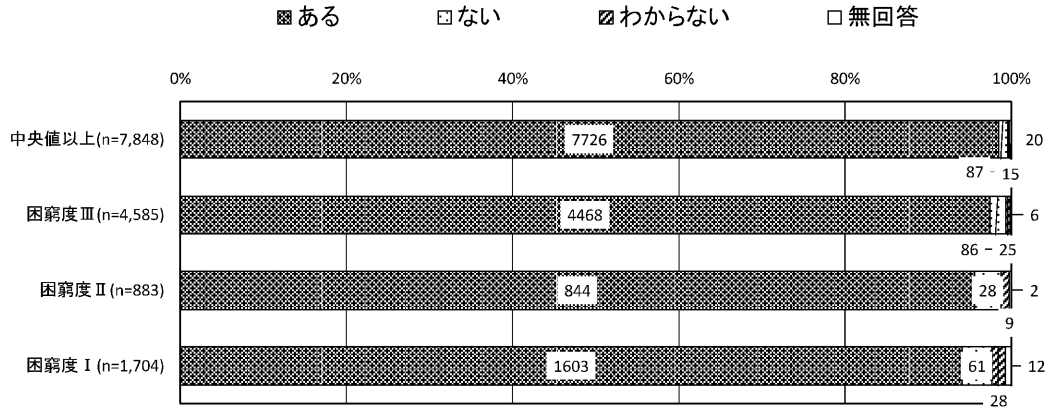


図 359. 困窮度別に見たテレビやDVDの視聴時間

困窮度別に見たテレビやDVDの視聴時間を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で大きな差は見られない。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（5歳児保護者票問 25）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

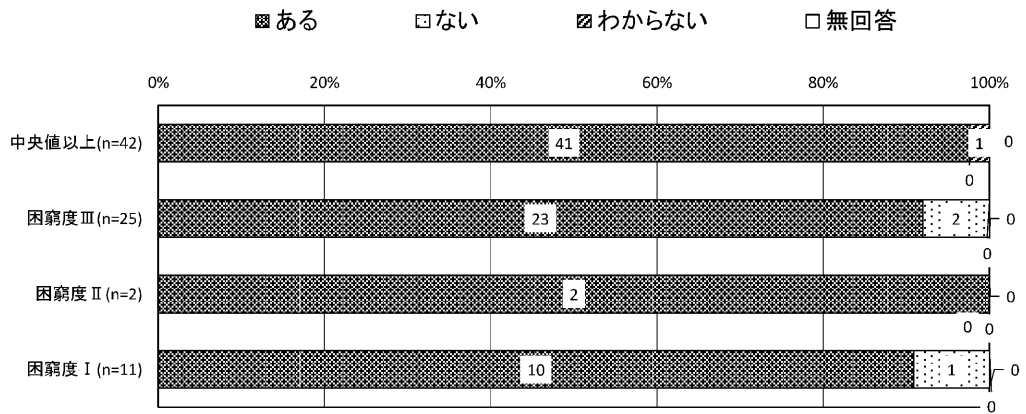
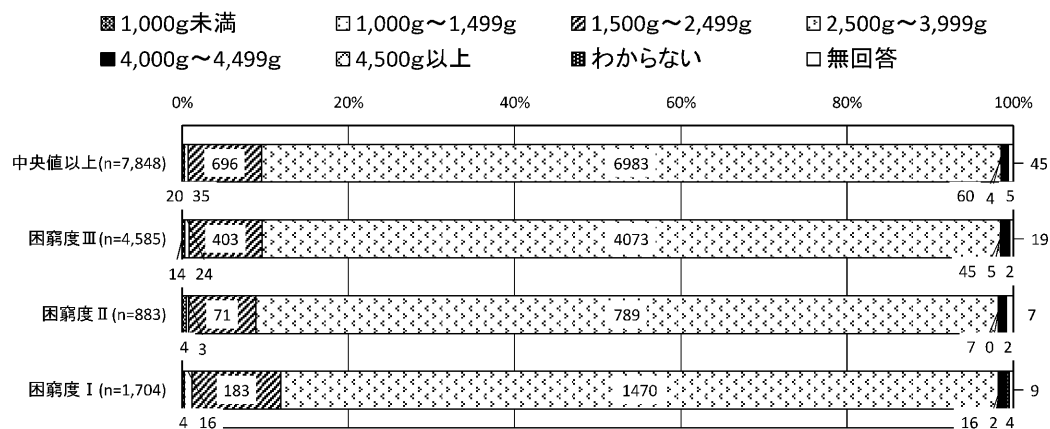


図 360. 困窮度別に見た歯磨きの習慣

歯磨きの習慣を「ある」と回答したのが全体で94.6%を占め、困窮度によって大きな差は見られない。

困窮度別に見た、出生時の体重（5歳児保護者票問 11）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

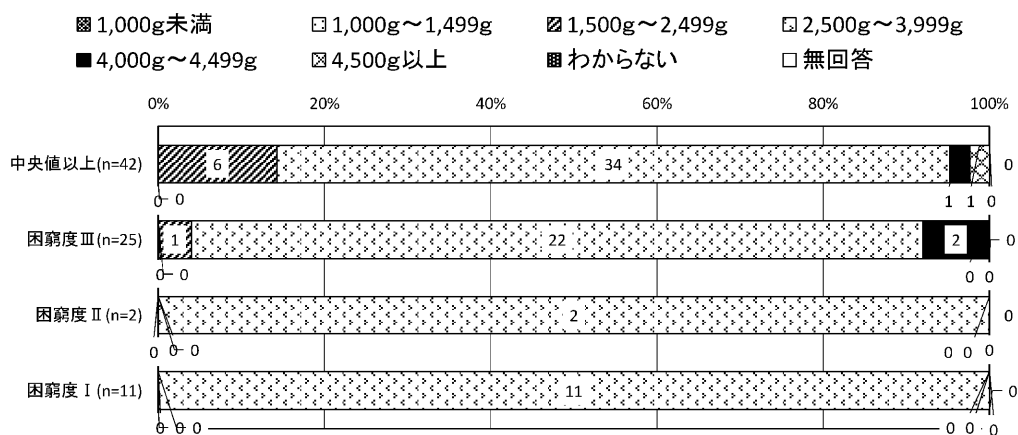
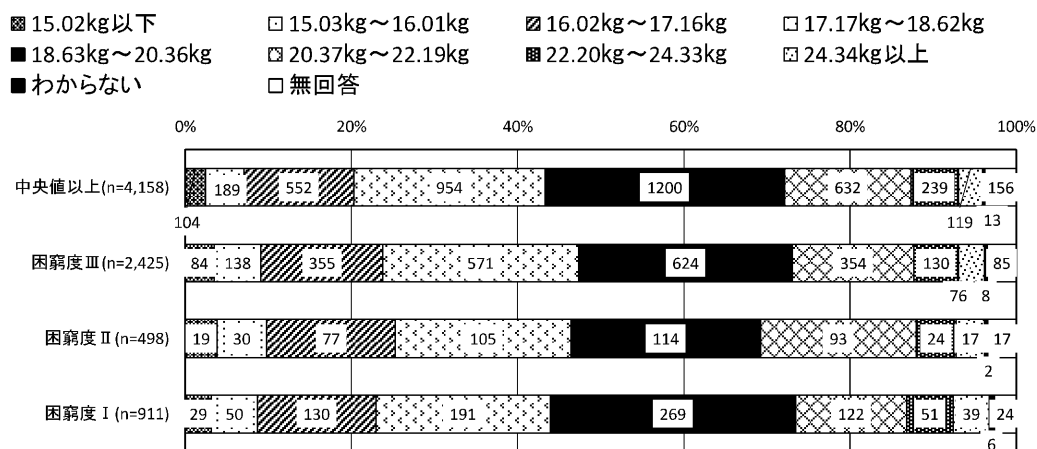


図 361. 困窮度別に見た、出生時の体重

困窮度別に出生時の体重を見ると、困窮度によって大きな差は見られない。

困窮度別に見た、現在の体重（男子）（5歳児保護者票問13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

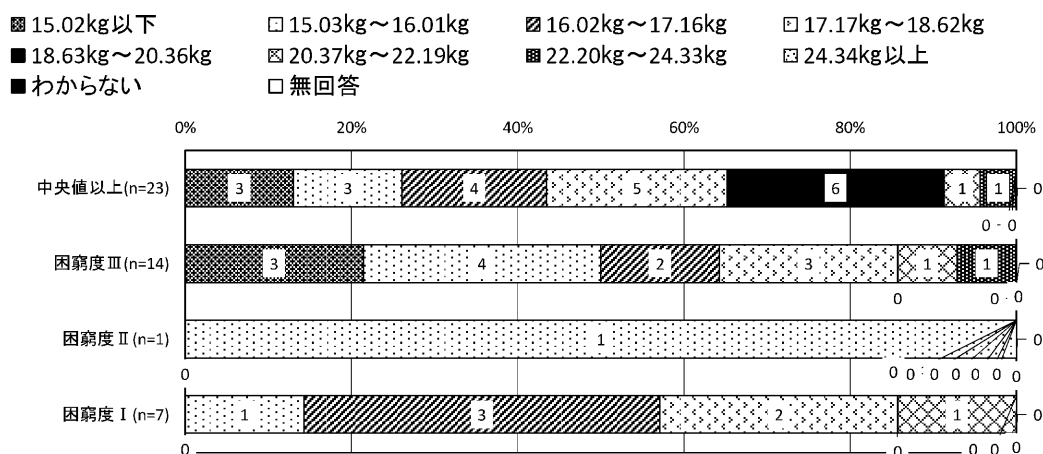
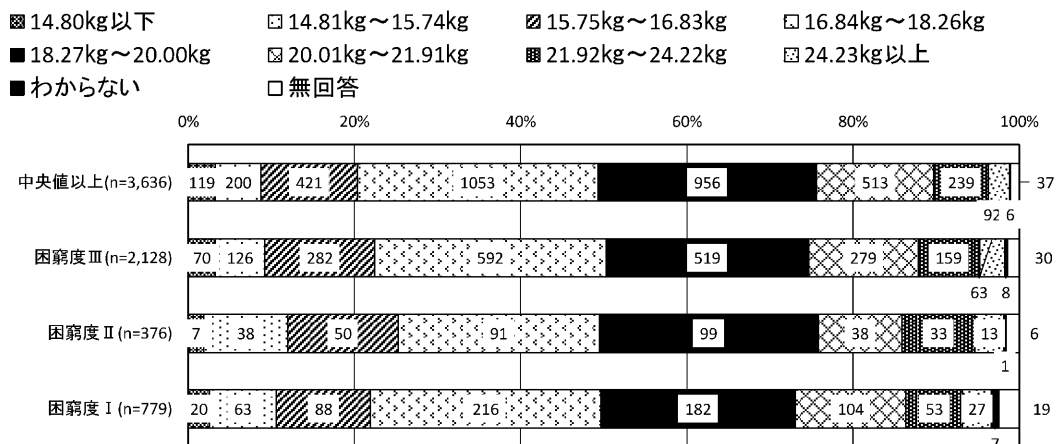


図 362. 困窮度別に見た、現在の体重（男子）

男子を対象とした際、困窮度Ⅰ群は7名にとどまった。現在の体重（男子）について傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、現在の体重（女子）（5歳児保護者票問13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

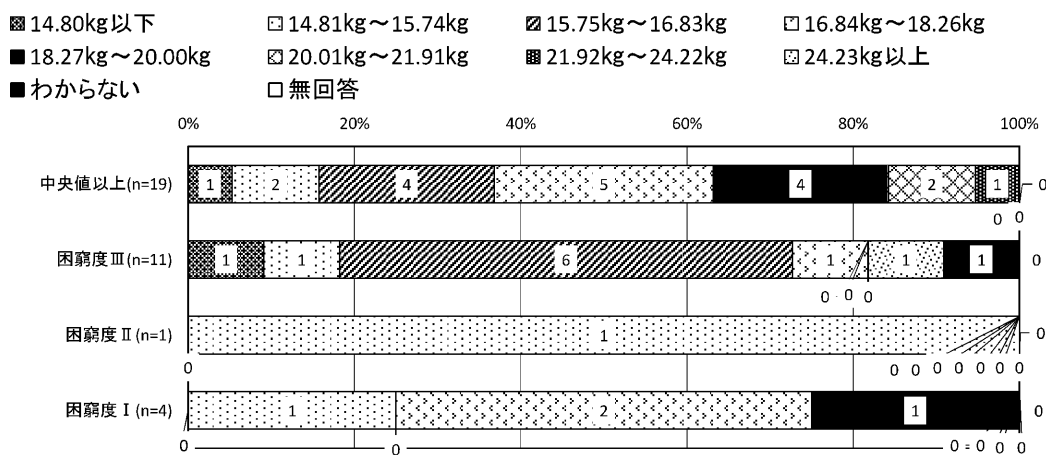
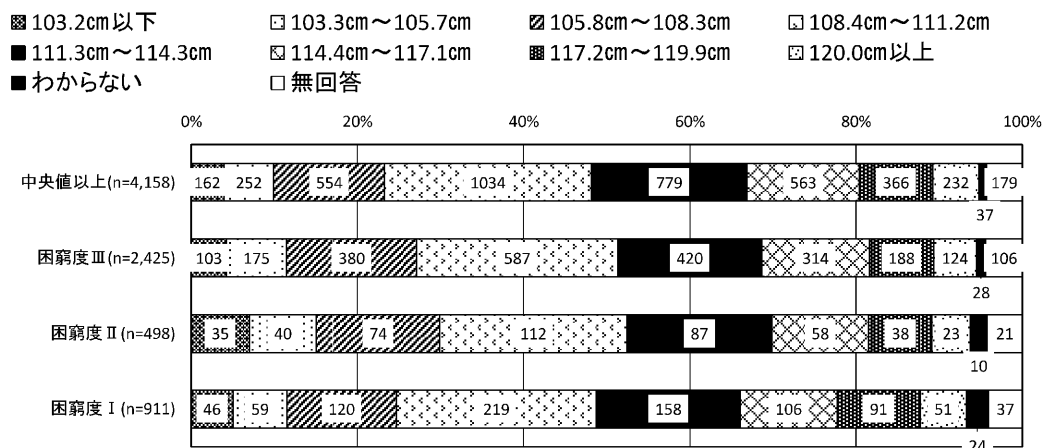


図 363. 困窮度別に見た、現在の体重（女子）

女子を対象とした際、困窮度Ⅰ群は4名にとどまった。現在の体重（女子）について傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、現在の身長（男子）（5歳児保護者票問14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

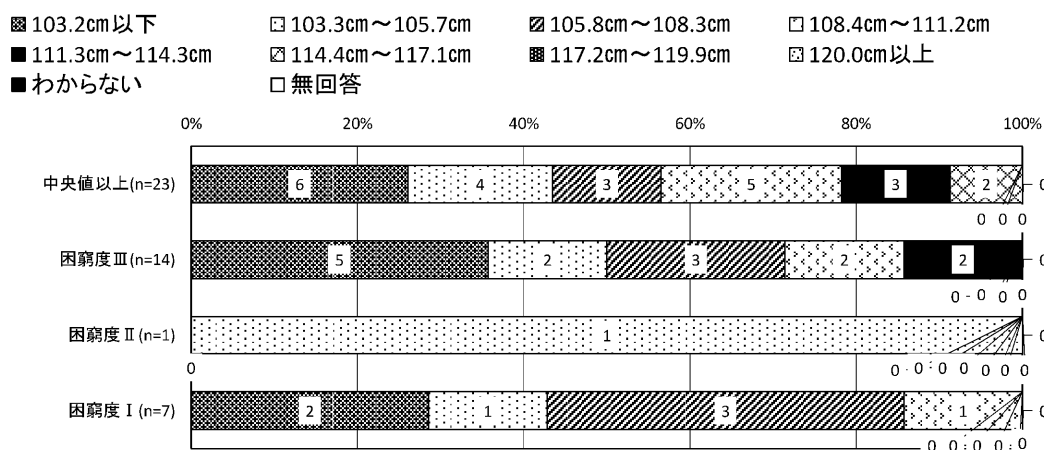
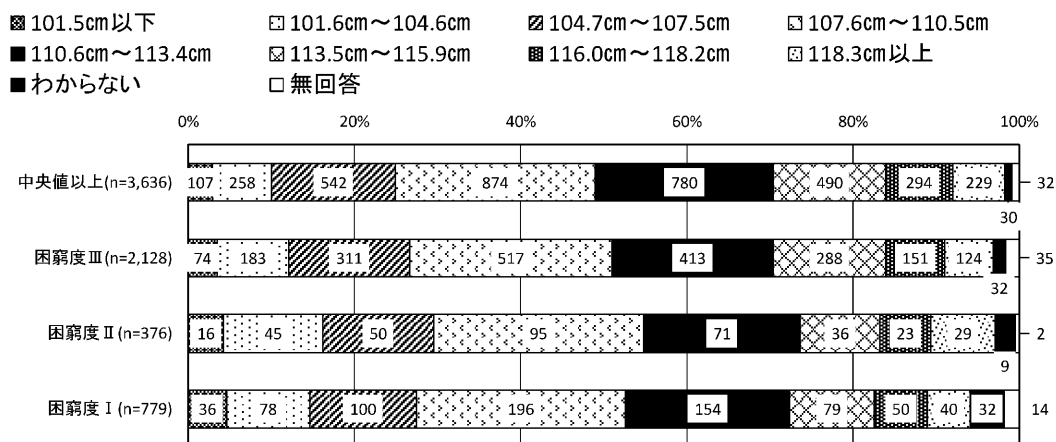


図 364. 困窮度別に見た、現在の身長（男子）

男子を対象とした際、困窮度Ⅰ群は7名にとどまった。現在の身長（男子）について傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、現在の身長（女子）（5歳児保護者票問14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

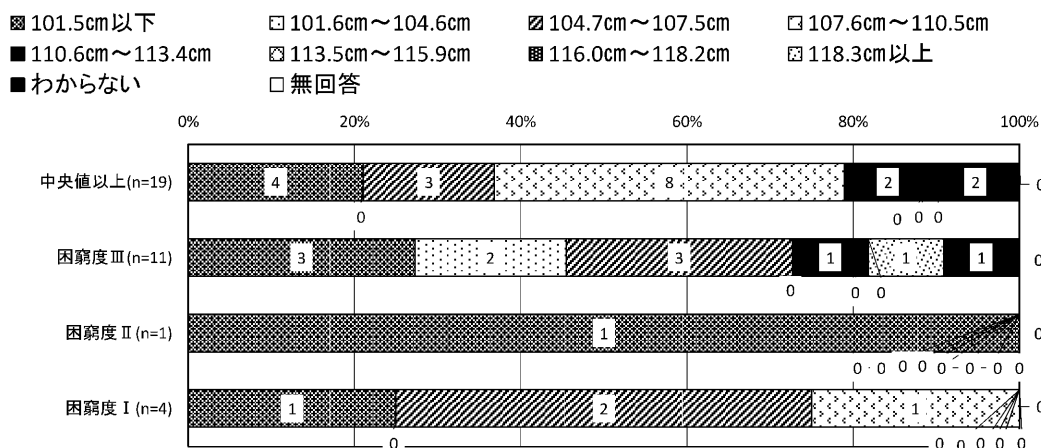
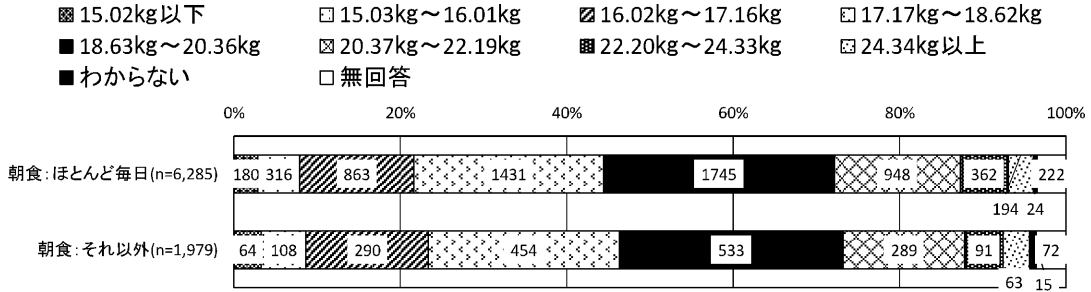


図 365. 困窮度別に見た、現在の身長（女子）

女子を対象とした際、困窮度Ⅰ群は4名にとどまった。現在の身長（女子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人との朝食を食べるか別に見た、現在の体重（男子）（5歳児保護者票問19×問13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

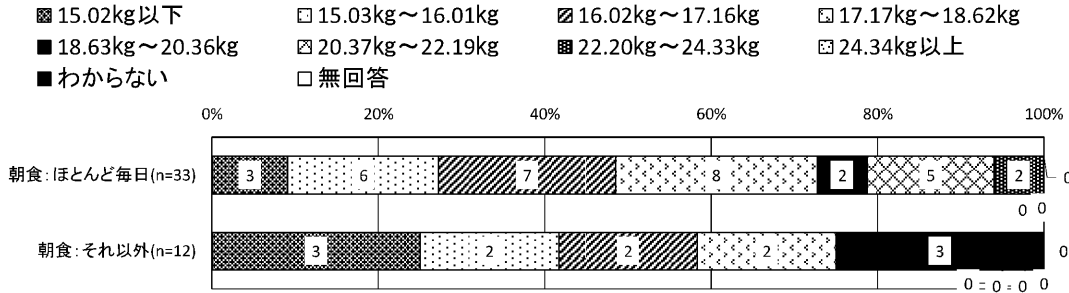
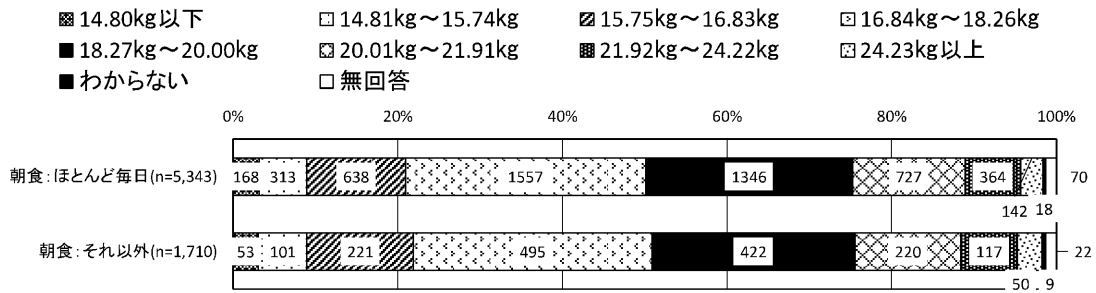


図 366. おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の体重（男子）

おうちの大人と朝食を食べるか別に現在の体重（男子）を見ると、「15.02kg 以下」と回答したのは、ほとんど毎日群では 9.1%であるのに対して、それ以外群は 25.0%だった。

おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の体重（女子）（5歳児保護者票問19×問13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

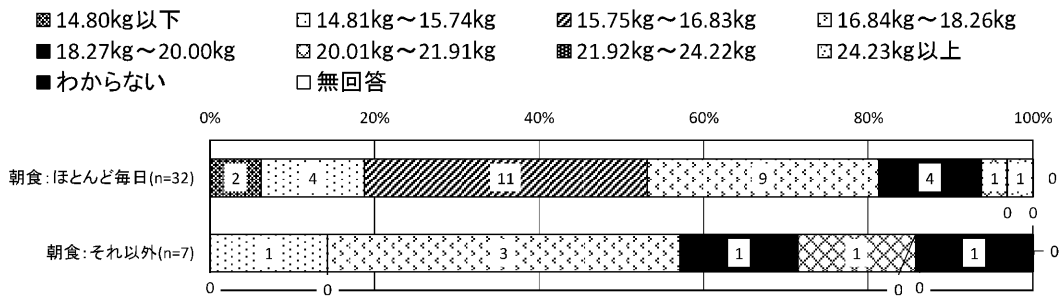
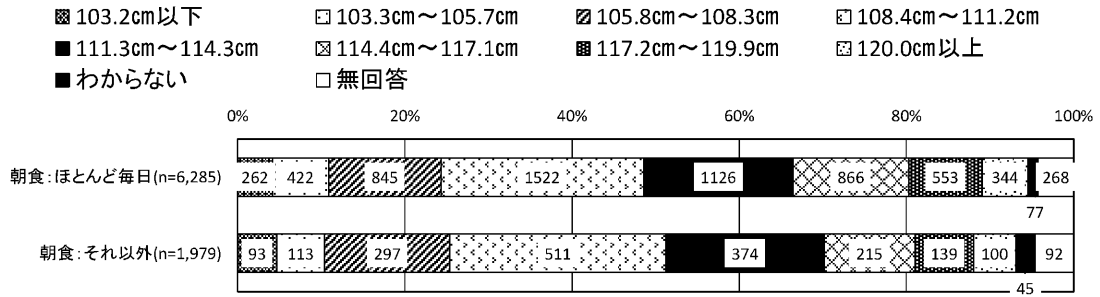


図 367. おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の体重（女子）

女子を対象とした際、それ以外群は7名にとどまった。おうちの大人と朝食を食べるか別に現在の体重（女子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の身長（男子）（5歳児保護者票問19×問14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

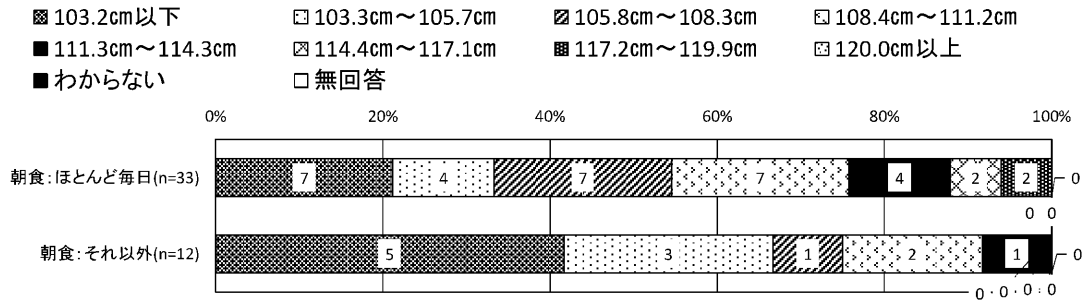
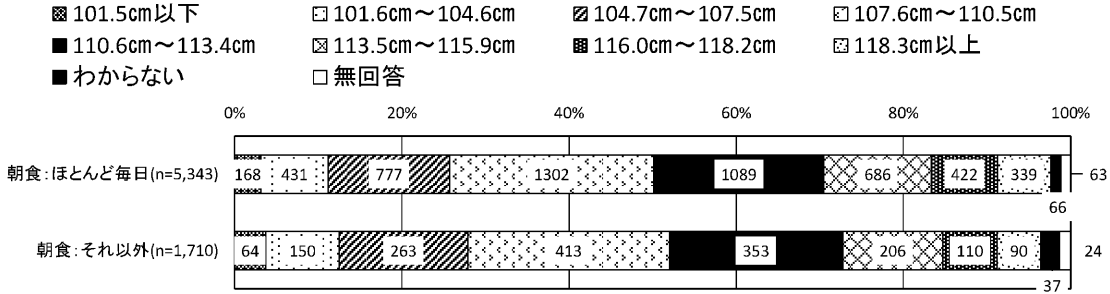


図 368. おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の身長（男子）

おうちの大人と朝食を食べるか別に現在の体重（男子）を見ると、「103.2cm 以下」と回答したのは、ほとんど毎日群では 21.2%であるのに対して、それ以外群は 41.7%だった。また、117.2cm 以上と回答したのは、ほとんど毎日群では 6.1%であるのに対して、それ以外群はいなかった。

おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の身長（女子）（5歳児保護者票問19×問14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

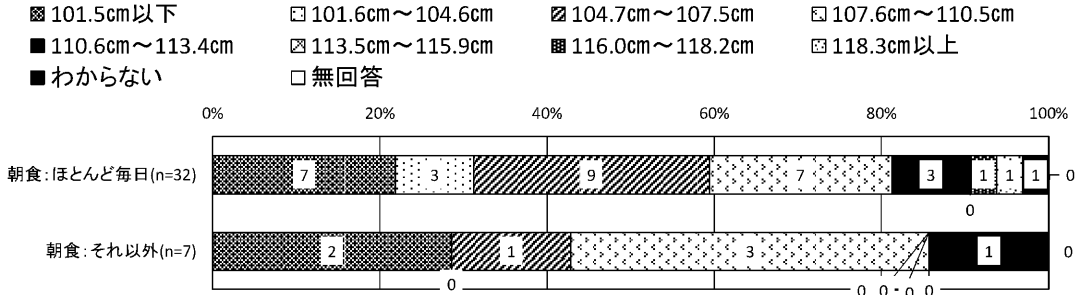
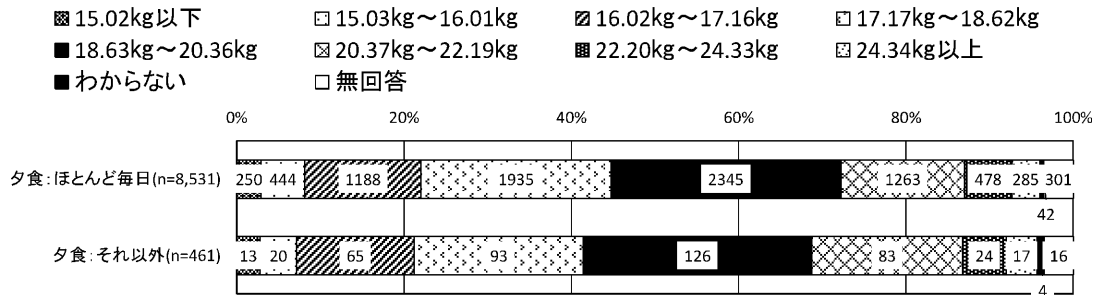


図 369. おうちの大人と朝食を食べるか別に見た、現在の身長（女子）

女子を対象とした際、それ以外群は7名にとどまった。おうちの大人と朝食を食べるか別に現在の身長（女子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の体重（男子）（5歳児保護者票問 22×問 13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

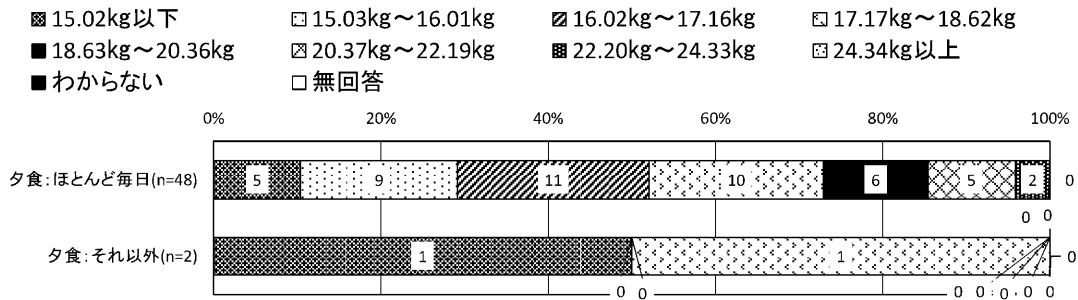
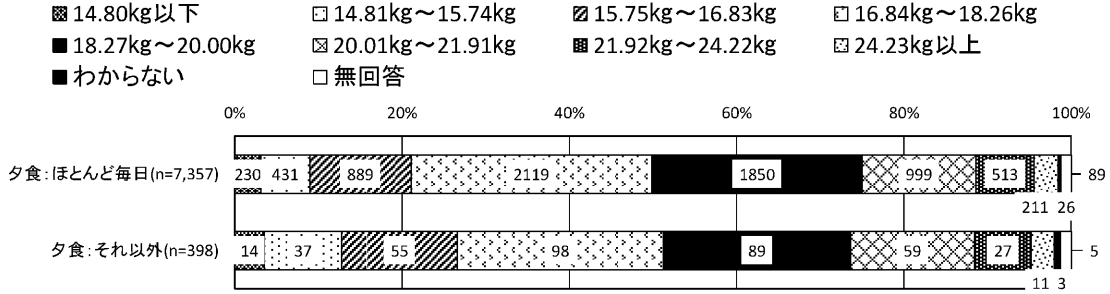


図 370. おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の体重（男子）

男子を対象とした際、それ以外群は2名にとどまった。おうちの大人と夕食を食べるか別に現在の体重（男子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の体重（女子）（5歳児保護者票問 22×問 13）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

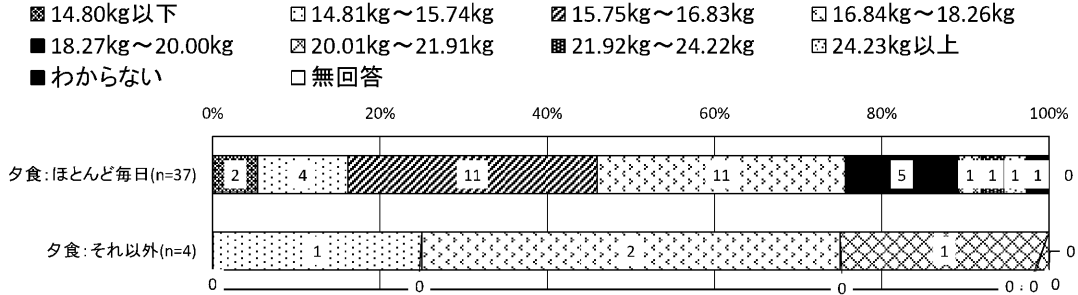
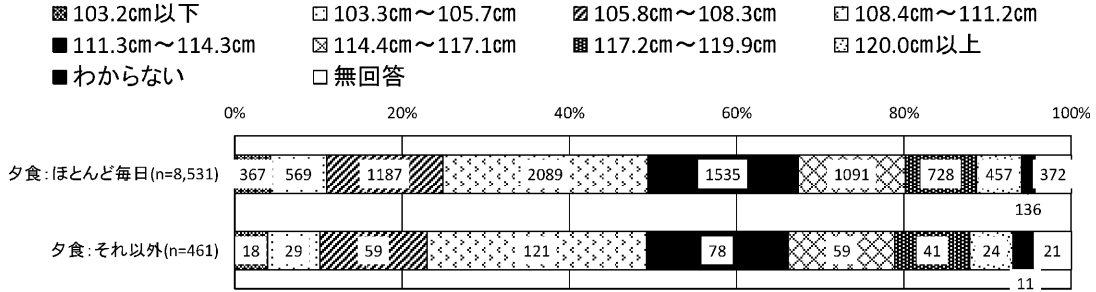


図 371. おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の体重（女子）

女子を対象とした際、それ以外群は4名にとどまった。おうちの大人と夕食を食べるか別に現在の体重（女子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の身長（男子）（5歳児保護者票問 22×問 14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

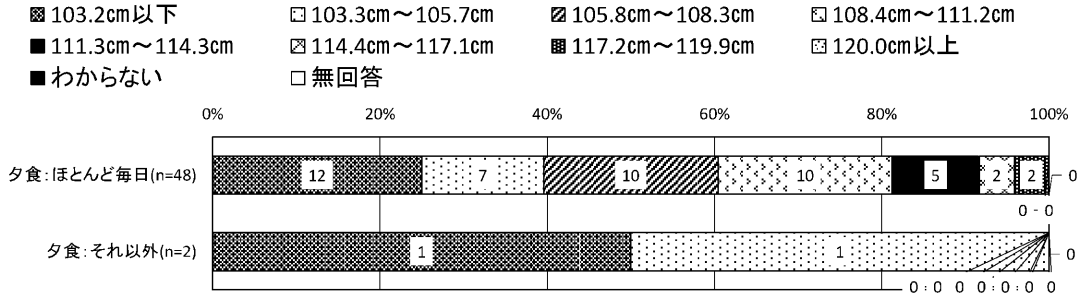
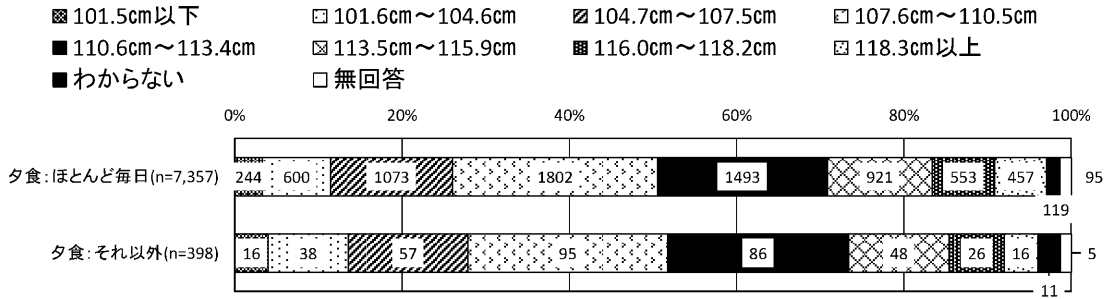


図 372. おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の身長（男子）

男子を対象とした際、それ以外群は2名にとどまった。おうちの大人と夕食を食べるか別に現在の身長（男子）について傾向を述べることはできない。

おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の身長（女子）（5歳児保護者票問 22×問 14）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

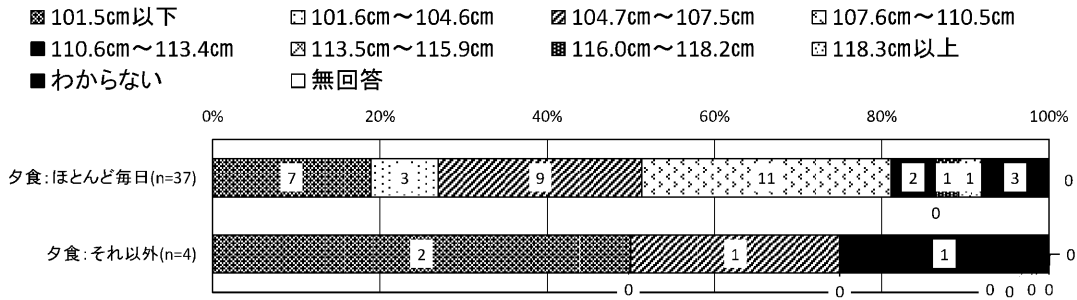
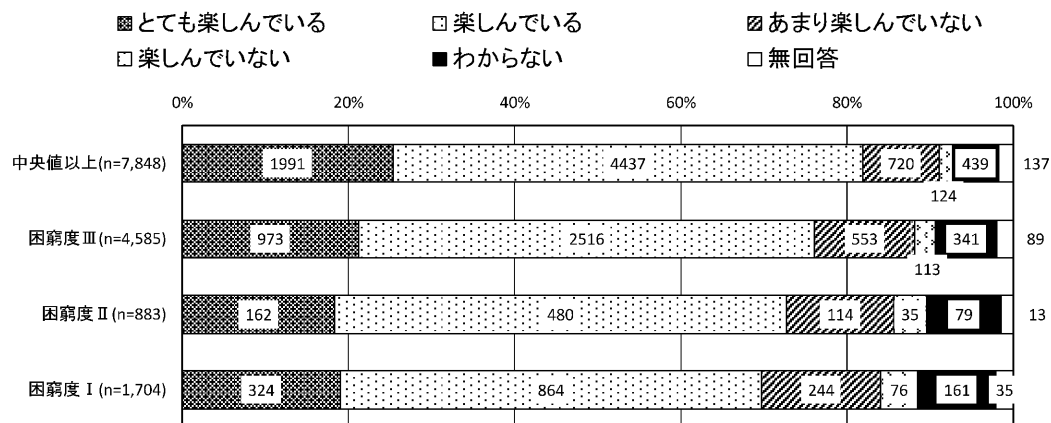


図 373. おうちの大人と夕食を食べるか別に見た、現在の身長（女子）

女子を対象とした際、それ以外群は4名にとどまった。おうちの大人と夕食を食べるか別に現在の身長（女子）について傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（5歳児保護者票問 36-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

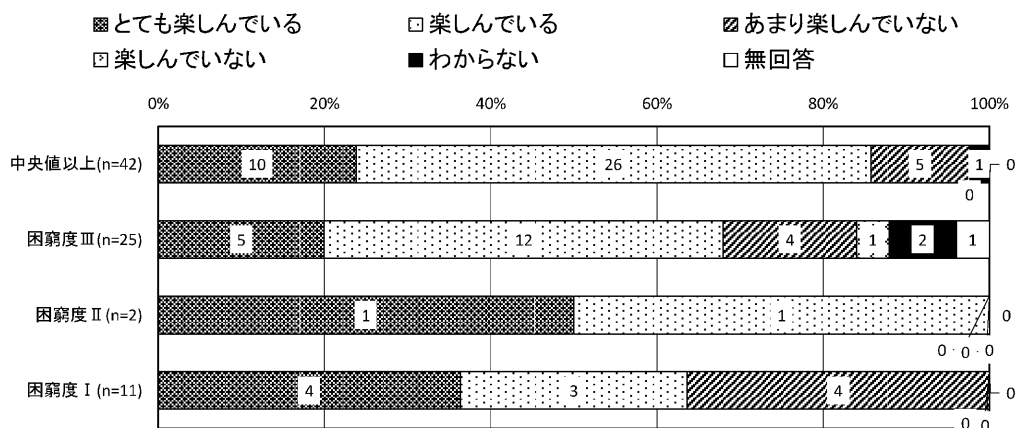
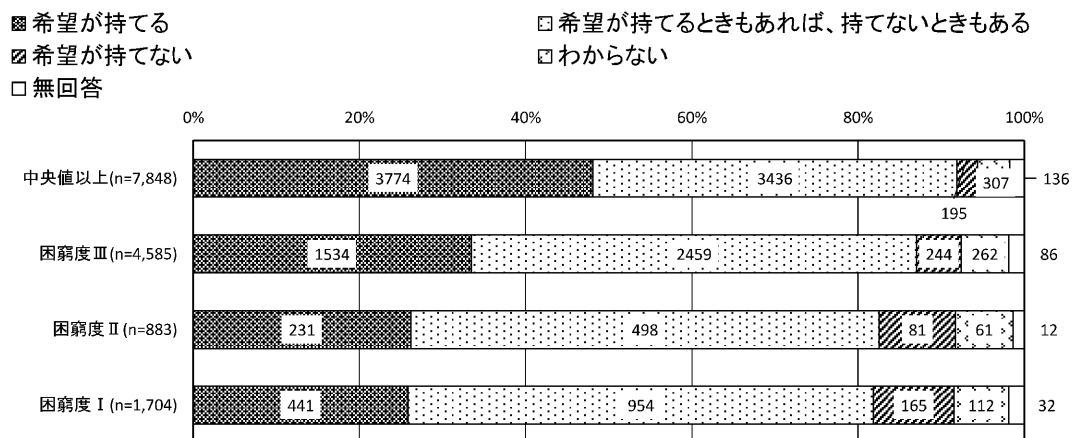


図 374. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に心の状態（生活を楽しんでいるか）を見ると、「とても楽しんでいる」と回答したのは、中央値以上群では23.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は36.4%だった。

困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）（5歳児保護者票問 36-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

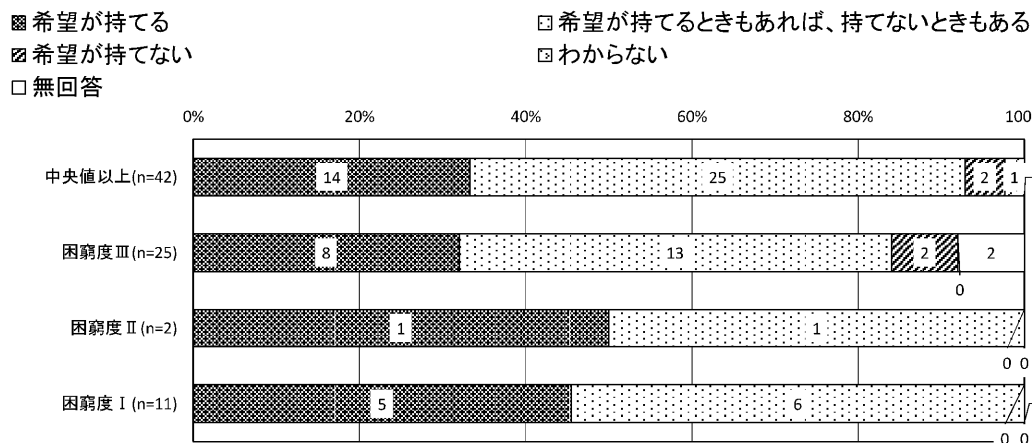
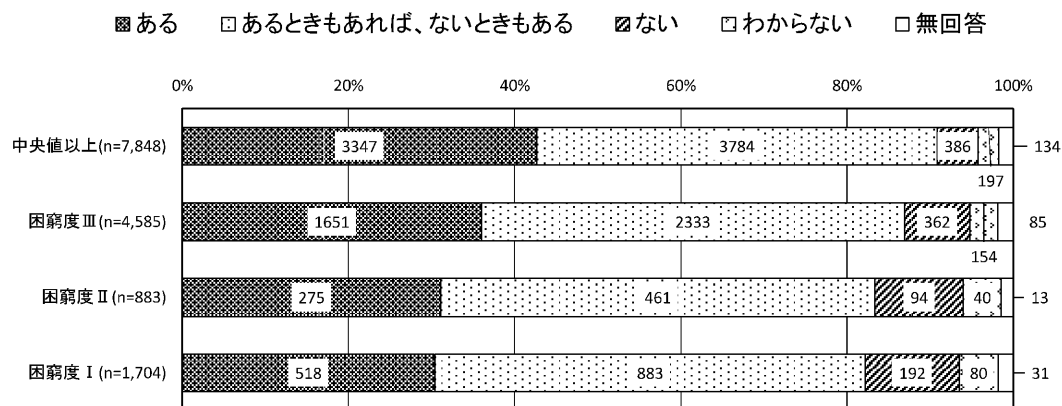


図 375. 困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）

困窮度別に心の状態（将来への希望）を見ると、「希望が持てる」と回答したのは、中央値以上群では33.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は45.5%だった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）（5歳児保護者票問 36-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

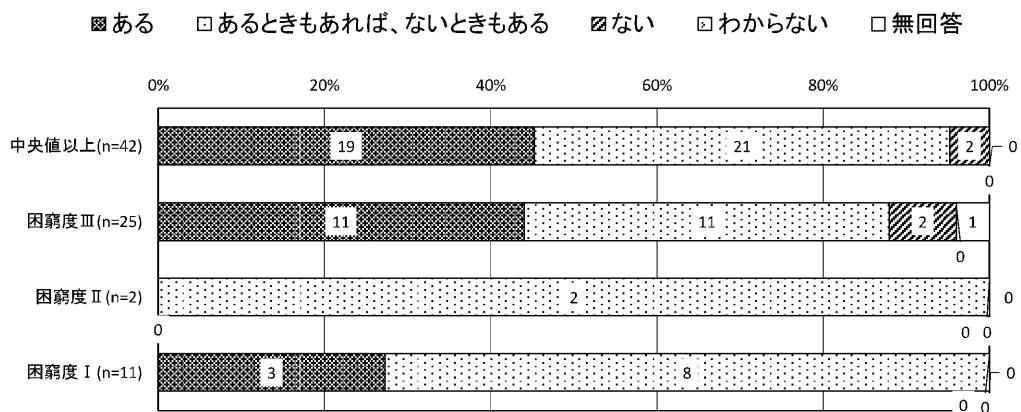
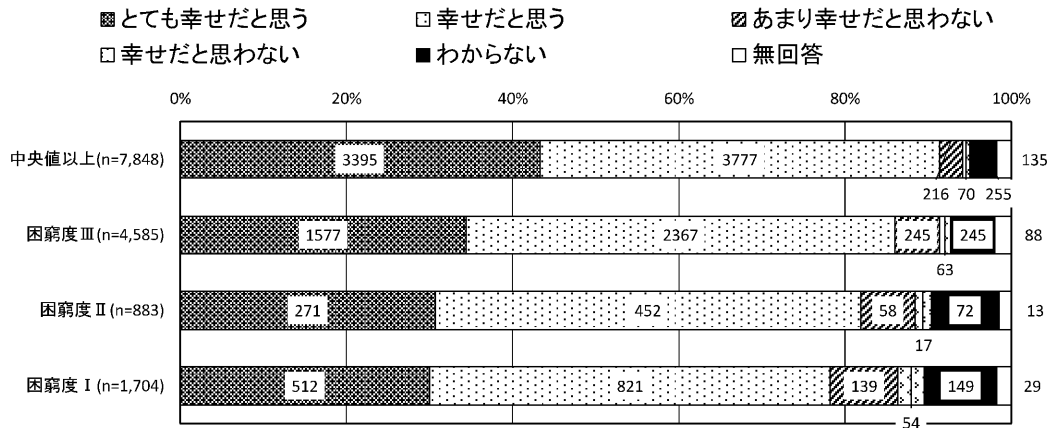


図 376. 困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

困窮度別に心の状態（ストレス発散できるもの）を見ると、「ある」と回答したのは、中央値以上群では45.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は27.3%だった。

困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）（5歳児保護者票問 36-4）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

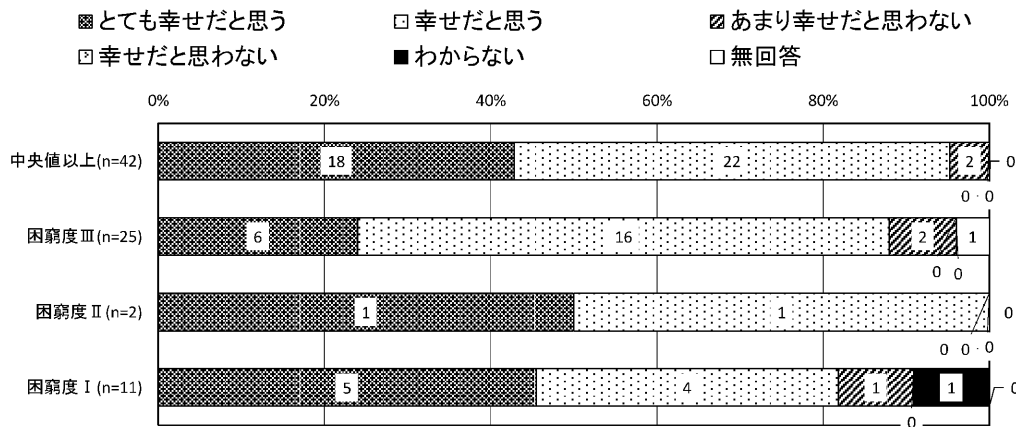
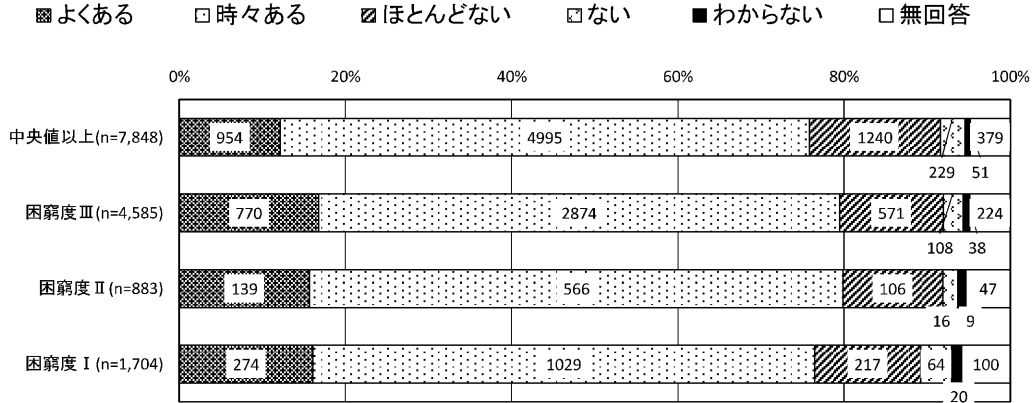


図 377. 困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

困窮度別に心の状態（幸せだと思うか）を見ると、「とても幸せだと思う」あるいは「幸せだと思う」と回答したのは、中央値以上群では 95.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 81.9%だった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと（5歳児保護者票問38）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

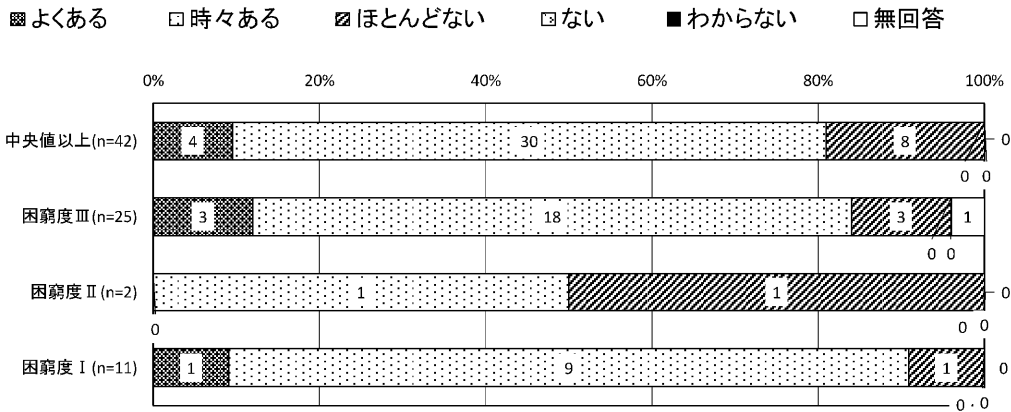


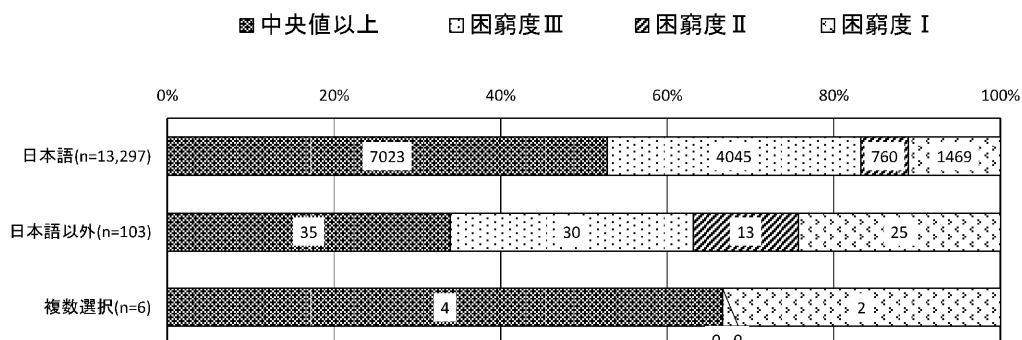
図 378. 困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

困窮度別に不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことを見ると、「よくある」あるいは「時々ある」と回答したのは、中央値以上群では80.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は90.9%だった。

3-4. 家庭生活、学習

日常言語別に見た困窮度（5歳児保護者票問2×問41-4より）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

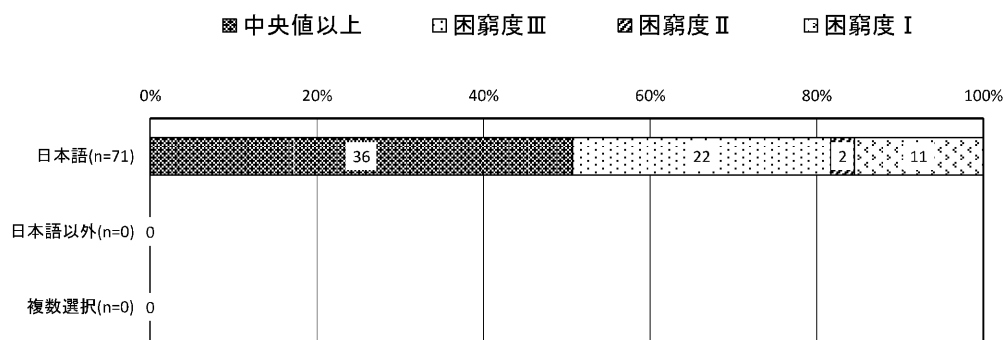
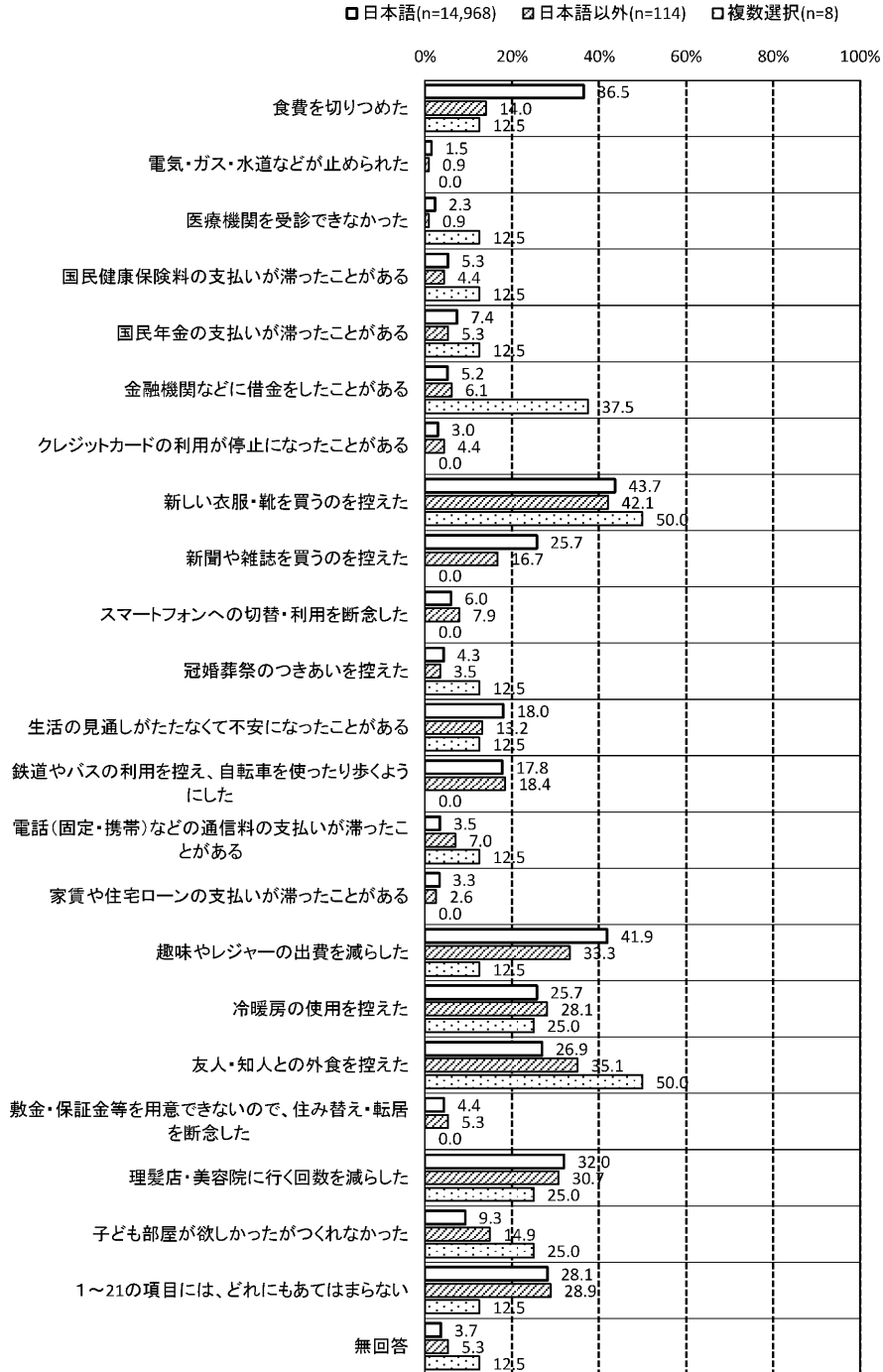


図 379. 日常言語別に見た困窮度

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。困窮度について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、経済的な理由による経験（5歳児保護者票問2×問6）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

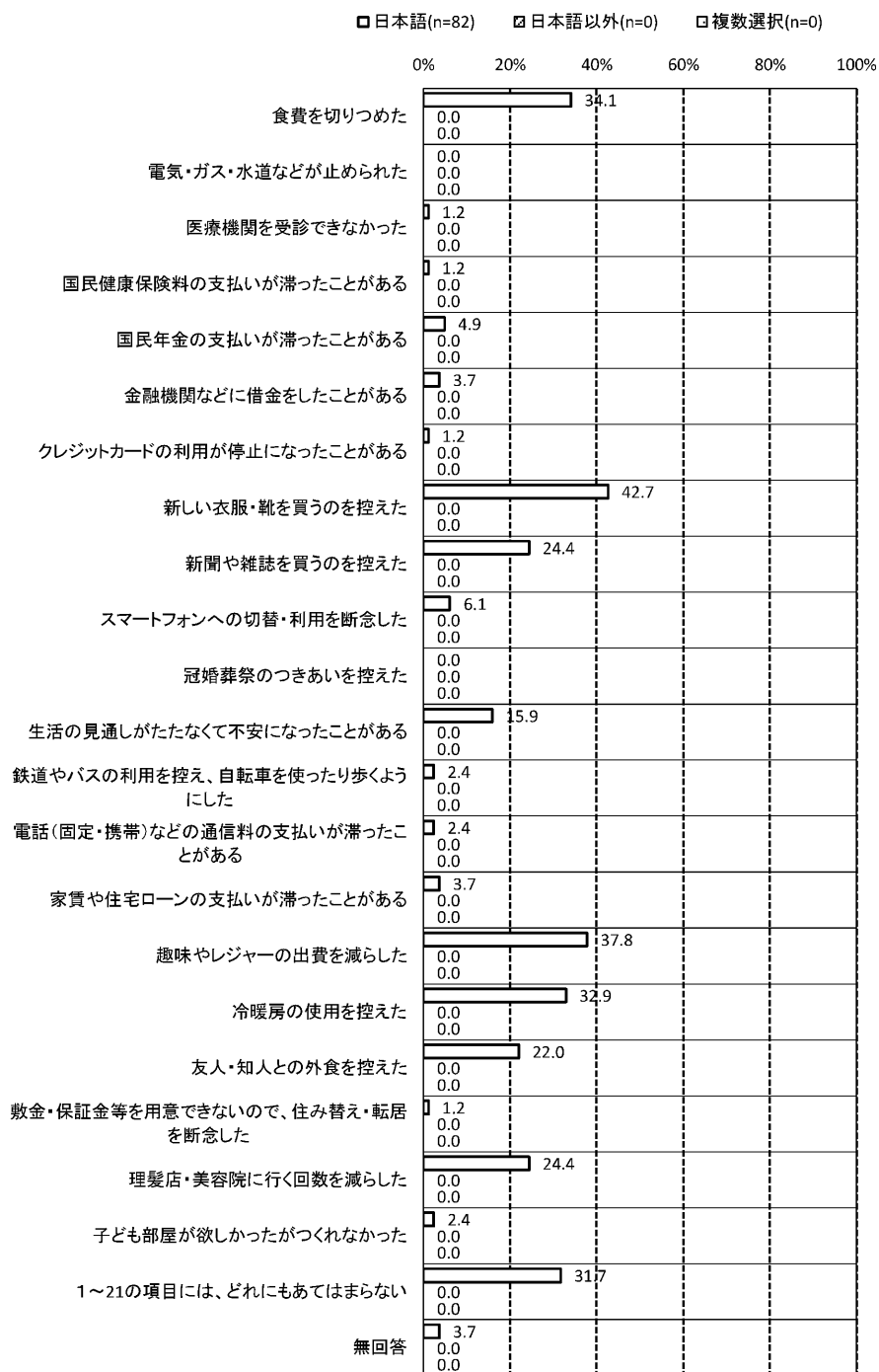
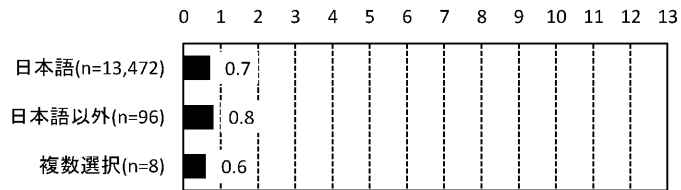


図 380. 日常言語別に見た、経済的な理由による経験

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。経済的な理由による経験について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数（5歳児保護者票問2×問29）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

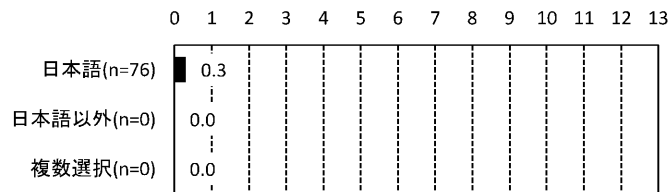
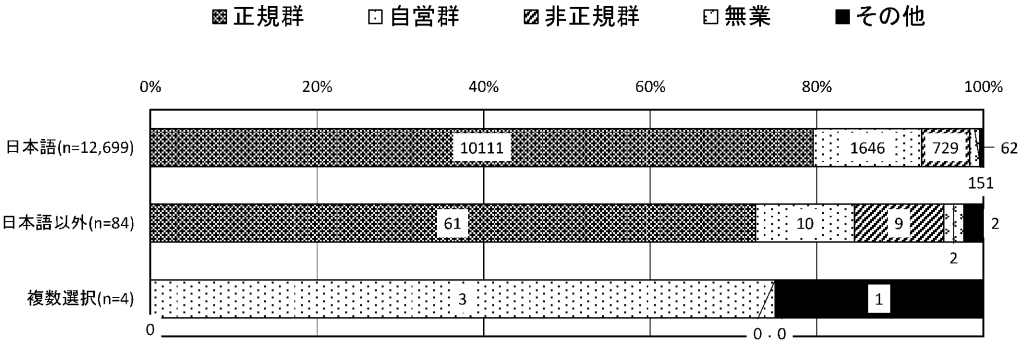


図 381. 日常言語別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。子どもへの経済的な理由による経験の該当数について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た就労状況（5歳児保護者票問2×問8より）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

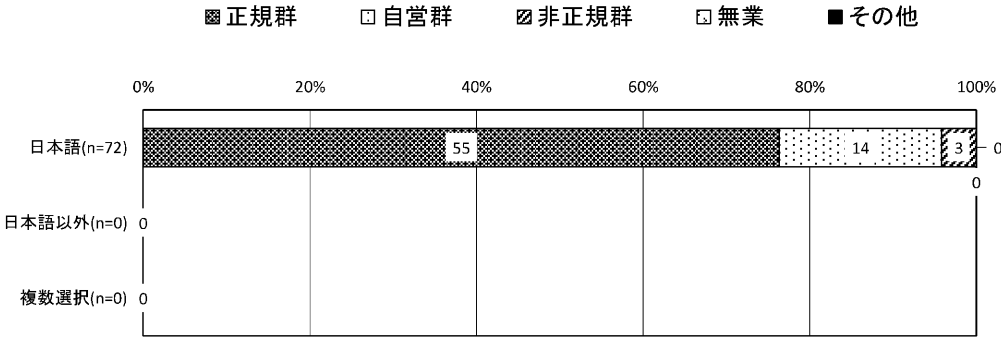
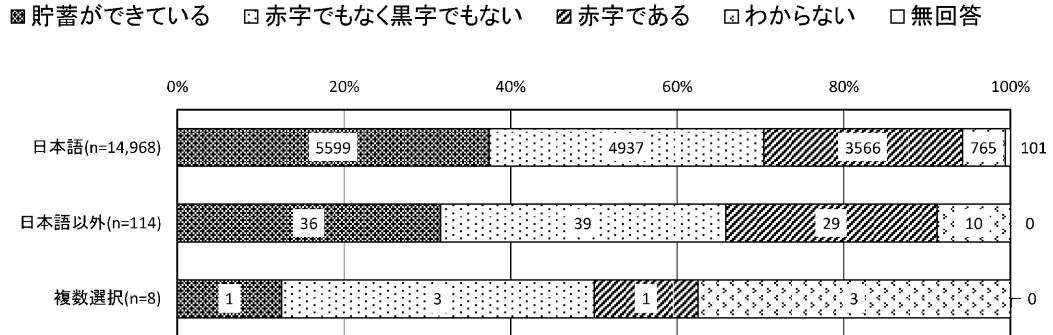


図 382. 日常言語別に見た就労状況

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。就労状況について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た家計状況（5歳児保護者票問2×問5-1）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

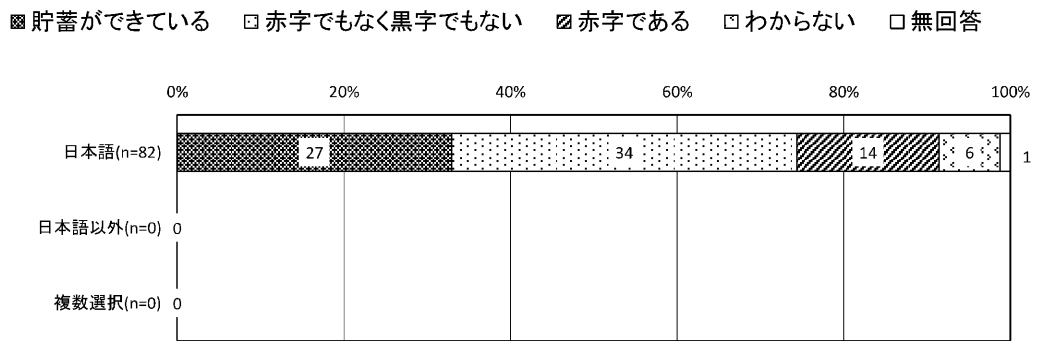
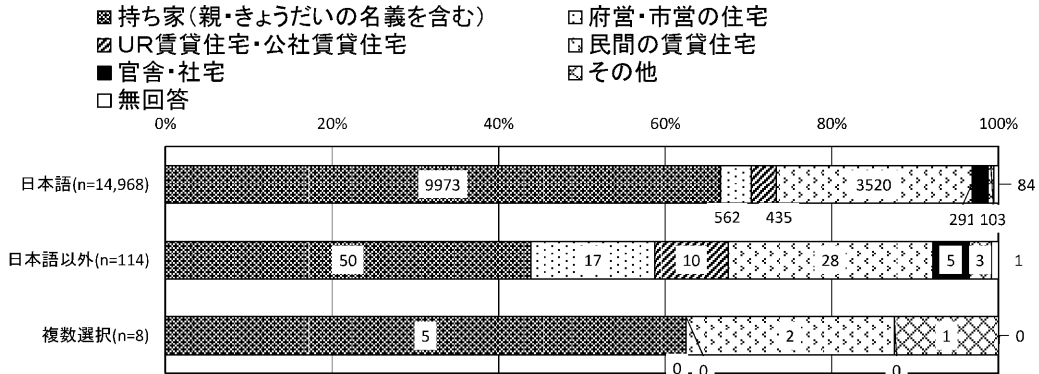


図 383. 日常言語別に見た家計状況

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。家計状況について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た住居（5歳児保護者票問2×問4）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

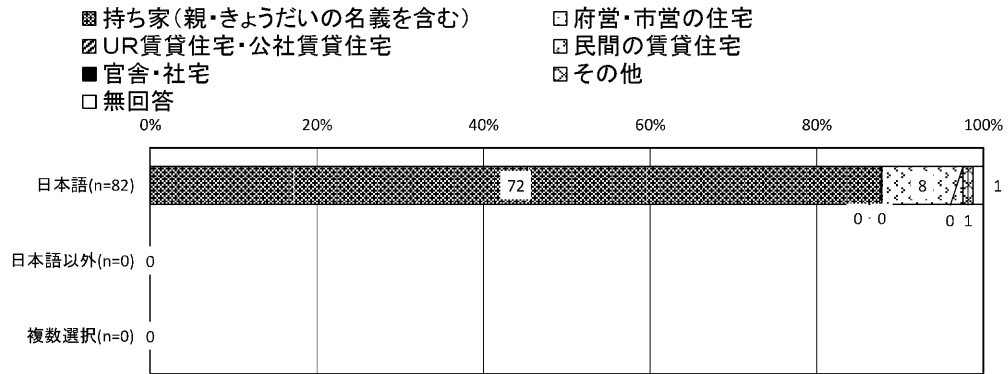
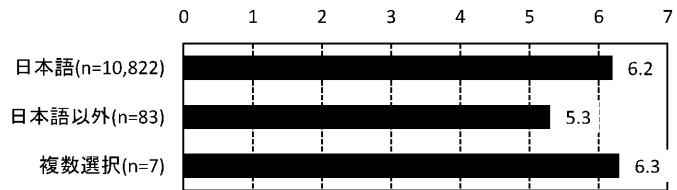


図 384. 日常言語別に見た住居

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。住居について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、支えてくれる人の数（5歳児保護者票問2×問34）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

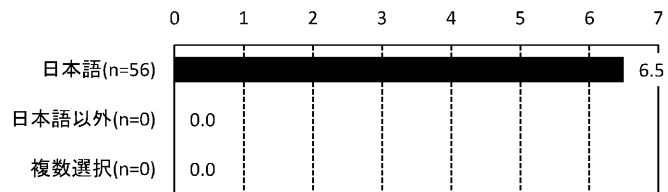
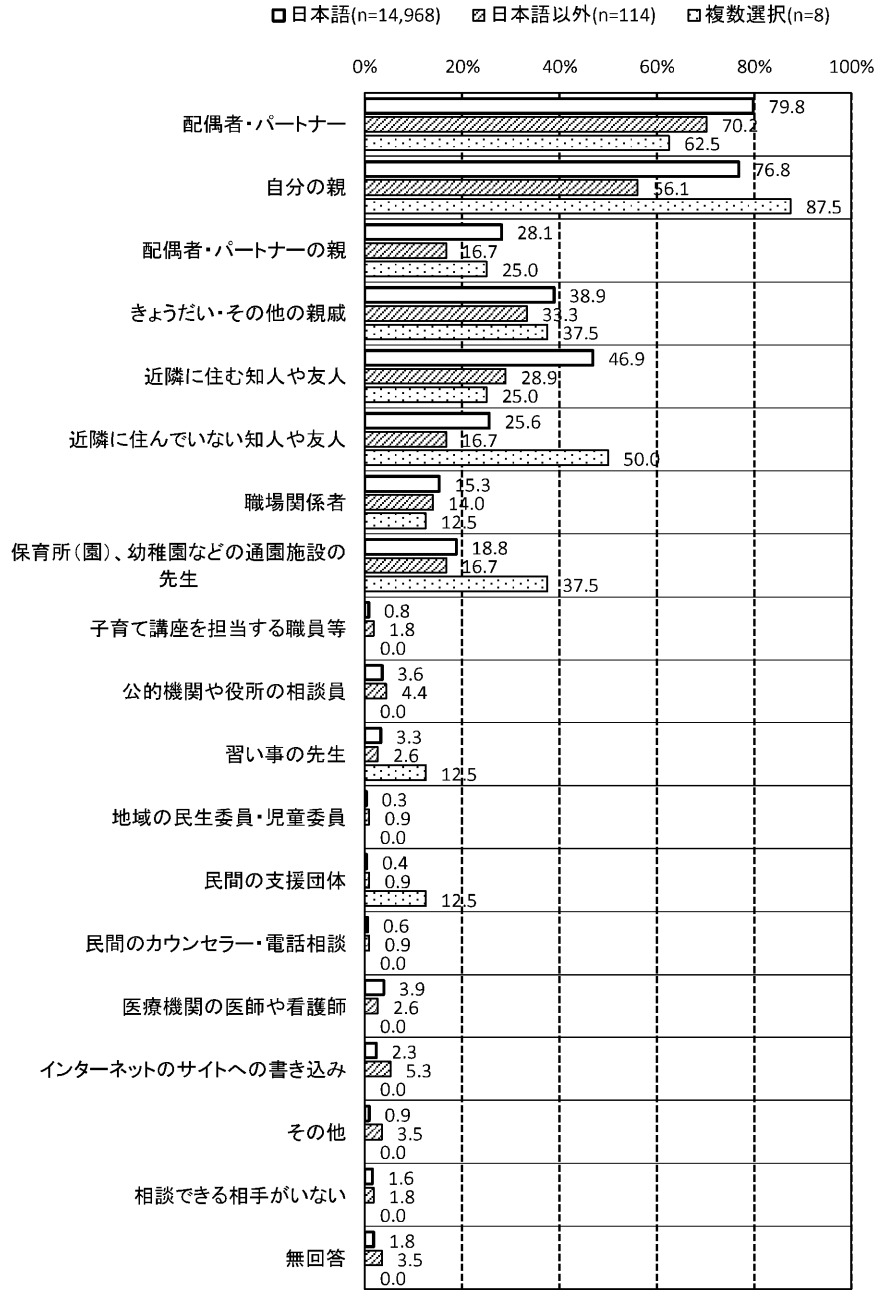


図 385. 日常言語別に見た、支えてくれる人の数

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。支えてくれる人の数について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、困ったときの相談先（5歳児保護者票問2×問35）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

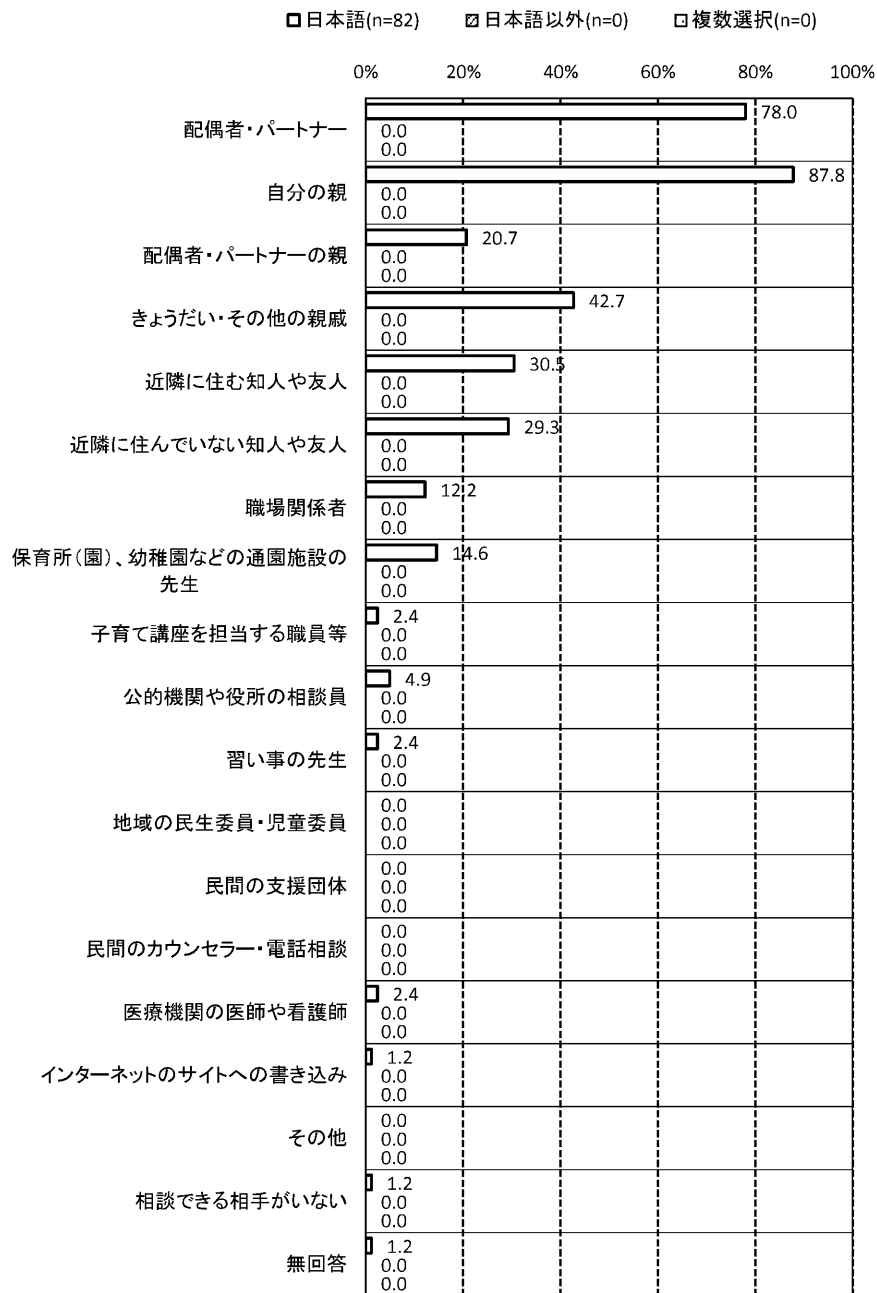
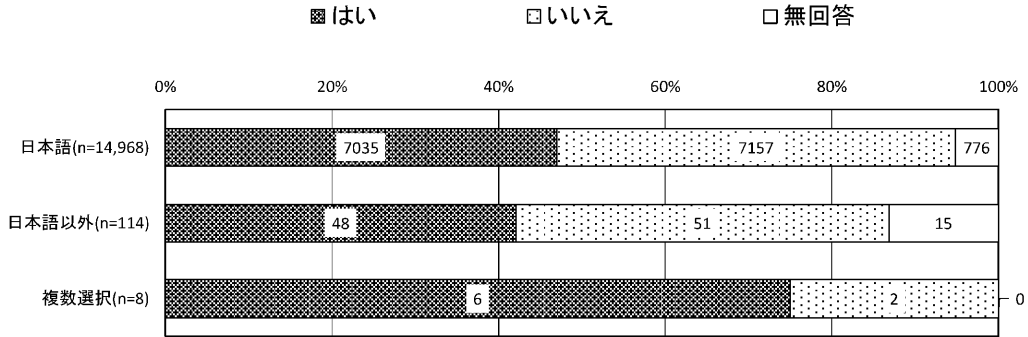


図 386. 日常言語別に見た、困ったときの相談先

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。困ったときの相談先について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、定期的な健康診断の受診（5歳児保護者票問2×問39）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

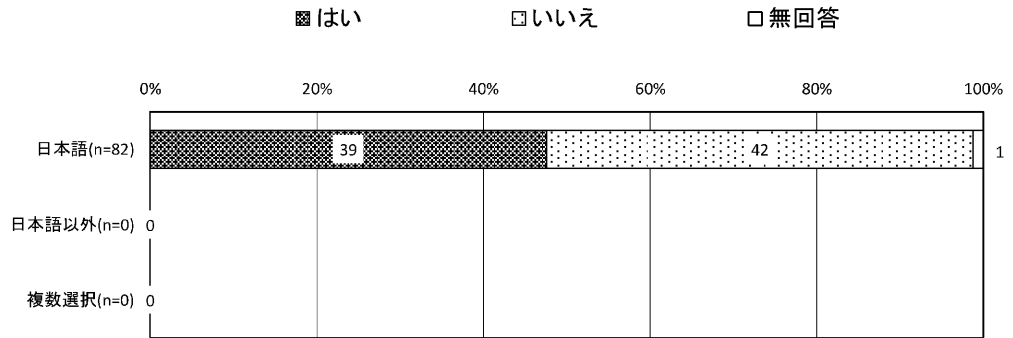
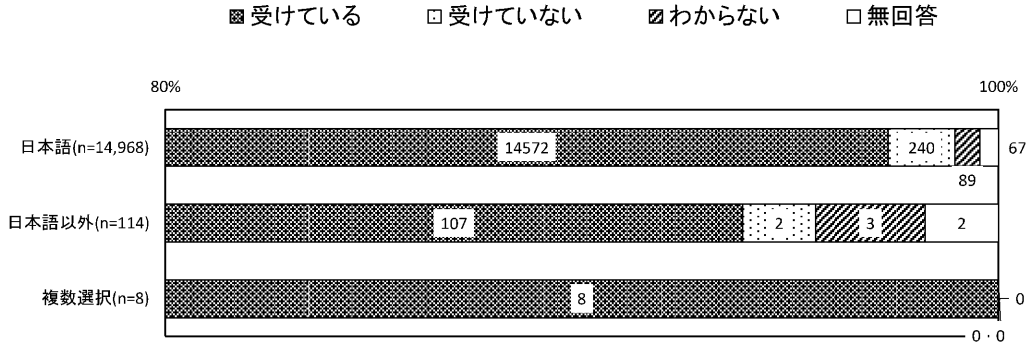


図 387. 日常言語別に見た、定期的な健康診断の受診

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。定期的な健康診断の受診について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見たワクチン接種（5歳児保護者票問2×問27）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

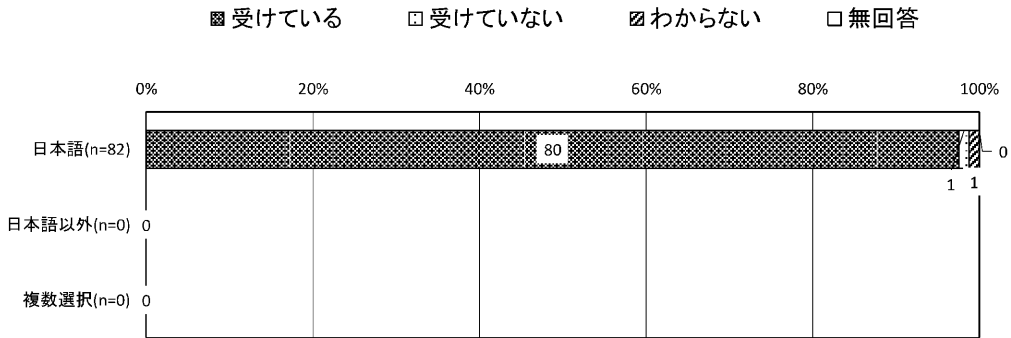
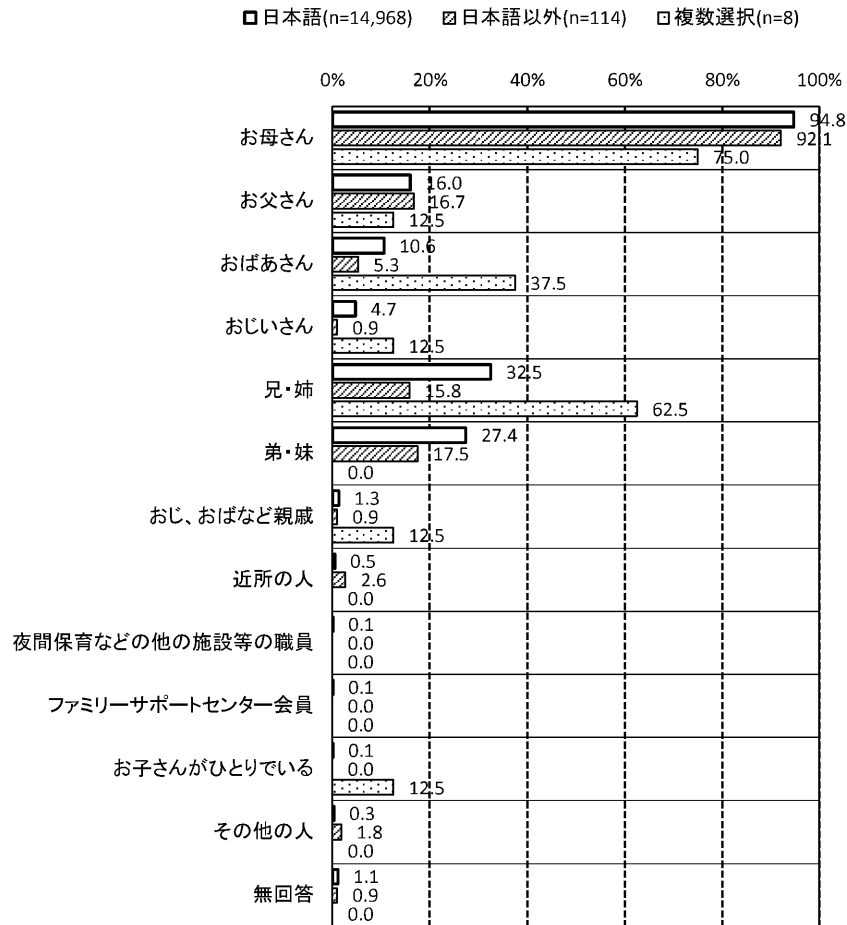


図 388. 日常言語別に見たワクチン接種

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。ワクチン接種について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、子どもと過ごす時間が長い人（5歳児保護者票問2×問10）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

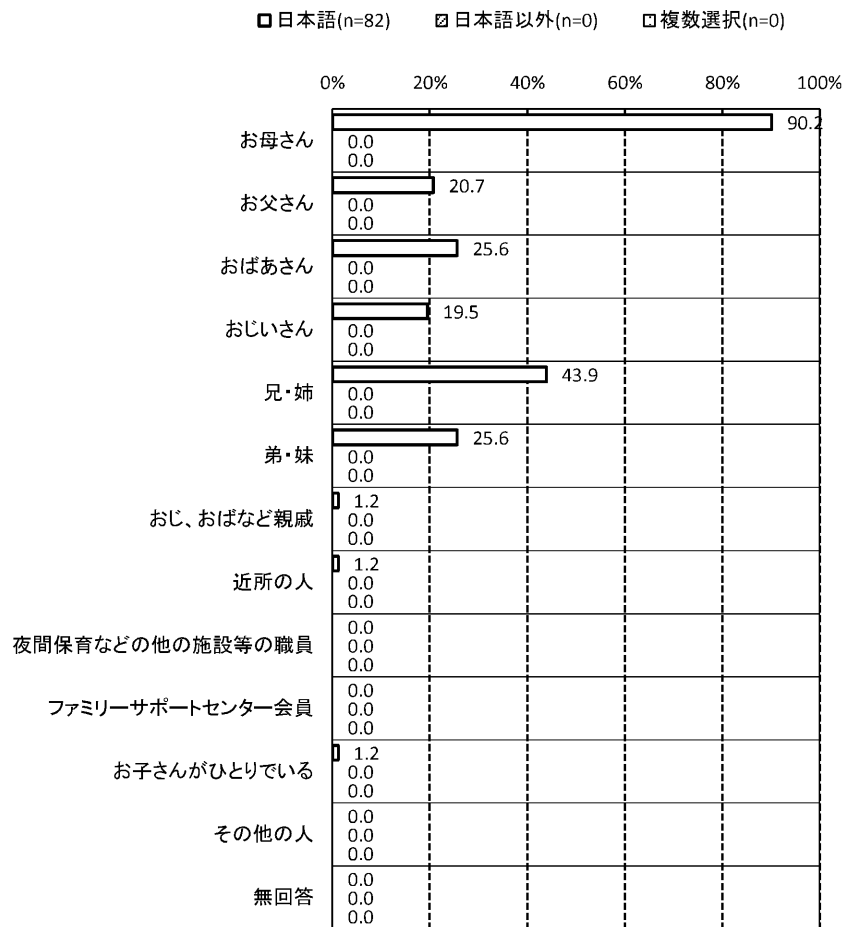
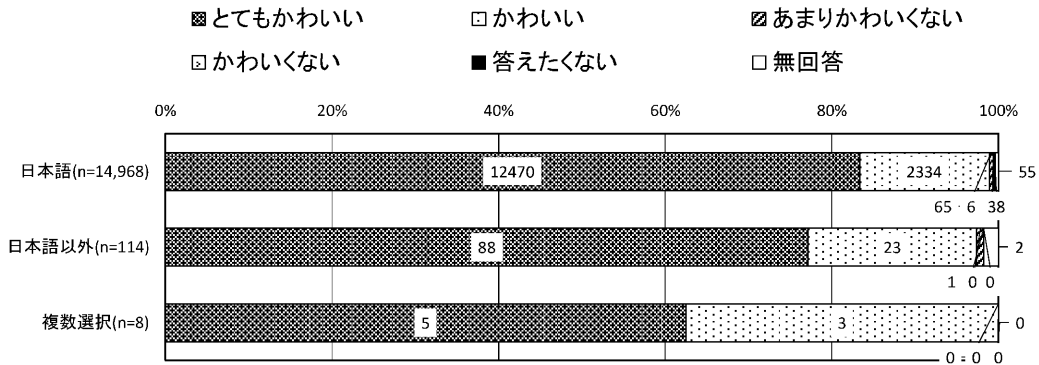


図 389. 日常言語別に見た、子どもと過ごす時間が長い人

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。子どもと過ごす時間が長い人について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、子どもをかわいいと思うか（5歳児保護者票問2×問31-1）

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

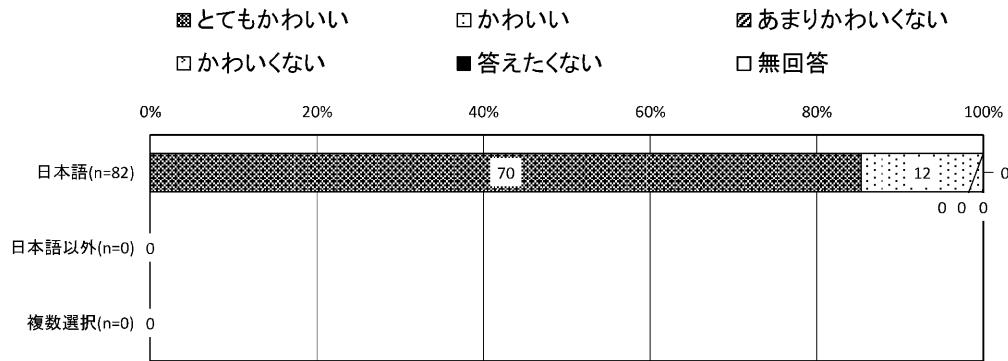
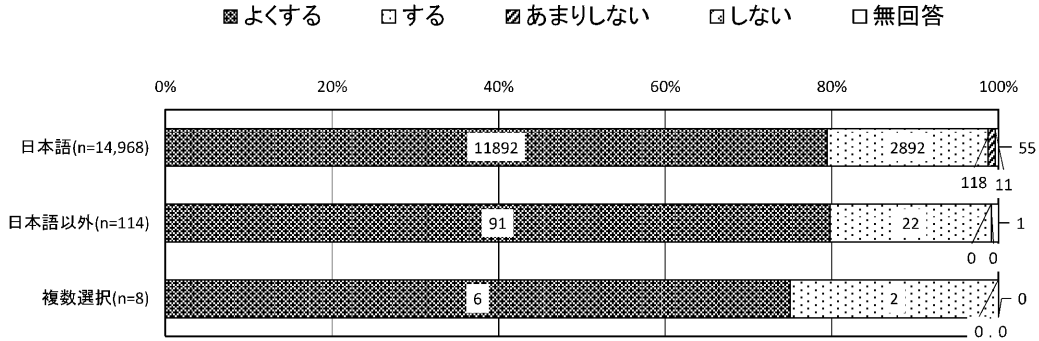


図 390. 日常言語別に見た、子どもをかわいいと思うか

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。子どもをかわいいと思うかについて傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、子どもと会話（5歳児保護者票問2×問31-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

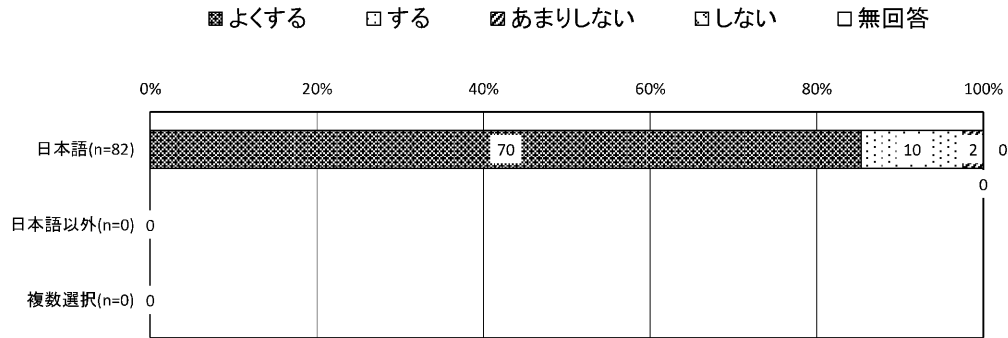


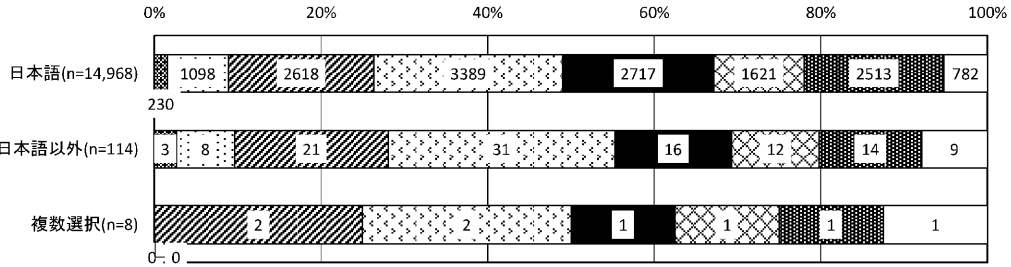
図 391. 日常言語別に見た、子どもと会話

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。子どもと会話について傾向を述べることはできない。

日常言語別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）（5歳児保護者票問2×問31-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >

- 0～15分未満 □ 15分～30分未満 ▨ 30分～1時間未満 ▩ 1時間～2時間未満
- 2時間～3時間未満 ▨ 3時間～4時間未満 ■ 4時間以上 □ 無回答



< 能勢町 >

- 0～15分未満 □ 15分～30分未満 ▨ 30分～1時間未満 ▩ 1時間～2時間未満
- 2時間～3時間未満 ▨ 3時間～4時間未満 ■ 4時間以上 □ 無回答

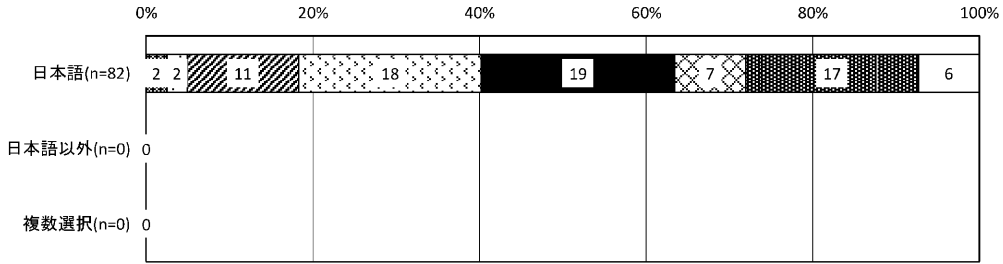
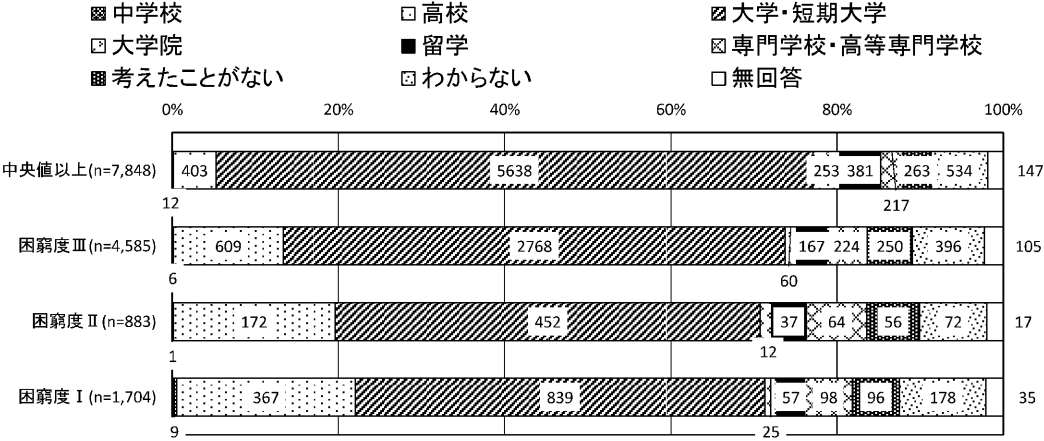


図 392. 日常言語別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）

日常言語を「日本語以外」と答えた人および「日本語」と「日本語以外」の両方と答えた人は見られなかった。子どもと一緒にいる時間（平日）について傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、子どもの進学先希望（5歳児保護者票問32）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

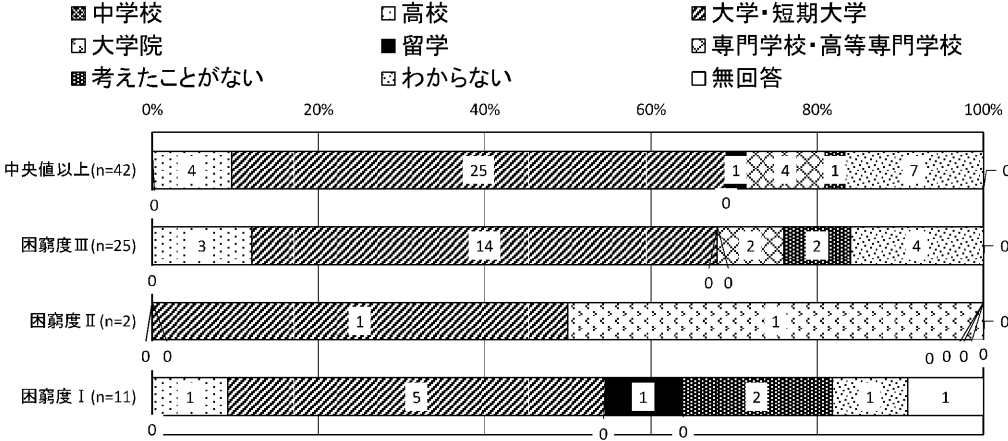
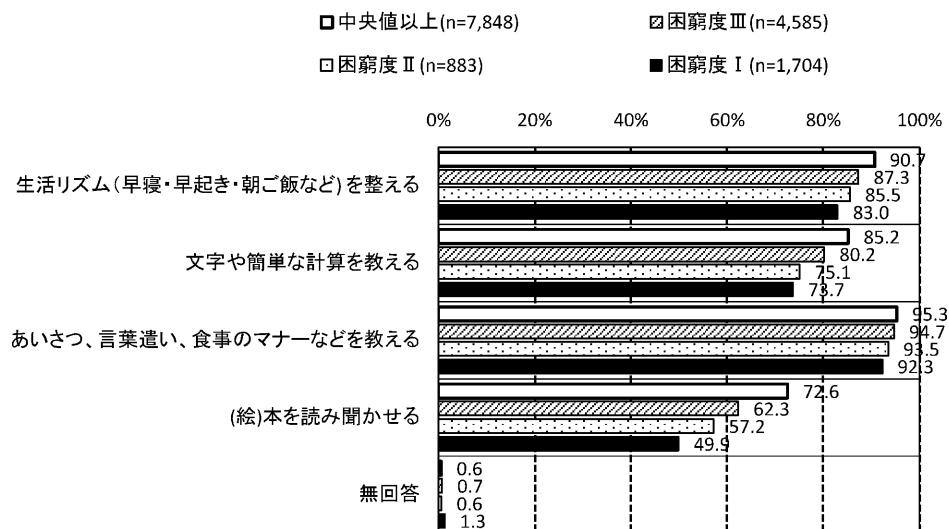


図 393. 困窮度別に見た、子どもの進学先希望

困窮度別に子どもの進学先希望を見ると、困窮度によって大きな差は見られない。

困窮度別に見た、しつけの内容（5歳児保護者票問 30）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

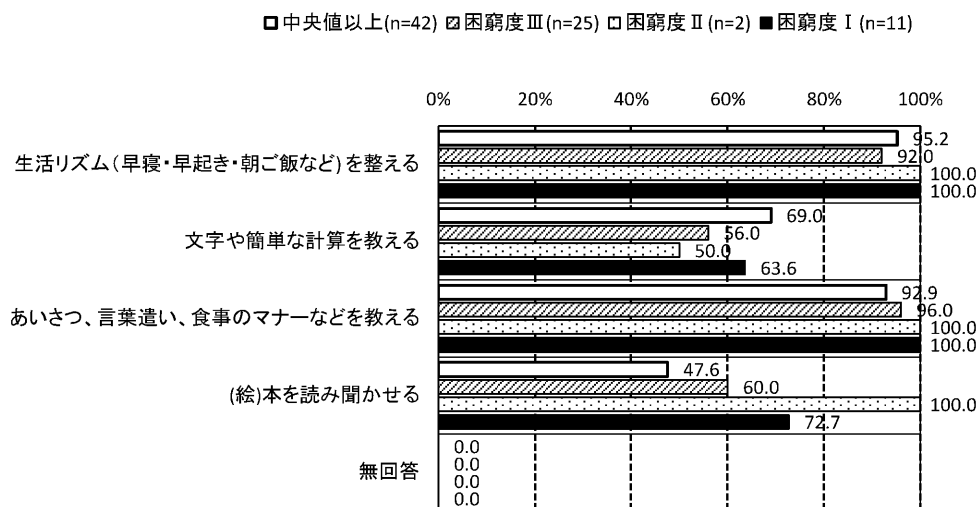
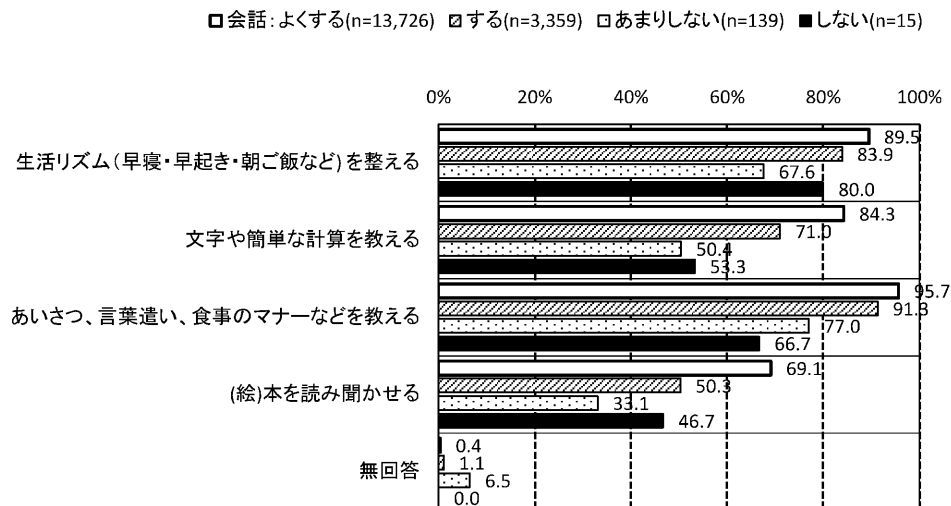


図 394. 困窮度別に見た、しつけの内容

困窮度別にしつけの内容を見ると、「(絵)本を読み聞かせる」と回答したのは、中央値以上群では47.6%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は72.7%だった。

子どもと会話別に見た、しつけの内容（5歳児保護者票問 31-2×問 30）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

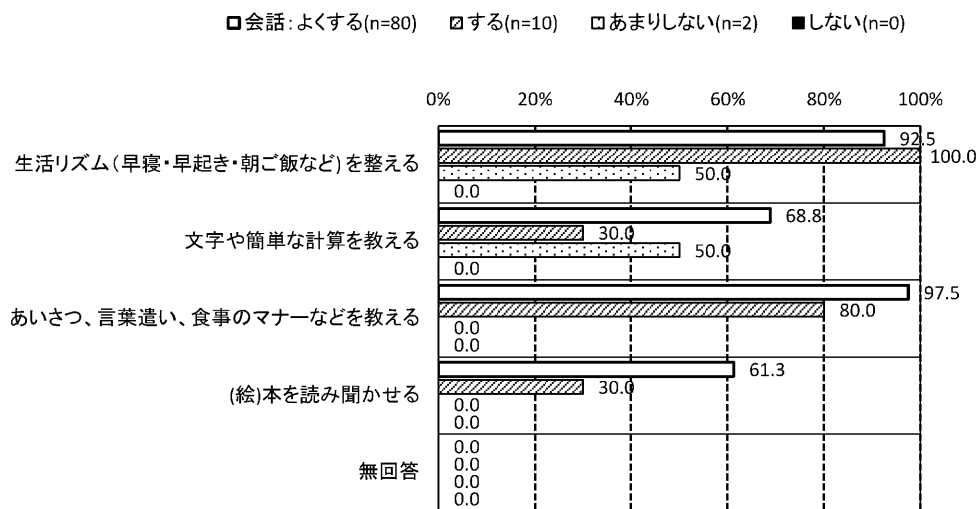
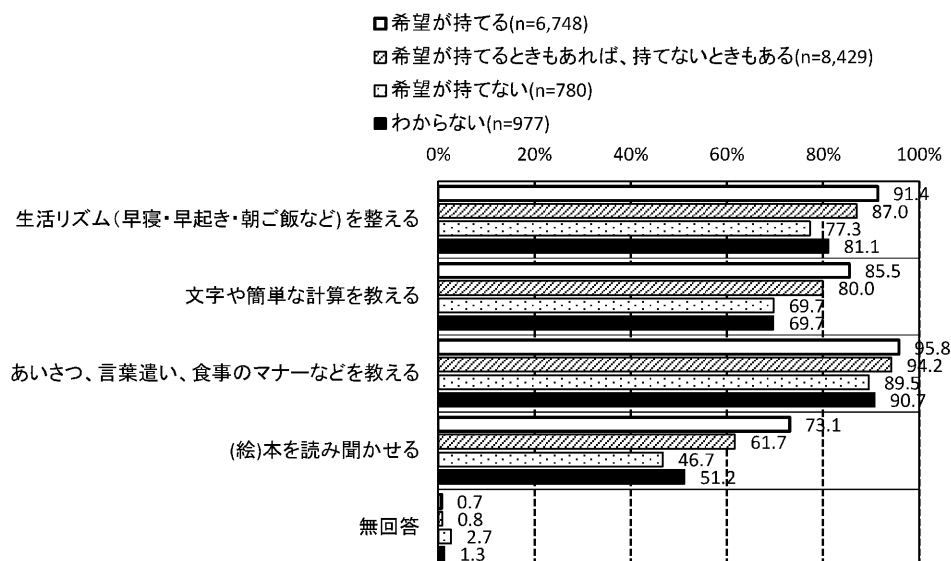


図 395. 子どもと会話別に見た、しつけの内容

子どもと会話別にしつけの内容を見ると、会話を「あまりしない」と回答した人あるいは「しない」と回答した人は2名にとどまった。しつけの内容について傾向を述べることはできない。

将来への希望別に見た、しつけの内容（5歳児保護者票問 36-2×問 30）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

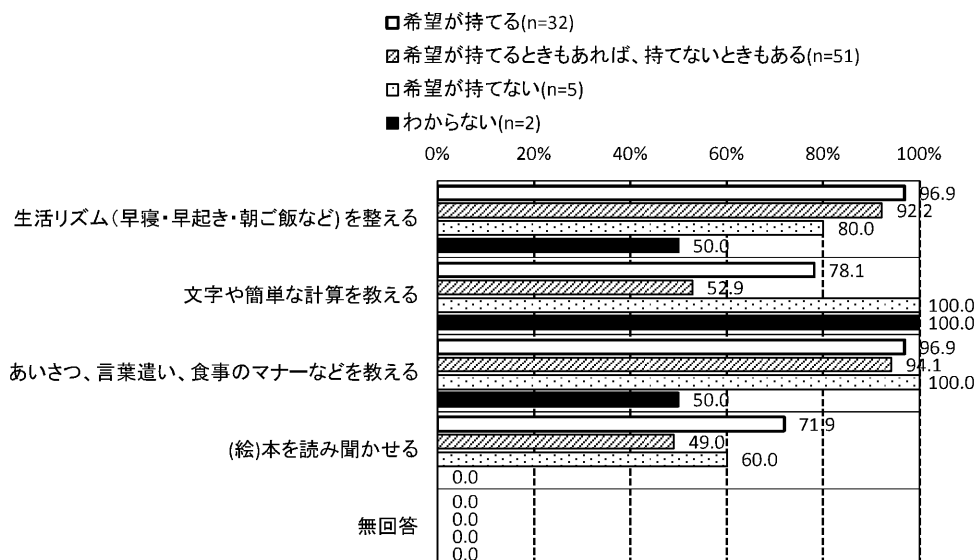


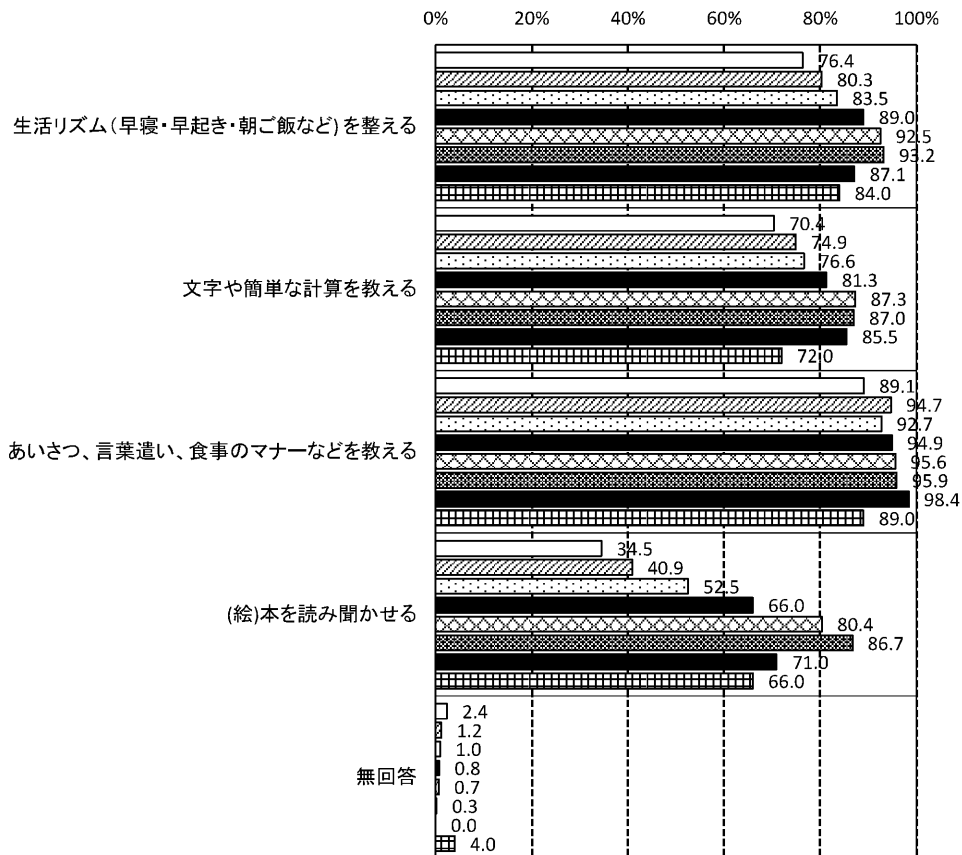
図 396. 将来への希望別に見た、しつけの内容

将来への希望別にしつけの内容を見ると、「希望が持てる」と回答した人は「希望が持てる時もあれば持てないときもある」と答えた人に比べ、いずれのしつけに対しても取り組み具合が高かった。

母親の最終学歴別に見た、しつけの内容（5歳児保護者票問7×問30）

< 5歳児全体（4市町合計） >

- 中学校卒業(n=368)
- ▤ 高等学校卒業(n=4,132)
- ▨ 大学卒業(n=4,189)
- その他の教育機関卒業(n=62)
- ▧ 高等学校中途退学(n=680)
- 高専、短大、専門学校等卒業(n=6,845)
- ▩ 大学院修了(n=293)
- 田 答えたくない(n=100)



<能勢町>

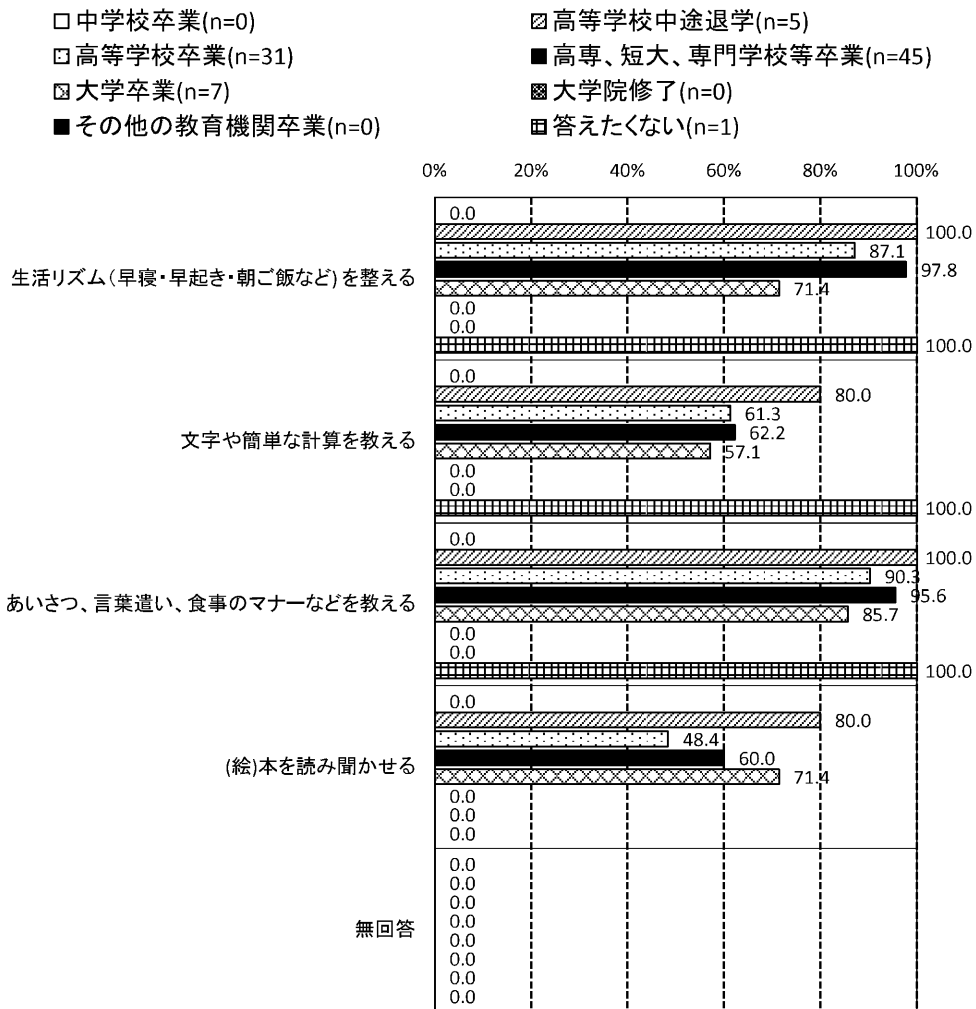
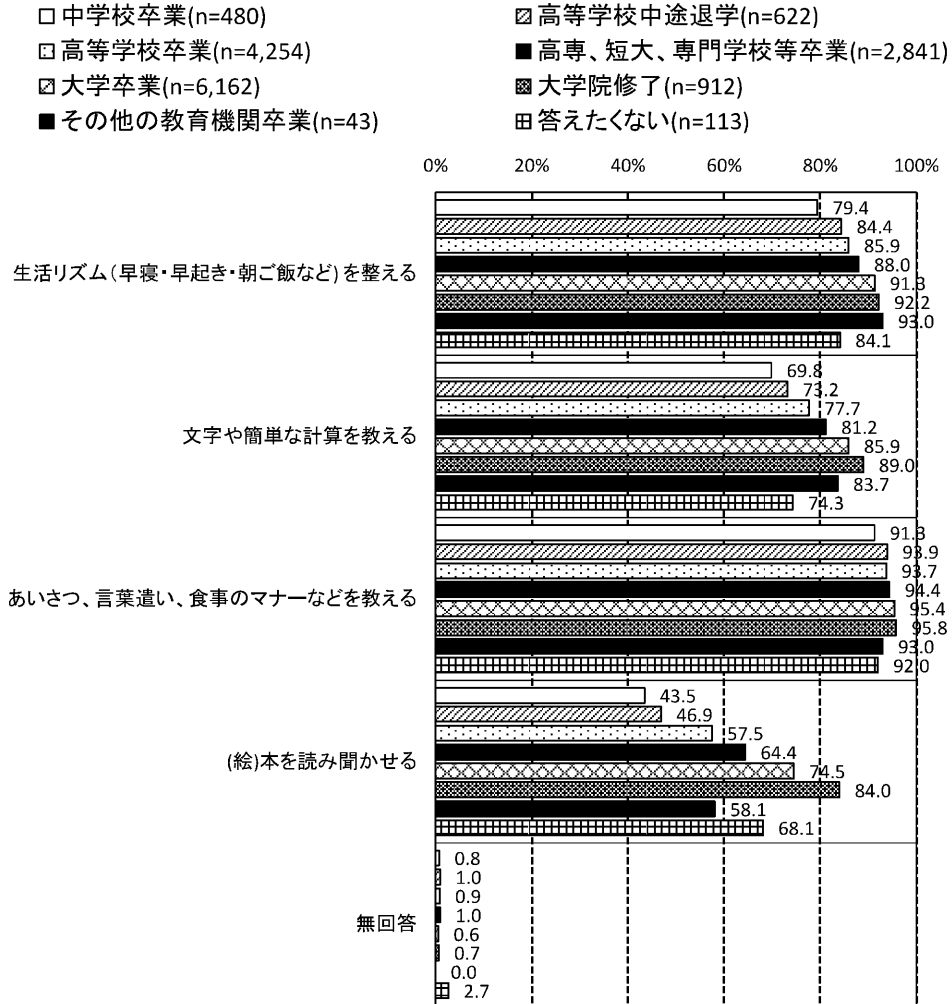


図 397. 母親の最終学歴別に見た、しつけの内容

母親の最終学歴別にしつけの内容を見ると、「高等学校中途退学」群は 5 名にとどまったが、それ以外の学歴群に比べていずれのしつけに対しても熱心に取り組んでいる様子が伺える。

父親の最終学歴別に見た、しつけの内容（5歳児保護者票問7×問30）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

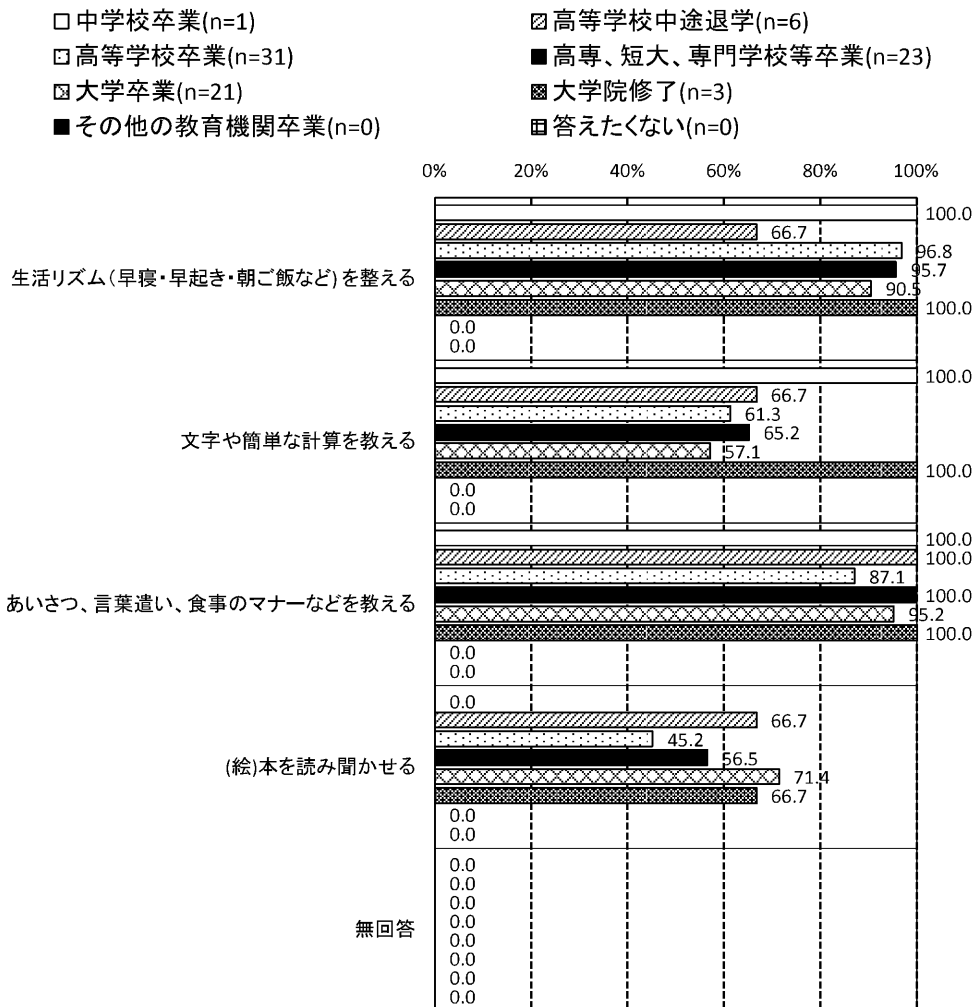
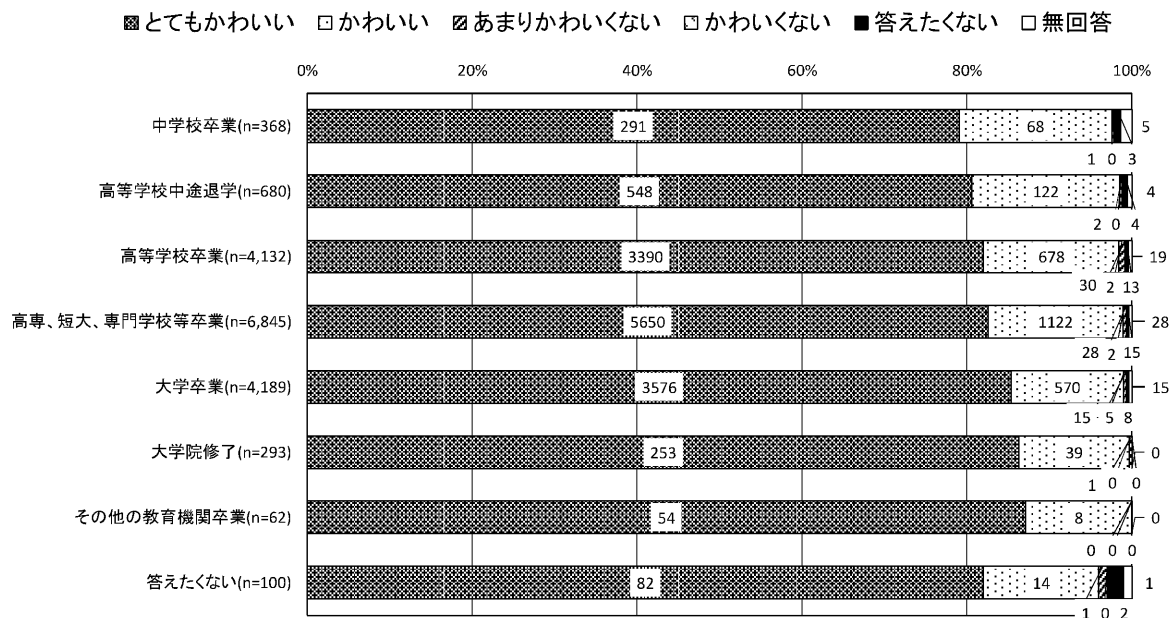


図 398. 父親の最終学歴別に見た、しつけの内容

父親の最終学歴別にしつけの内容を見ると、「中学校卒業」群が1名、「高等学校中途退学」群が6名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

母親の最終学歴別に見た、子どもをかわいいと思うか（5歳児保護者票問7×問31-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

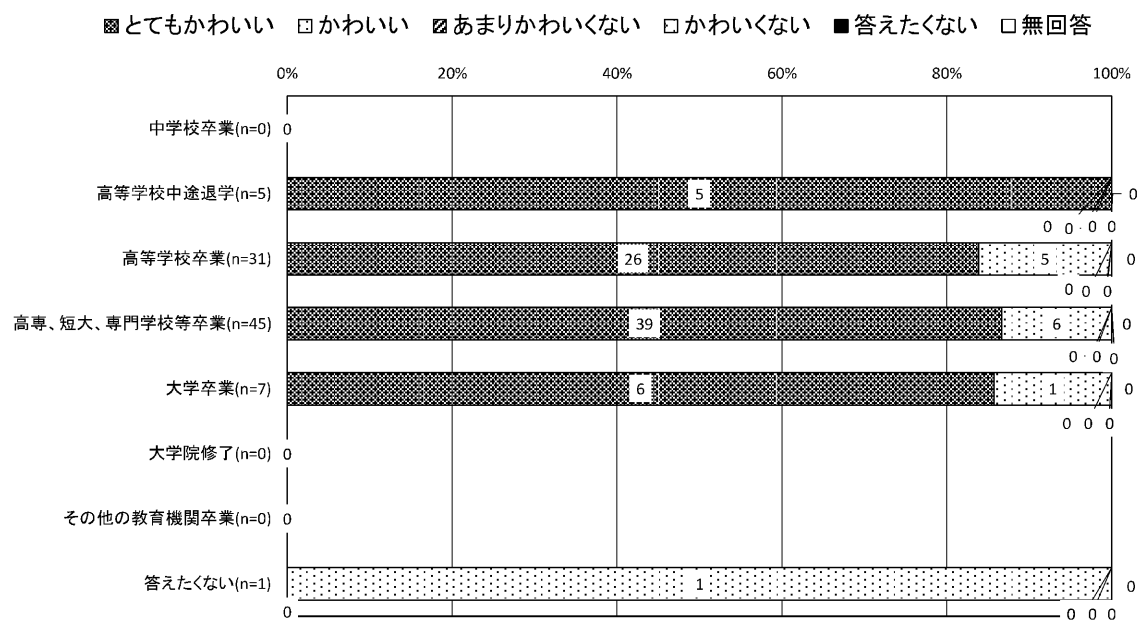
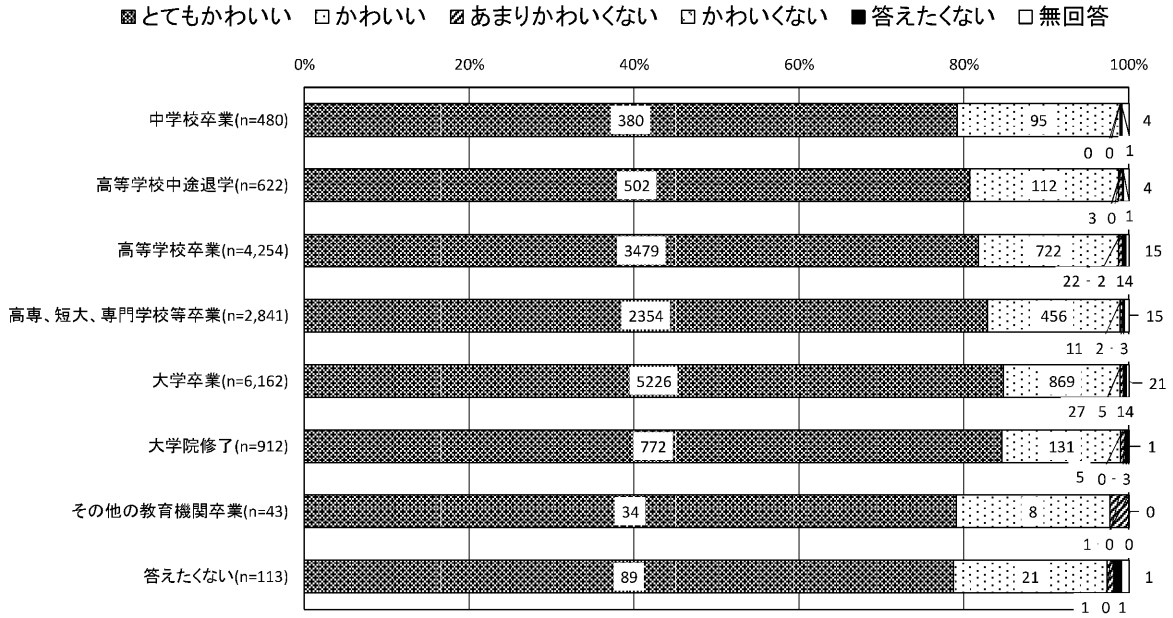


図 399. 母親の最終学歴別に見た、子どもをかわいいと思うか

母親の最終学歴別に子どもをかわいいと思うかを見ると、いずれの群においても「とてもかわいい」「かわいい」との回答で占められている。

父親の最終学歴別に見た、子どもをかわいいと思うか（5歳児保護者票問7×問31-1）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

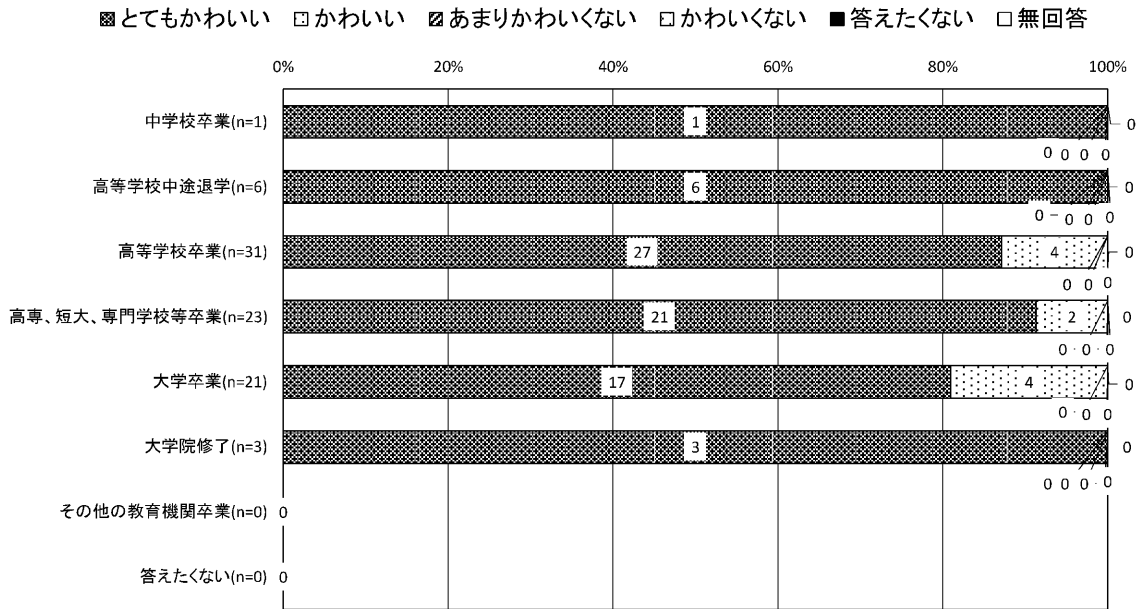
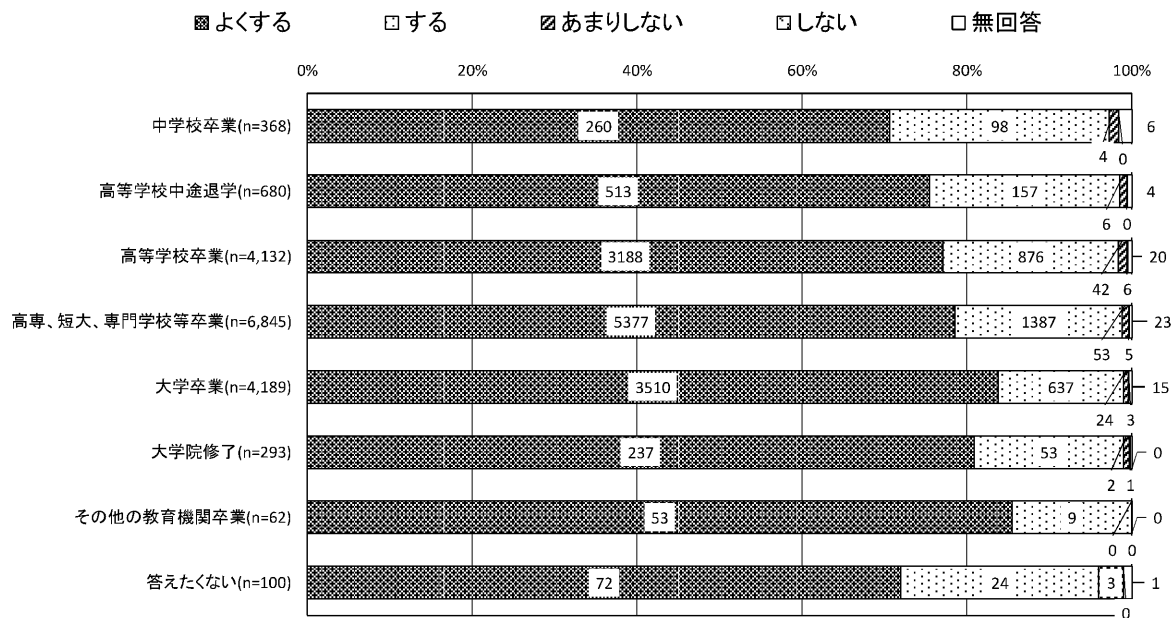


図 400. 父親の最終学歴別に見た、子どもをかわいいと思うか

父親の最終学歴別に子どもをかわいいと思うかを見ると、いずれの群においても「とてもかわいい」「かわいい」との回答で占められている。

母親の最終学歴別に見た、子どもと会話（5歳児保護者票問7×問31-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

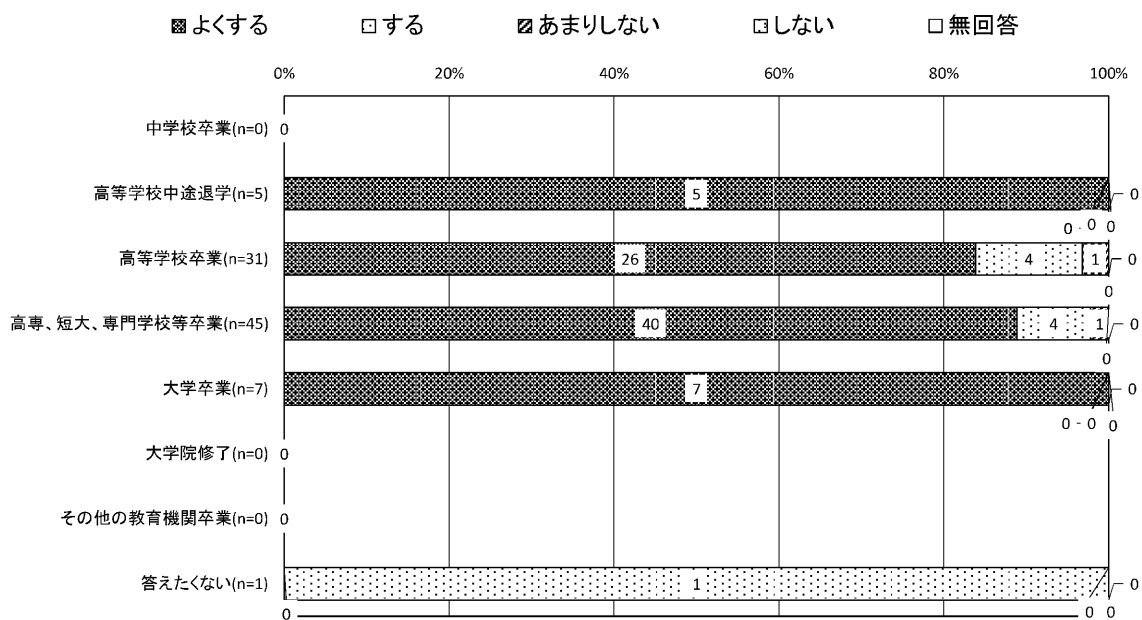
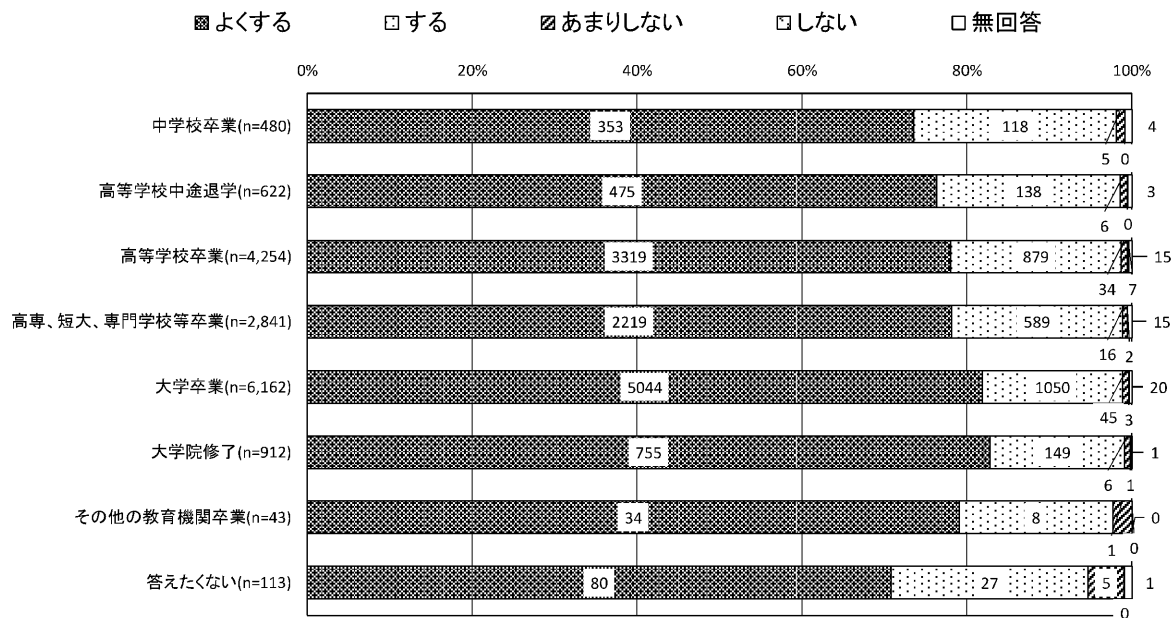


図 401. 母親の最終学歴別に見た、子どもと会話

母親の最終学歴別に子どもと会話を見ると、「高等学校中途退学」群が5名、「大学卒業」群が7名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

父親の最終学歴別に見た、子どもと会話（5歳児保護者票問7×問31-2）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

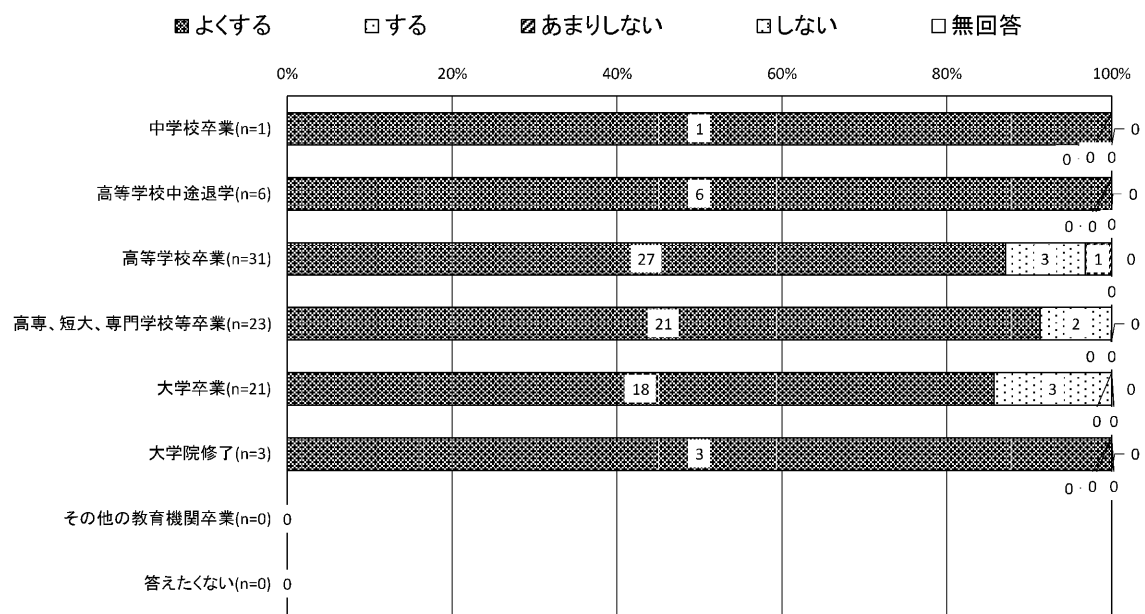
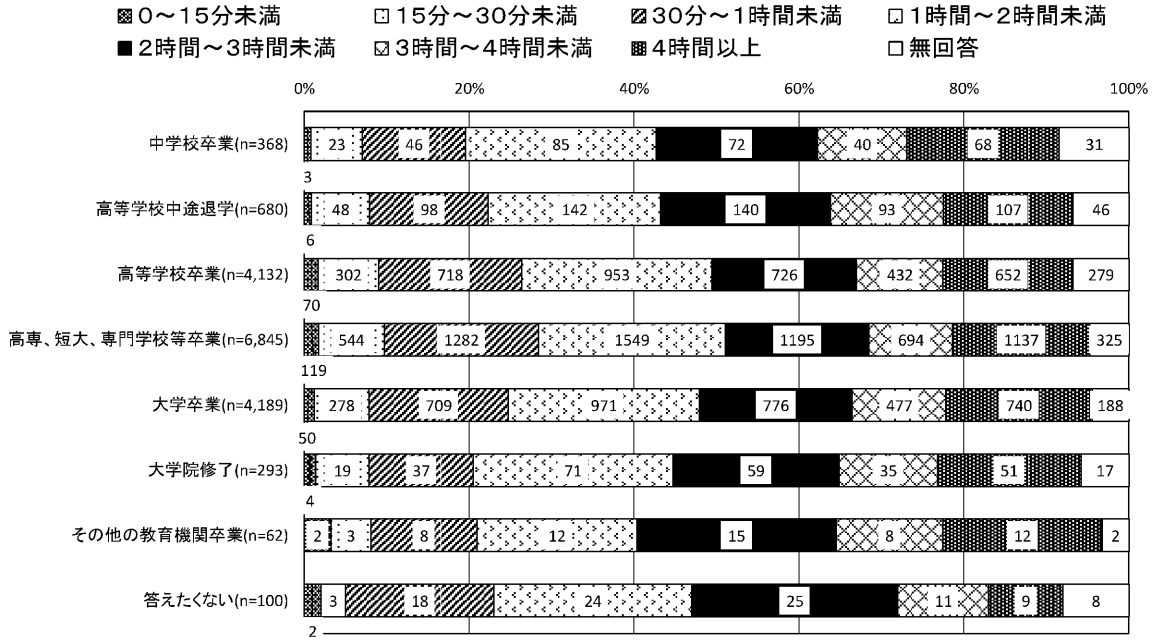


図 402. 父親の最終学歴別に見た、子どもと会話

父親の最終学歴別に子どもと会話を見ると、「中学校卒業」群が1名、「高等学校中途退学」群が6名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

母親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）（5歳児保護者票問7×問31-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

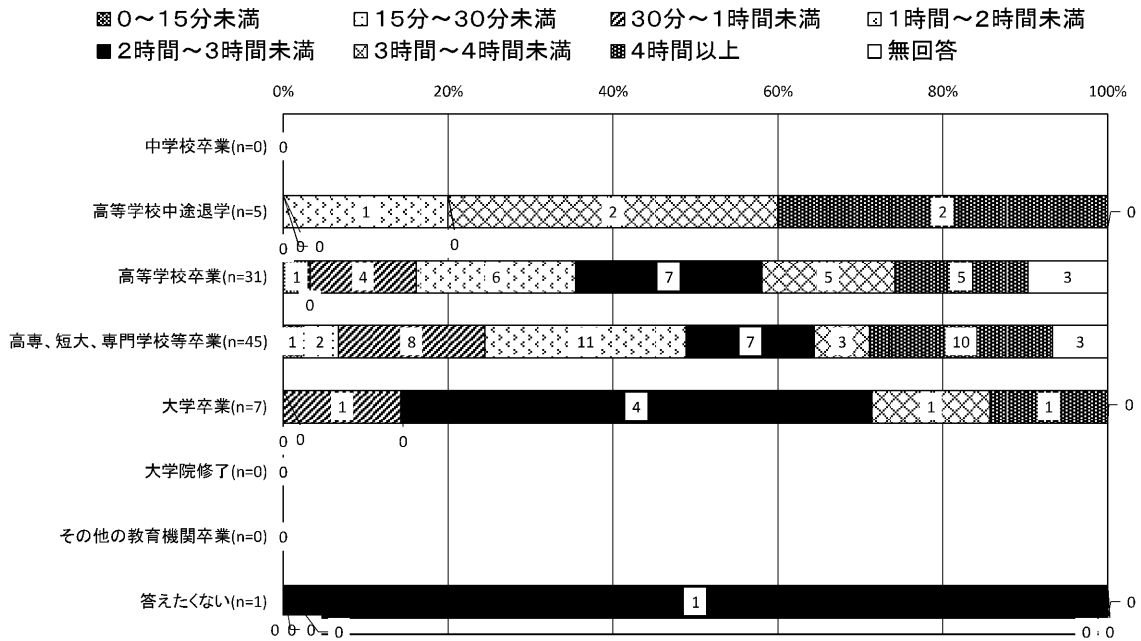
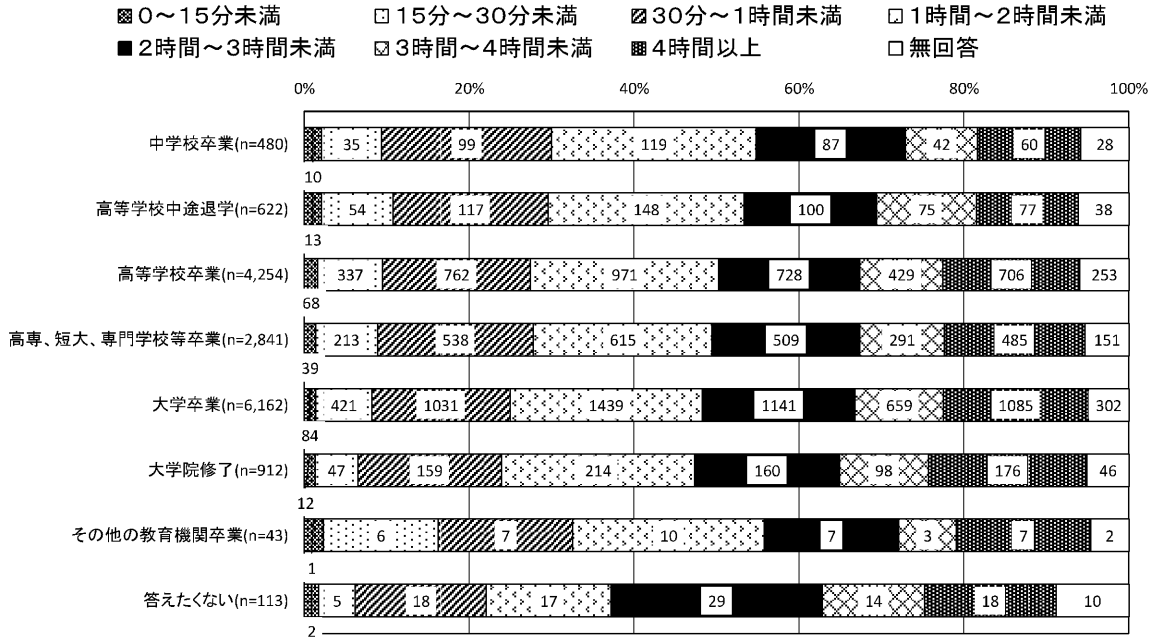


図 403. 母親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）

母親の最終学歴別に子どもと一緒にいる時間（平日）を見ると、「高等学校中途退学」群が5名、「大学卒業」群が7名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

父親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）（5歳児保護者票問7×問31-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

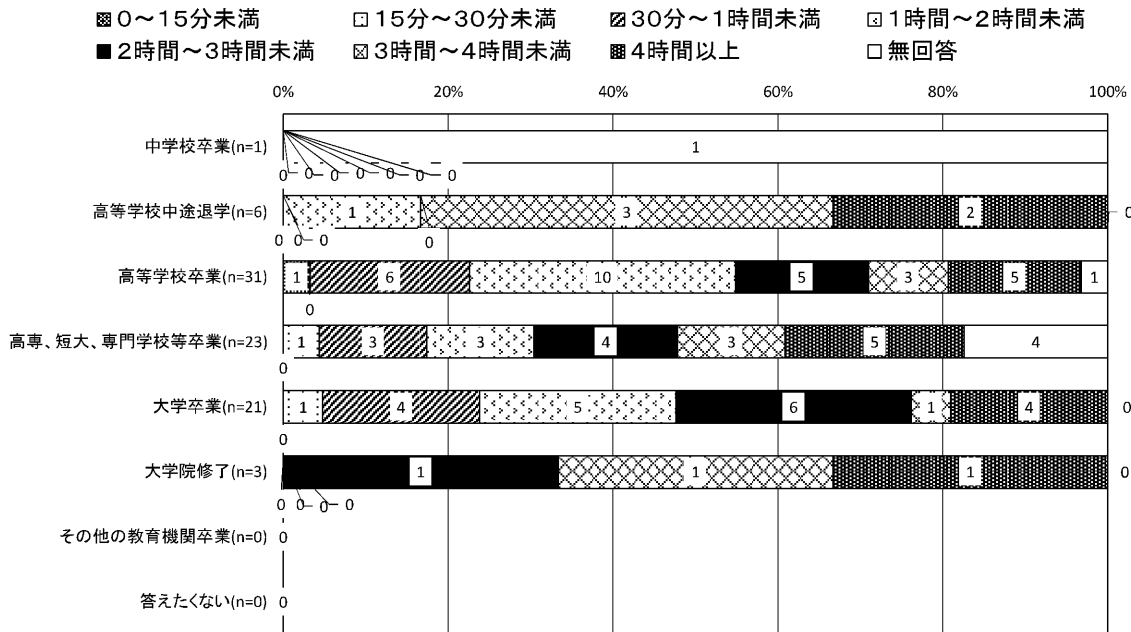
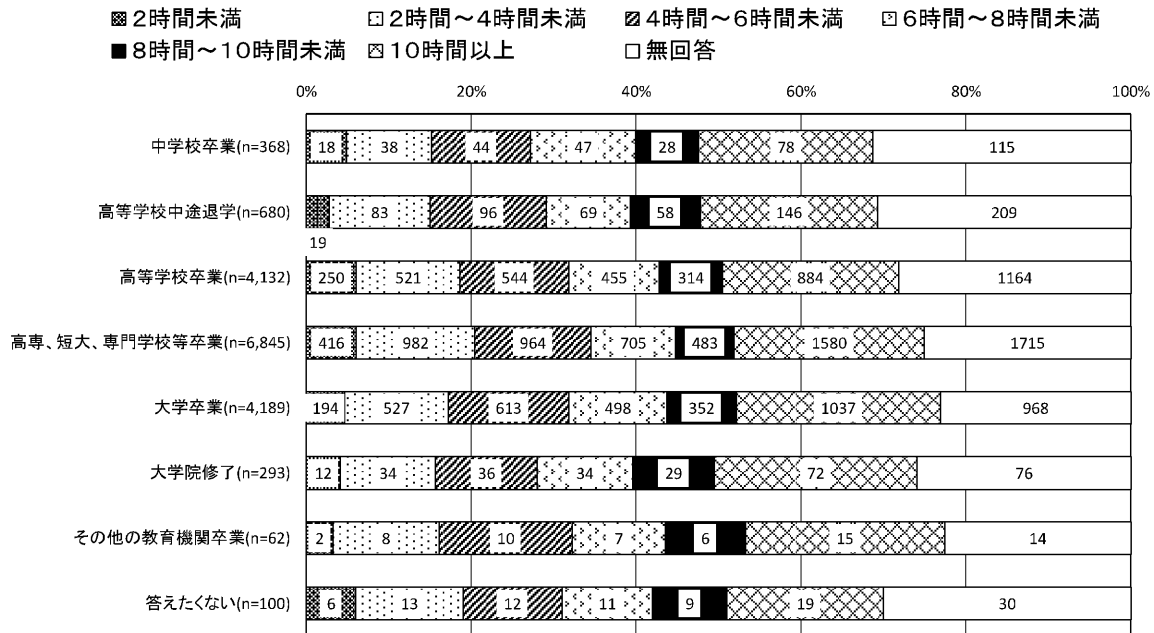


図 404. 父親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（平日）

父親の最終学歴別に子どもと一緒にいる時間（平日）を見ると、「中学校卒業」群が1名、「高等学校中途退学」群が6名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

母親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）（5歳児保護者票問7×問31-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

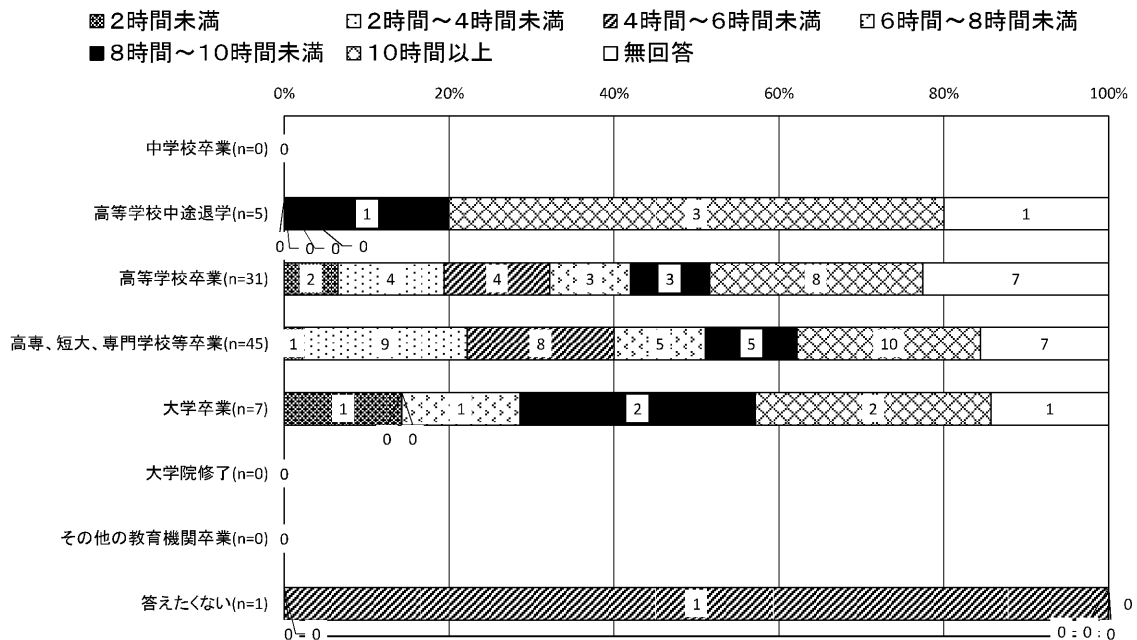
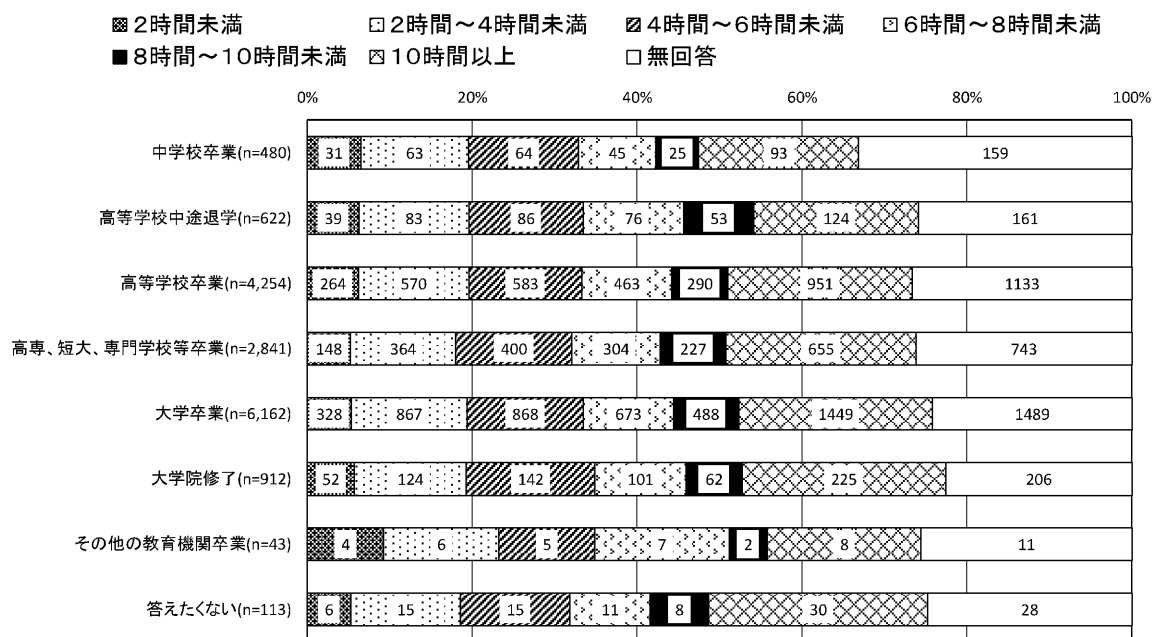


図 405. 母親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）

母親の最終学歴別に子どもと一緒にいる時間（休日）を見ると、「高等学校中途退学」群が5名、「大学卒業」群が7名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

父親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）（5歳児保護者票問7×問31-3）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

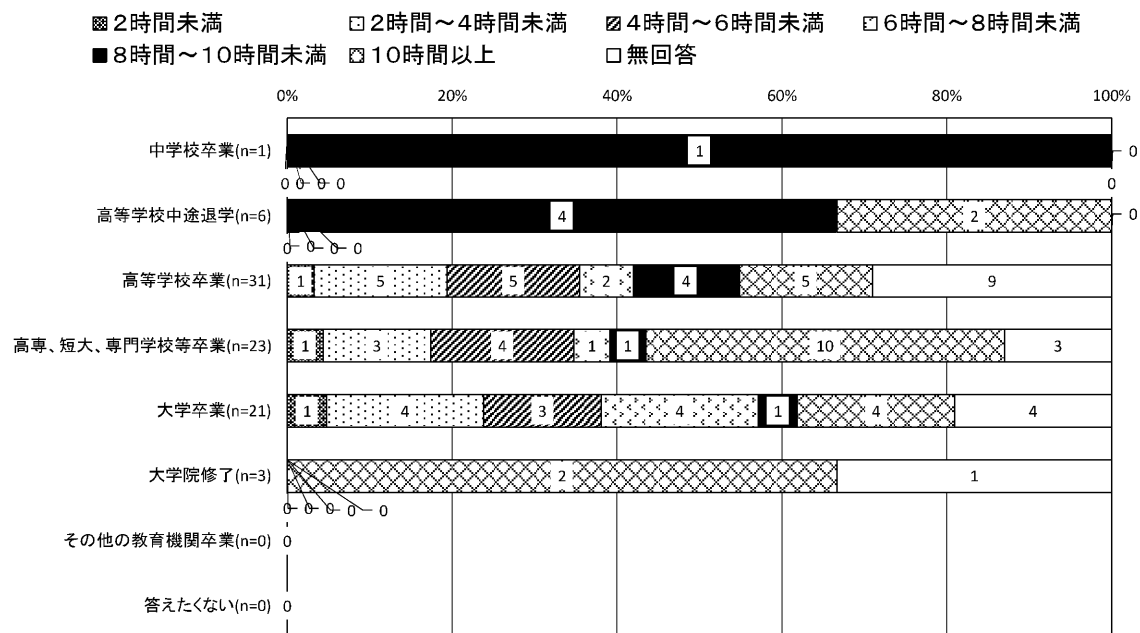


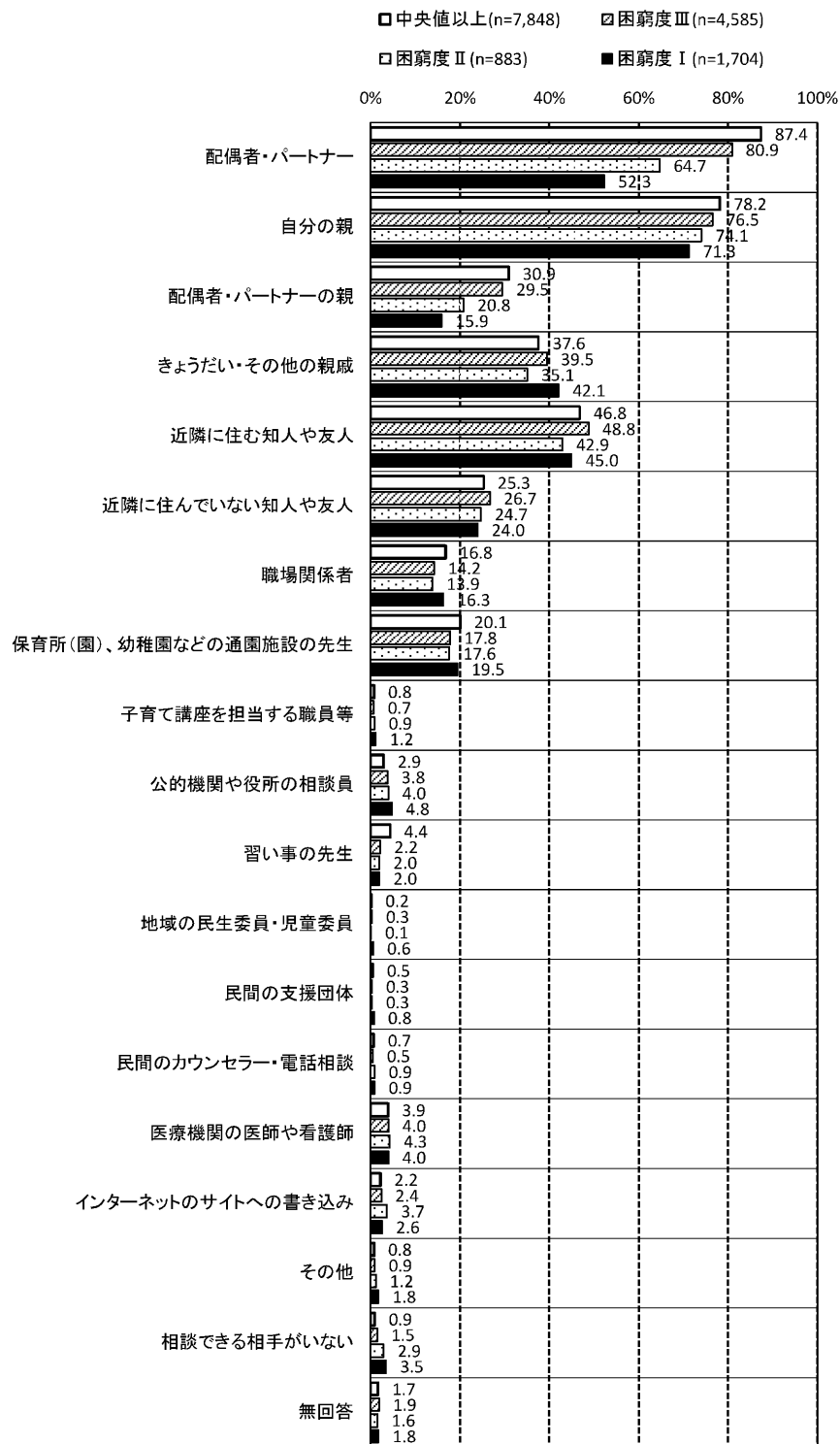
図 406. 父親の最終学歴別に見た、子どもと一緒にいる時間（休日）

父親の最終学歴別に子どもと一緒にいる時間（休日）を見ると、「中学校卒業」群が1名、「高等学校中途退学」群が6名にとどまるなど少数群が多く、最終学歴別の傾向を述べることはできない。

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、困ったときの相談先（5歳児保護者票問35）

< 5歳児全体（4市町合計） >



<能勢町>

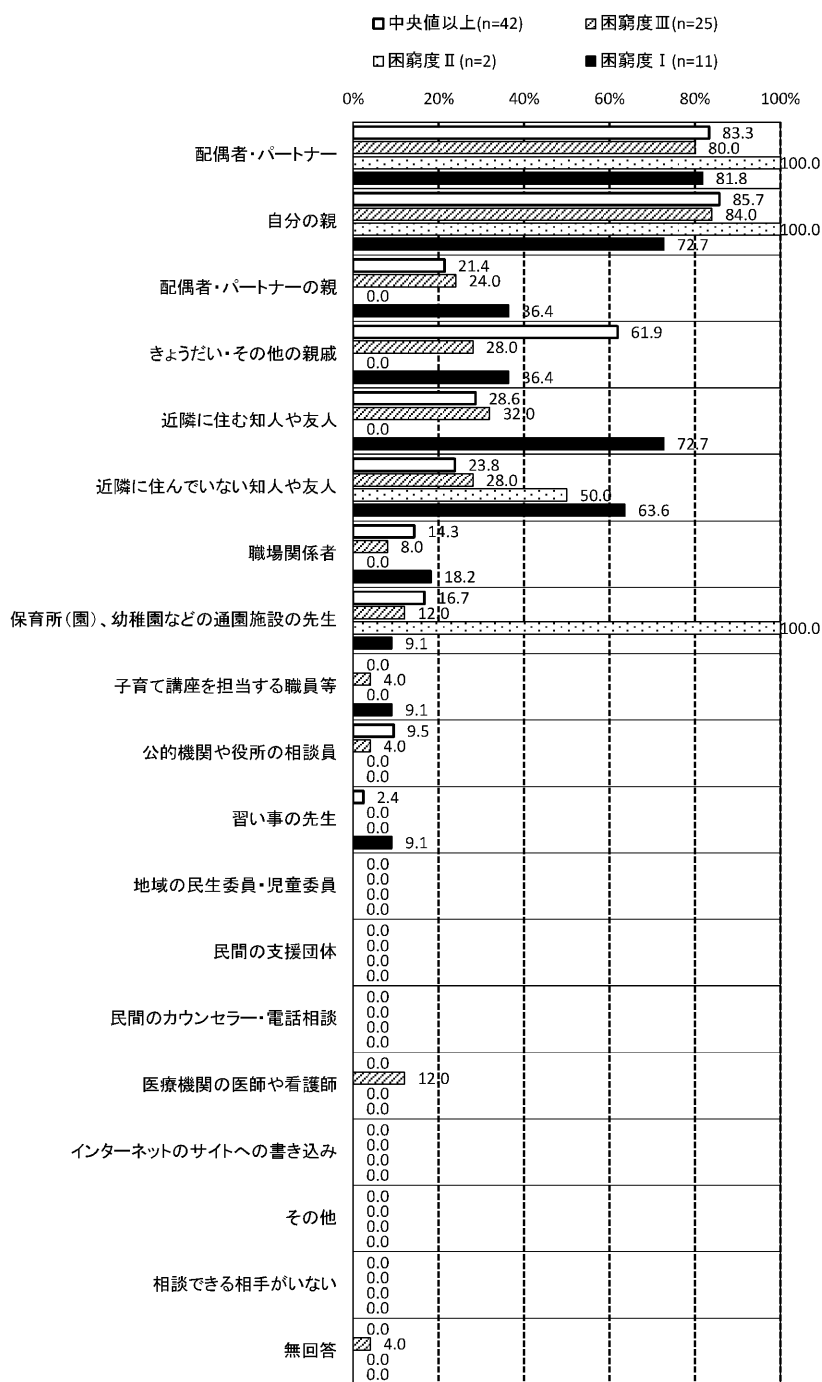
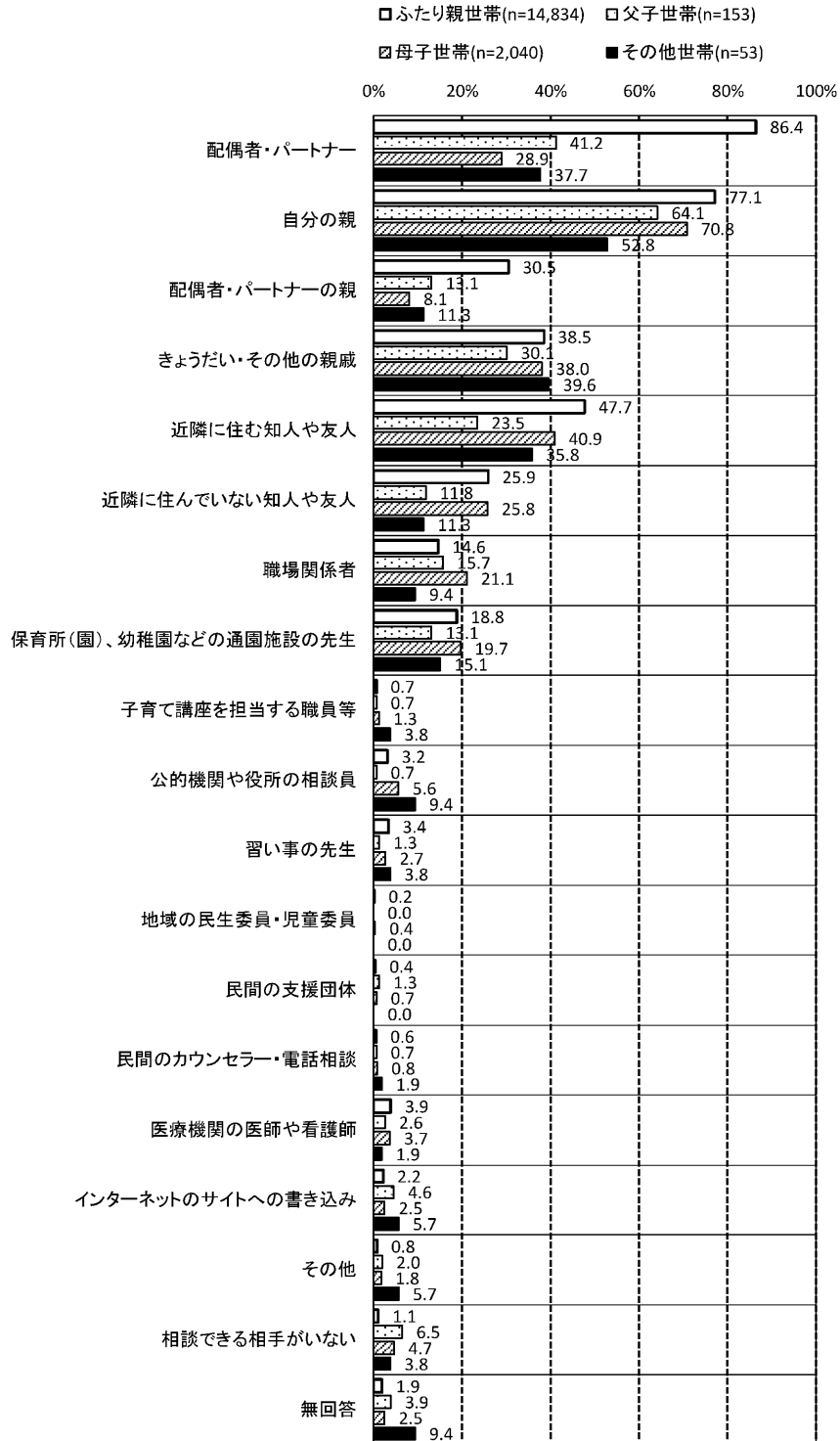


図 407. 困窮度別に見た、困ったときの相談先

困窮度別に困ったときの相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を上げると、「配偶者・パートナーの親」36.4% (中央値以上群に対して1.7倍)、「近所に住む知人や友人」72.7% (同じく2.5倍)、「近所に住んでいない知人や友人」63.6% (同じく2.7倍) となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。さらに、中央値以上群では「きょうだい・その他の親戚」と回答した割合が61.9%だったのに対して、困窮度Ⅰ群では36.4%だった。

世帯構成別に見た、困ったときの相談先（5歳児保護者票問35）

< 5歳児全体（4市町合計） >



< 能勢町 >

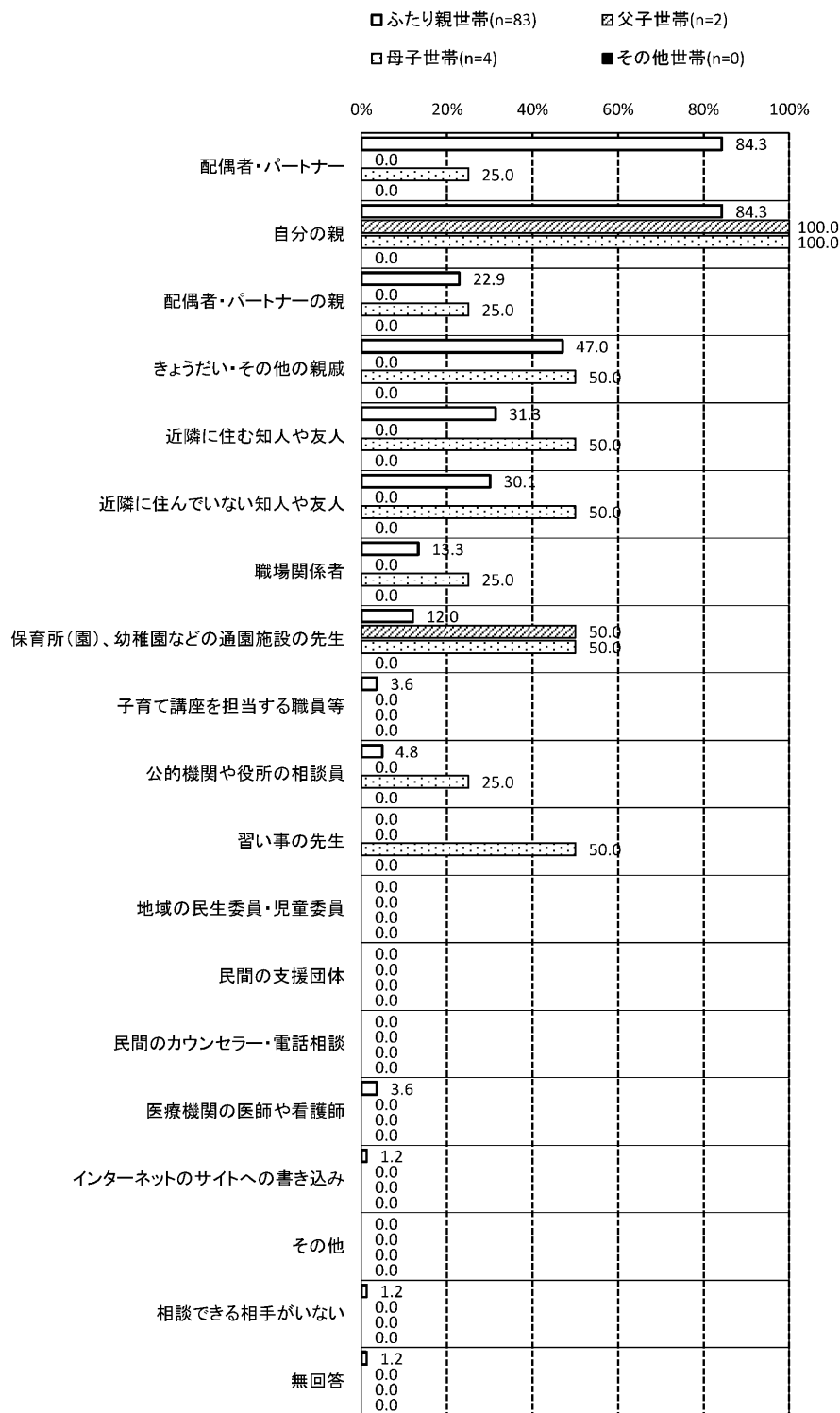


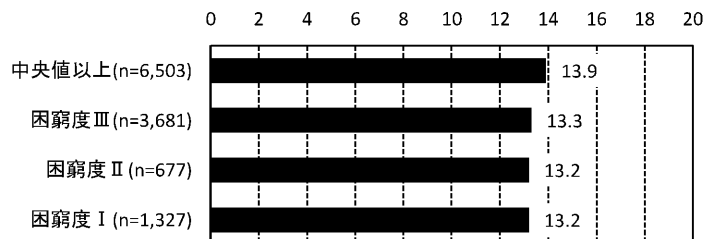
図 408. 世帯構成別に見た、困ったときの相談先

世帯構成別に困ったときの相談先を見ると、「父子世帯」の回答数は2名、「母子世帯」の回答数は4名にとどまり、世帯構成別での相談先の傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、自己効力感（セルフ・エフィカシー）（5歳児保護者票問40）

※保護者の自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図163上の説明参照。

<5歳児全体（4市町合計）>



<能勢町>

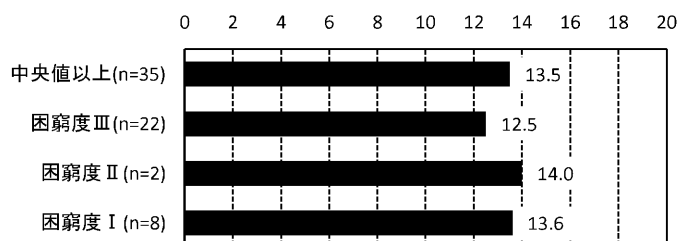


図 409. 困窮度別に見た、自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅱ群が2名、困窮度Ⅰ群が8名にとどまり、困窮度別に自己効力感（セルフ・エフィカシー）の傾向を述べることはできない。